

消防団員確保対策に関する意識調査 報告書

岩手県復興防災部消防安全課

消防団員確保対策に関する意識調査結果について

I アンケート調査の概要

1 調査の趣旨

消防団は、地域密着性・要員動員力・即時対応力といった特性を持ち、地域防災体制の中核を担っていますが、社会情勢の変化及び少子高齢化等により、消防団員数の減少傾向が続いています。

県ではこれまで、消防団員確保のための普及啓発活動を行うとともに、消防団員の処遇改善や特定の活動のみに参加する機能別団員制度の導入など、市町村へ働きかけを行うほか、「いわて消防団応援の店登録事業」や各種イベント等を活用し、若者・女性を中心に消防団員への加入促進を進めてきたところです。

本調査は、消防団に対する県民の皆様の認知度やイメージ等を調査し、今後、県が進める消防団員確保対策の参考としようとするものです。

2 調査期間

令和6年8月7日（木）から11月19日（火）

3 調査方法

調査紙郵送及びインターネット

4 調査対象

令和6、7年度希望郷いわてモニター 200名（うち回答者157名）
一般県民

5 回答者数 ※（ ）内は希望郷いわてモニターの回答者数

1,028名（157名）

うち、①消防団員ではない方 425名（147名）

②現役の消防団員の方 570名（5名）

③過去に消防団員だった方 33名（5名）

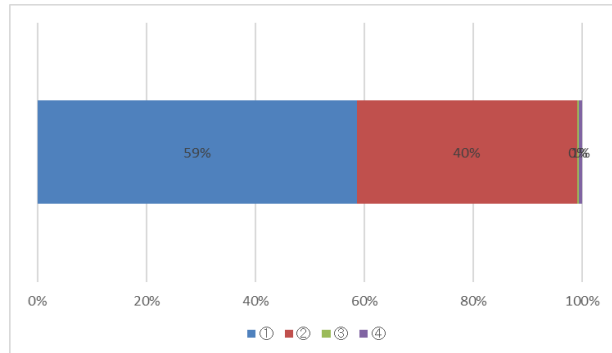
Ⅱ アンケート調査結果

1 消防団員ではない方（回答者数 425 名）

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

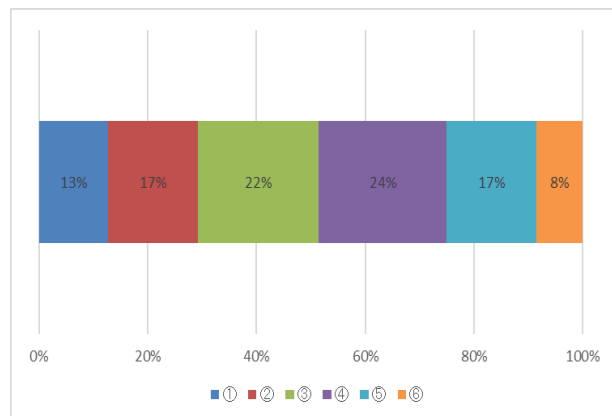
(1) 性別

① 男性	249
② 女性	172
③ その他	1
④ 答えたくない	3



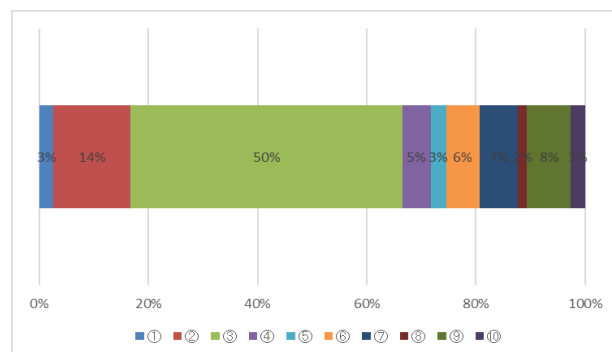
(2) 年齢

① 20代以下	54
② 30代	70
③ 40代	94
④ 50代	100
⑤ 60代	70
⑥ 70代以上	36



(3) 職業

① 会社経営・役員	11
② 会社員	60
③ 公務員	211
④ 団体等職員	22
⑤ 農林水産業	12
⑥ パート・アルバイト	26
⑦ 専業主婦（主夫）	30
⑧ 学生	7
⑨ 無職	34
⑩ その他	11



※「⑩その他」の回答

- ・ 自営業
- ・ 障がい者施設運営
- ・ 音楽家
- ・ ライターと主婦

(4) 居住地

盛岡市	125	雫石町	2	普代村	1
宮古市	7	葛巻町	5	軽米町	2
大船渡市	8	岩手町	5	野田村	0
花巻市	17	紫波町	8	九戸村	0
北上市	20	矢巾町	26	洋野町	14
久慈市	22	西和賀町	3	一戸町	4
遠野市	17	金ヶ崎町	4	紫波郡	1
一関市	23	平泉町	4	下閉伊郡	1
陸前高田市	4	住田町	1	沿岸北部	1
釜石市	9	大槌町	17	岩手県	5
二戸市	6	山田町	3	八戸市	1
八幡平市	7	岩泉町	1	仙台市	1
奥州市	28	田野畑村	3	東京都	1
滝沢市	16				

(5) 出身地

盛岡市	89	奥州市	32	大槌町	15
宮古市	14	滝沢市	10	山田町	3
大船渡市	12	雫石町	6	岩泉町	5
花巻市	15	葛巻町	6	田野畑村	3
北上市	18	岩手町	5	普代村	1
久慈市	11	紫波町	9	軽米町	3
遠野市	28	矢巾町	9	野田村	1
一関市	28	西和賀町	1	九戸村	1
陸前高田市	4	金ヶ崎町	1	洋野町	11
釜石市	12	平泉町	4	一戸町	7
二戸市	8	住田町	1	県外	39
八幡平市	9				

※県外の内訳

【北海道】札幌市 1

【青森県】八戸市 3、むつ市 1

【宮城県】仙台市 2、丸森町 1

【山形県】山形市 1

【秋田県】秋田市 3、横手市 2、北秋田市 1、美郷町 1、秋田県 1

【福島県】いわき市 1、相馬市 1

【茨城県】茨城県 1

【群馬県】前橋市 1

【千葉県】松戸市 1

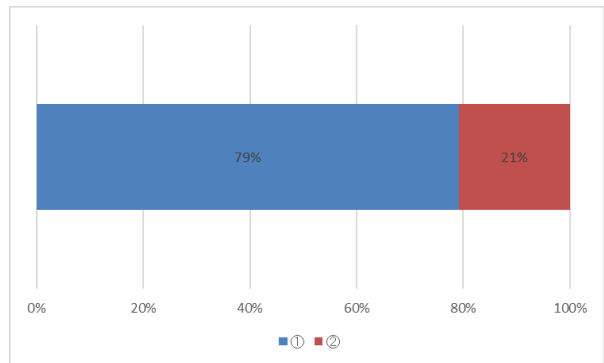
【神奈川県】相模原市

- 【東京都】 新宿区 1、目黒区 1、世田谷区 1、府中市 1
- 【兵庫県】 宝塚市 1、兵庫県 1 【和歌山県】 和歌山市 1
- 【岡山県】 岡山市 1 【長崎県】 長崎市 1
- 【鹿児島県】 鹿児島市 1、喜入町 1 【その他】 県外 4、他県 1

問2 あなたは「消防団」という組織をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

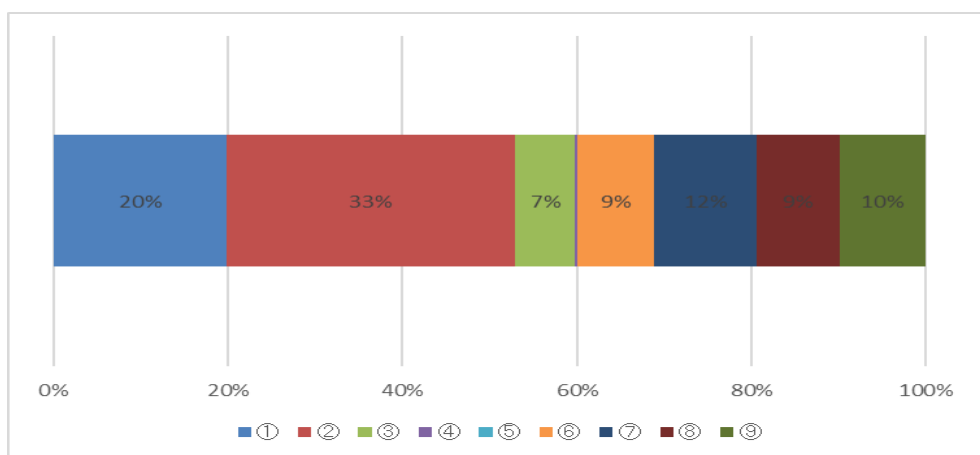
消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防御活動など非常に重要な役割を果たしています。さらに、平常時においても、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

① 活動内容も含め、知っている	334
② 名前だけは知っている	88



問3 あなたが消防団を知ったきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでください。

① 家族が消防団員	84
② 友人・知人が消防団員	140
③ テレビ・ラジオで知った	29
④ SNS (X、TikTok、インスタグラムなど) を見て知った	1
⑤ YouTube を見て知った	0
⑥ 市町村の広報誌で知った	37
⑦ 災害時に活動している姿を見て知った	50
⑧ 訓練をしている姿を見て知った	40
⑨ その他	42

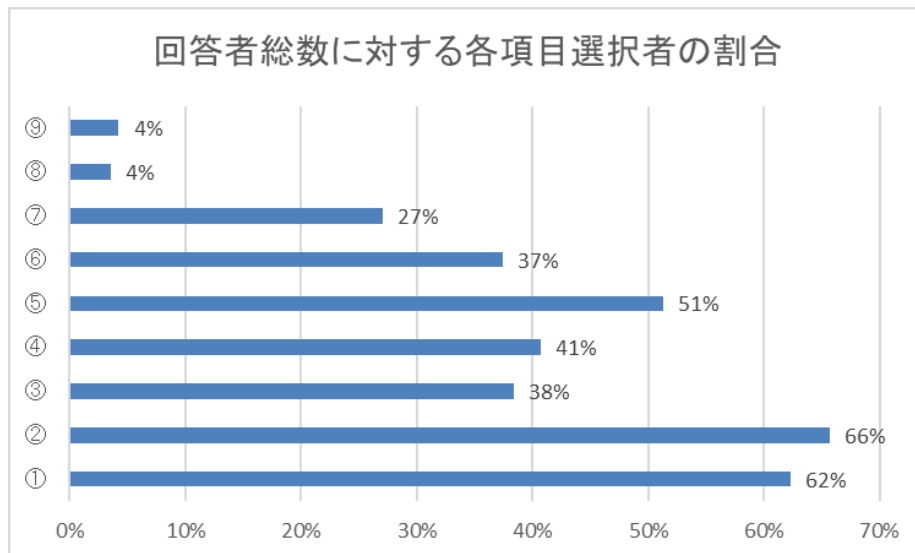


※「⑨その他」の回答

- ・新聞やチラシ、ポスターで見たため。
- ・家族から聞いたため。
- ・過去に家族や親戚が消防団員だったため。
- ・地域に消防団があったため。
- ・子どもの頃から活動（火災現場への出動や火災予防、点検等）を見て知っていたため。
- ・婦人消防隊に所属したことがあったため。
- ・自治会活動の中で知ったため。
- ・業務上消防団と関わっているため。
- ・東日本大震災の際に、各地で犠牲になった方々がいたのを見たため。
- ・出初式での分列行進や総合防災訓練などのイベント。
- ・小さいころからなんとなく知っている。
- ・職務上、協力体制があるため。
- ・職場の新採用研修で知った。
- ・秋まつりの山車に参加して知った。
- ・仕事柄知っている。

問4 あなたは「消防団」に対してどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを全て選んでください。

① 火を消してくれる	265	(62%)
② 災害時に助けてくれる	279	(66%)
③ 訓練が多い	163	(38%)
④ 飲み会が多い	173	(41%)
⑤ 休日がなくなりそう	218	(51%)
⑥ 家族に負担がかかりそう	159	(37%)
⑦ 上下関係が大変そう、厳しそう	115	(27%)
⑧ わからない	15	(4%)
⑨ その他	18	(4%)

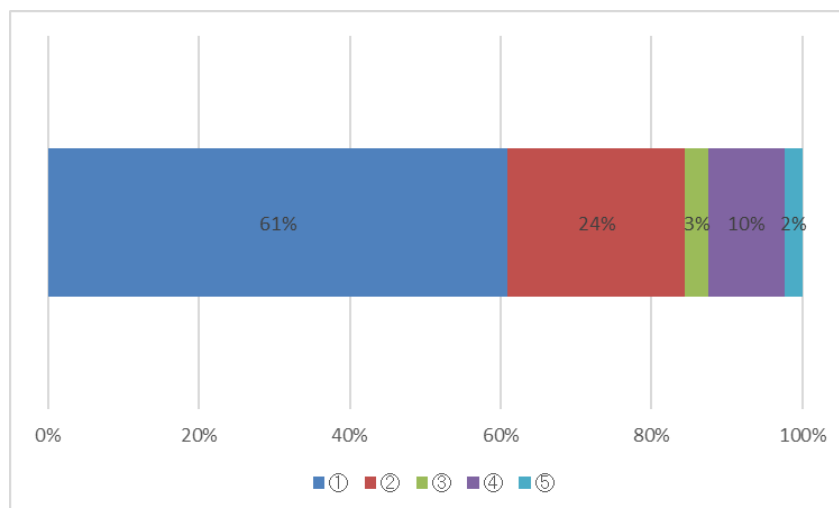


※「⑨その他」の回答

- ・大変そう。
- ・いい話を聞かない。品がない。イメージが悪い。
- ・活動の割には報酬が少ない。
- ・地域のために活動していることをありがたく思う。大変な活動だとも思う。
- ・本業の人と違って装備が軽い(はっぴに長靴)ので、災害の最前線にいて大丈夫なのかと思うことがある。例えば東日本大震災、雲仙普賢岳など。
- ・大会が近くなると、朝5時頃から練習をするが、大声で話をし、練習時間が短い。放水練習時もこの時代に使い放題。奥州市の生協駐車場、近隣住民大変迷惑している。県から一言注意してほしい。
- ・ラップ隊
- ・辞められない。家族の理解がないと続けられない。
- ・サラリーマンが消防団員になれないのではないかと考えていた。日頃トレーニングする必要があるのではないか。
- ・危険を伴う災害活動を行う。
- ・自身の仕事の他に、災害時は消防団としても活動し、大変な業務である。
- ・毎日のプライベートでリラックスできる時間がなくなる。
- ・自身の仕事の他に、災害時は消防団としても活動し、大変な業務である。
- ・昼夜問わずの奉仕・貢献でご苦勞様です、という気持ち。地域を支える仕事で大切。しかし町内会もそうだが、古参が新人に会計から企画から全て丸投げし、やればやったで(いったん決まったものでも)ひっくり返す。田舎町でそういうのを見聞きしてしまったので、地元古参の古臭い考え方を排除しシステムチックなやり方を構築しないと難しい組織だと思う。
- ・消防団員の高齢化が進み、活気がなくなってきている。

問5 あなたは消防団の活動をどのように評価されますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 地域の安全に大きく貢献しており必要不可欠である	259
② 地域の安全にやや貢献しており必要である	100
③ 地域の安全にあまり貢献しておらず必要ない	13
④ わからない	43
⑤ その他	10



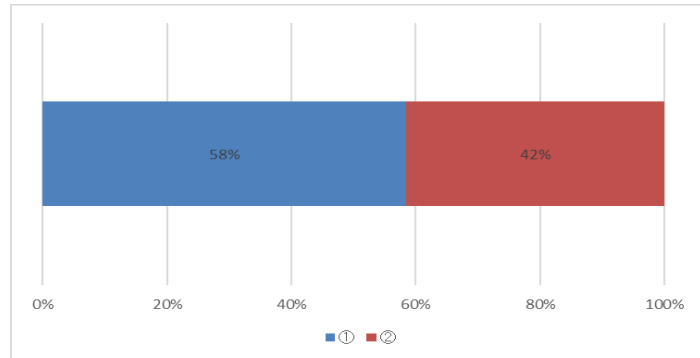
※「⑤その他」の回答

- ・制度自体に時代との乖離を感じる。(消防団の方々は本当によく活動されていると感じ、尊敬している。)
- ・訓練、パレードなど見ると人数がとても多く、安全に大きく貢献というより、イベントなどのイメージで見ている気がする。
- ・地域に貢献しており現在必要に迫られているが、公的機関の消防組合で対応してほしい。
- ・地域の安全に大いに貢献していると思うが、必要不可欠かは分からない。
- ・良いイメージがあまりなく(インターネットや知人の話より)、平時は仕事の後に訓練、巡回、休日は飲み会というイメージを持っている。消火活動も消防士のイメージがあり、また、具体的な活動も不明であり、イメージ先行してしまっているため、消防団の活動に対する評価は出来ない。
- ・必要だと思うが無償での労働の搾取はよろしくないと思います。予備自衛官のような体制にすべきと個人的には考えます。
- ・父は消防が到着する前に初期の活動をしていてカッコいいと思った。
- ・活動している様子を見たことがなく、判断できない。
- ・地域の安全に貢献していると思うが、実際の火事や災害時にどういう役割をしているのかわからない。
- ・報酬に対して貢献度が高い。(日常的な拘束や危険な現場での活動に対して報酬が低

すぎる。)

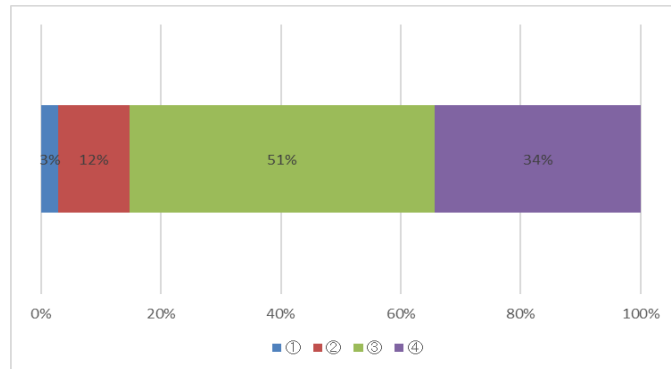
問6 あなたは、大学生・短大生・専門学校生等や女性でも消防団員になれることを知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 知っている	248
② 知らない	176



問7 あなたは消防団員になりたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 非常にそう思う	12
② ややそう思う	51
③ あまり思わない	216
④ 全く思わない	146



問8 問7のように考える理由について、御記入ください。(自由記載)

① 非常にそう思う

1	地域コミュニティ維持に重要な組織なので、日頃から何か協力したいと考えている。
2	自身も防災指導員として活動しており、災害等を含め非常に興味がある。
3	小さい時から洪水や火事の際、見て育ったが、今は高齢者になり、体が動かない。口で伝える事をやってみたい。
4	大切な仕事だから。しかし公務員であり、災害時は公務を優先するため、いざ消防団に入り訓練しても、実際に公務をほっぽって行くことはできない。しかも夜だったとして、活動してからの出勤は年齢的にきつい。年々仕事が増え（増えなくても心身の病でままならない職員が増え）ている中で、「夜消防団活動したから休みます」は言えない状況。いつ休むかもしれない人が多い職場なので、町内会もお断りしているところです。
5	地域のために活躍されておりカッコいいから。
6	地域に貢献したいから。

7	退職後に、自分の経験を生かして地域に貢献できる分野だから。
8	災害時の人命救助に貢献したい。
9	火災、災害時には消防士だけでは補える物では無く、消防団の力はとても大きいものと思っている。日頃の活動を拝見し、頑張っている消防団を見て自分も若ければ入団したいと思う気持ちはある。
10	必要不可欠だから。

② ややそう思う

1	地域貢献したいから。
2	人口がかなり少なくなっているが、自然災害や動物との共存など難しい問題は多く、応急処置などが必要な場面に遭遇する機会のためにも、講習などがあれば受けておきたい。子育て中のため出動要請に添えないと思うが、その場での誘導など、団員への手助けになればと思う。
3	必要不可欠と思うが年齢的に厳しい。
4	地域のために活動していただいております、ありがたく感じるが、いざ自分が時間をそのために割けるかとなると、優先順位が低くなってしまいます。
5	男性のみだと思っていたが、女性でもなれると知ったから。
6	少人数でも女性がいるといいと思う。
7	これからは共助が必要なため。
8	過疎の町、村で近くに消防署がないときは身近な人達が消防団員となって助けてくれるから。
9	費用的負担がなければ参加したいと思う。
10	あまりにも過酷な仕事をしていると感じるので、いくらかでも軽減できたらという思い。
11	そうは思いますが、家族が入団しているので私まで入団するわけにはいきません。
12	消防団員の方々の地域を守るという高い志に感銘を受けている。
13	職場での災害対応と重複するため。
14	地域に貢献したい。一部の人に負担をかけるのは心苦しい。
15	まだその時じゃないから。
16	一般企業に勤めていた場合、消防団の活動についてその企業が理解がない場合大変と考える。
17	女性が少なさそうで男性の役割が多い気がする。
18	地元に残っているかわからないから。
19	ラップ隊がかっこいいから。
20	家を空けがちである。
21	消防団の人の具体的な活動内容について、知らないから。

22	所属することで会社にはないコミュニティに参加することができ、ヨコのつながりが増えそうだと思うから。
23	人口減少による消防団員の担い手不足が問題となっているが、有事に備え、地域防災力の向上は重要であると思う。
24	親戚が消防団員で興味はあるが、転勤により活動に参加できなくなるため、参加して良いか分からない。
25	必要不可欠なため。
26	地域で出来ることを行うのは当たり前と思うから。

③あまりそう思わない

1	若い時は思った。
2	過去に協力隊員で活動していた。
3	年齢や体力的に難しいため。
4	仕事と家庭を考えると時間がなく活動が難しいため。
5	消防演習や操法大会、飲み会等に参加したくないため。
6	消防署員と消防団員は本質的に違う立場の存在であると思う。
7	年齢的な理由や身体的な不安により、消防団員として活動に参加することでかえって迷惑をかけてしまうと思うから。ただ、消火活動に関する基礎知識の習得や初期消火や救命講習・応急手当について学ぶ機会があれば参加してみたい。
8	地域の活動について、いつでも活動が出来る状態にしておかなければいけないと思うと、家族の精神的負担が気になるため。
9	夜勤のある仕事なので、出勤に対応できない。
10	職場に近くないと活動が難しい。
11	訓練するとはいえ、実際の災害時に自分の安全を確保しつつ、地域や誰かのために貢献できるか考えたとき、無理だと思った。
12	知人が、子育てで大変な時期なのに、消防団の訓練が始まると夫が帰ってこないと怒っていたのが忘れられない。
13	給料など何か手当があるか分からないから。
14	転勤族の為、長年地域を離れ単身赴任生活をしたため。
15	手当が少なく、時間を削った分に見合った手当が出ていない。ボランティアに近いイメージがある。
16	古いイメージかもしれないが、知人の話し等から飲み会が多い印象を持っており、正直気が進まない。
17	女性にできることがわからない。
18	仕事をフルで働いているので、自分の時間がなくなるから。
19	居住市外に通勤しているため。

20	拘束時間が長いから。
21	年齢や体力的にきついこと。転んでけがをしたら日常生活に支障が出る。
22	消防団が果たす役割・効果と、加入することによる負担等のバランスが取れているのか疑問。
23	地域の安全・防災は重要と思う反面、自身の生活を犠牲にする必要があるから。
24	家族の者が消防団なので二人とも団員になると家に残る事ができないため。
25	できることがわからない、入り方がわからない、転居が多い。
26	危険なイメージ。時間を確保できない。
27	昔、「すごく年上の方が新人で入ってくると扱いに困る」と知人が話していたので。
28	有事の時に必ずしも駆けつけることができる自信がないから。
29	日常的な拘束でプライベートでリラックスできる時間がなくなるほか、危険な現場での活動に対して報酬が低すぎる
30	集まりが多く、休日も家庭のことができない。
31	訓練や出動だけならよいが、大会などへの参加が負担に感じる。
32	男性に比べて非力だから。
33	転勤の多い職であり、入団後の活動に参加できるか分からないため不安がある。
34	休日が訓練等でなくなる。火災が発生すると、鎮火した後も、消防団は現地に残っていなければならない、翌日が仕事の場合であっても配慮してもらえない。
35	男性が訓練をして飲み会をして子供は妻に任せる時代ではないと思うので家庭を優先したいです。オンデマンド併用で集合練習を最低限にし、飲み会も無し等の改革があれば参加も考えます。
36	私達若者がやってみたいと思えるようなメリットがあまりない。
37	職場でも警戒当番があるため、休日がつぶれてしまう可能性をこれ以上増やしたくない。
38	地域の自治会の集会をしているようなイメージを持っている。高齢化が進み上は80歳、下は60代で最年少等の話を聞いたことがある。人間関係も大変そうなので遠慮したい。消火、火災防止は各市町村の消防があるので消防団はいらないのではないか。
39	盛岡シティマラソンの手伝いとかも含め年令的に厳しい。古い地域は先輩後輩の意識が強くて、他の地域の人は入りにくい。太田地区とか。
40	定年退職後の年齢でもなれるのであれば地域貢献のためなりたいと考えているが、今はあまり思わない。
41	火災の初期対応者としての役割はとても重要だと思いますが、負担が大きく感じます。日中仕事のため家庭にいないので、活動できる機会は極めて限られます。地域内では地区活動に自分より若い世代が全く参加しておらず、これと同様に加入す

	ると庶務的なことをすべて引き受けさせられたうえに下が入ってこず引き継げないという状況になることを危惧します。
42	市街地に居住しており、地域コミュニティが希薄。
43	父が消防団員だったことと、父が退団後は異動により数年で居住地を離れたりし継続して活動が出来ないと思っているため。
44	何をしているのか、いつ活動しているのか等まったくわからない。
45	入りたい気持ちもあるが休日などの出勤や業務中の対応はできないから。
46	災害時に実際活動できると思えないから。
47	ポンプ操法の参加が負担
48	職業が常備の消防職員であるため、同業であり、退職後でなければなることはできないから。
49	人付き合いが大変そうだから
50	別の立場で地域に貢献したい
51	若手に雑用が集中する
52	家族が消防団員のため、活動を支える立場に努めたい
53	子供が小さいので、活動に参加出来ない事が多いと予想される。災害時、消防団員の活動中に亡くなった方が多い印象。緊急時以外の活動が多い印象。
54	国家公務員による副職扱いで、いちいち承認を取らないとならないから。また、防災官庁のため災害時は職務が最優先され、消防団活動ができない。
55	善意頼りの活動だが手当が低い
56	地域のしがらみをこれ以上増やしたくない

④全く思わない

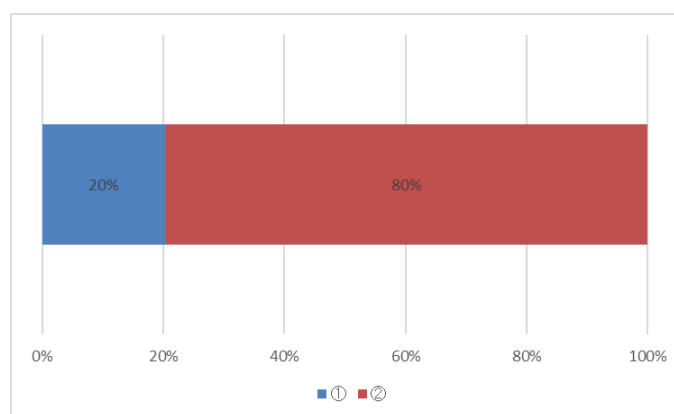
1	若い人をお願いしたい。
2	消防団は火災や災害時に消防署と協力してその補助を行う上で、危険が伴い、且つ特別職の公務員であっても報酬や出動手当、公務災害補償など待遇面が劣っている。(これは岩手県に限らず全国的な問題)
3	メリットがないため。
4	入って当たり前なんだからと半ば強制ぎみな態度で入団を促されたことがある。年代的には当たり前かもしれないが、理不尽な上下関係や飲み会で暴れる人がいるなど、本当の話ではないかもしれないが、入りたいと思わない。また、消防士が消防団員に対しても見下す態度で接することが多々あると聞いている。
5	活動のわりに報酬が少ない。
6	日頃の訓練や飲み会、コミュニケーションなどの負担感と、自身が参加することでの地域への貢献のコストパフォーマンスが悪く感じるため。
7	年齢や体力的に難しいため。

8	仕事と家庭を考えると時間がなく活動が難しいため。
9	いざという時の大変さを考えると、家族の形態にもより、参加したくても無理が生じると思う。「仲間作りだけの会」になりかねないように思う。
10	地域に必要なと思う反面、強制的な活動や仕事であれば仕方ないが、プライベートの時間が削られることは考えづらい。
11	消防隊員がいるのだから一般市民の火消しの流れから頼らないでほしいと思う。報酬の少なさも最近はニュースになったり微増しているが、アルバイトよりも待遇が悪く、今後ますます団員数は減ると思う。市職員などは団員の代わりに消防訓練を受けるなど仕事としての対応でないやりがいがいだけでは活動したいと感じない。昔よりは活動の仕方も変わってきてはいるが、自分の子供に消防隊員はよいとしても団員はなってほしいと思わないから。
12	婦人消防協力隊を長年務めてきたが、人口減少で定年が75歳まで延びた。体力的についていけない。都市部の団員を増やしてほしい。
13	地域防災は地域で守るのが基本と思うが、必ずしも既存の「消防団」である必要は無く、しがらみの無い公的防災組織（消防、救急救命、水防、地震防災など）が別に必要で有ると思います。
14	入ったら最後、辞められないイメージ。やりがいより、上下関係やしがらみ、面倒なことが多いイメージ。
15	活動内容がわからない。
16	自分の生活で精一杯で、誰かを助ける余裕がない。
17	知人が消防団の活動で死亡したので、絶対に入りたくない。
18	実際、地域に貢献しているかわからないから。
19	仕事柄、2～3年サイクルで転勤することがあり、必ずしも居住地にいるとは限らないため。
20	ポンプ操法訓練や出初め式など、実際の災害にそぐわない活動が多い。
21	仕事の時間も休みの時間も削りたくない。
22	男だけいそう。訓練とか夜やっているから大変そう。寒い中での出初め式がいや。
23	初期消火ぐらいしかできないのでわざわざ地域住民がやる必要ない。
24	必要性が認められないため。
25	休日が無くなったり、受け取る報酬が少ないなどデメリットしかない。
26	詳しい活動内容がわからないから。
27	適性がないから。
28	歴史的な背景、自治体の予算上の制約等があるのかもしれないが、なぜ消防活動を一般住民である消防団が担わなければならないのか理解できない。
29	急に呼び出しがかかるため
30	基礎自治体の公務員は、災害発生時に行うべき業務があり、消防団員との兼務は

	望ましくない。
31	消防活動等、危険を伴う活動は公的機関（消防署）が行うべき
32	家族が消防団員なので、自分までやりたいと思わない。
33	地元団員達の雰囲気は苦手だから。
34	古い慣習が残っているイメージがあるため。
35	訓練や人と関わるのが面倒であるため。
36	家族が現在消防団員のため一家に2名入団するよりは、だれも入団していない世帯から募ってほしい。
37	時代に不相応。
38	転勤族。上下関係。呑み会など横のつながりがめんどくさい。
39	これ以上個人の時間を失いたくないから。
40	報酬について、自治体により金額が異なるとか、団にプールされて団員に適切に支払われないなど、適切な取り扱いがなされていない。
41	将来の夢で精一杯。
42	飲み会では、アルハラ、セクハラ、モラハラ。人が離れていくのもわかる。
43	現場では、団員以外は邪魔者のように扱われ、威張り散らす人が多いから。町が主催の避難訓練に参加してるのを見たことがない。訓練より飲み会の回数の方が多いのでは？
44	操法などという全く役に立たない競技を有難がり、練習と称して長時間の拘束を美化とし必要とする組織に属したいとは思わないから。

問9 入団説明会や体験入団ができる機会があれば、参加したいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

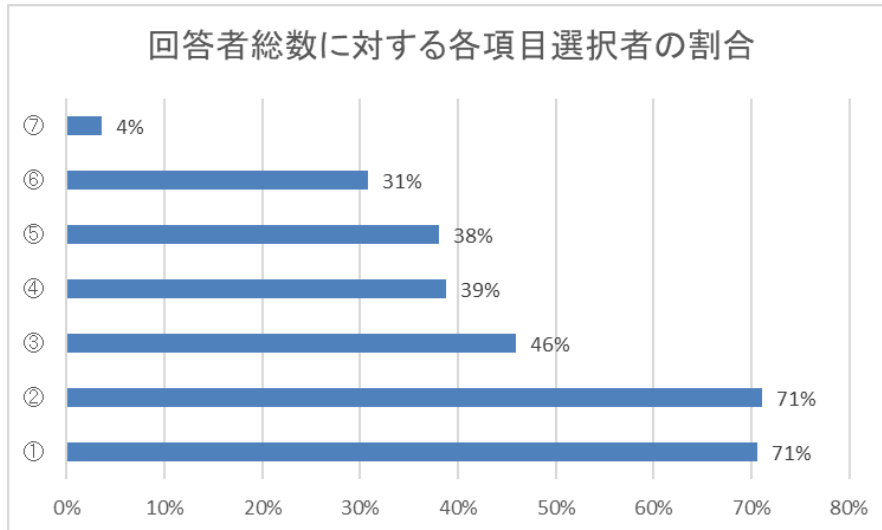
① 参加したい	86
② 参加したくない	336



問10 あなたが消防団に望むことについて、当てはまるものを全て選んでください。

① 消火活動	300	(71%)
② 災害時の避難誘導	302	(71%)
③ 火災予防活動	195	(46%)

④ 住民に対する消防訓練、応急手当等の指導	165	(39%)
⑤ 行方不明者の捜索	162	(38%)
⑥ 地域行事での警備活動	131	(31%)
⑦ その他	15	(4%)



※「⑦その他」の回答

- ・ 除雪作業
- ・ 避難時の確認歌や音頭（鼻歌で安全確認を思い出す）など日常に馴染む取組み
- ・ 災害時の身近なリーダーシップ
- ・ 消防団に対して、「②災害時の避難誘導」や「④住民に対する消防訓練、応急手当等の指導」、「⑥行方不明者の捜索」は望むが、それは報酬がある場合であり、無報酬であれば、特に求めない。労働の対価がないのに、求めることがおかしいと思う。
- ・ 行事や飲み会を少なくしてほしい。参加を断るといづらい。
- ・ 「防災士」有資格者による平時からの防災教育・指導の実施。
- ・ 災害時の避難を消防団員に任せると、消防団員の生活にも影響があると思う（旅行、趣味など）。また東日本大震災では消防団員も犠牲になっており、災害時の避難は自助共助中心としたほうがよいと思う。
- ・ 何か楽しいイベントを開催してほしいです。
- ・ 活動内容がわからないのでわからない。
- ・ 活動内容と報酬が見合わない。
- ・ 人口が増加することは考えられないなかで、消防団員を増やすのは無理ではないか。マンパワーに頼らなくても良いシステムやAIの導入（DX）や設備投資（災害対応ドローン、重機等）を考えてはいかがでしょうか。
- ・ 活動の必要ない。

問 11 あなたは県や市町村の「消防団応援の店」制度を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

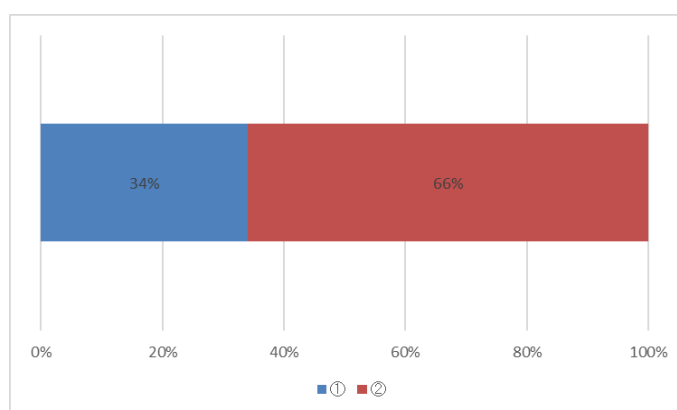
「消防団応援の店」制度とは・・・

地域の安全・安心を守るため活動している岩手県内の消防団員の皆様に対し、趣旨に御賛同いただき消防団応援の店として登録していただいた店舗及び事業者の皆様から特典や割引等のサービスを提供していただくことにより、消防団を応援していく制度です。県や一部の市町村で実施しています。

※ 県の制度における登録店舗数 : 415 店舗 (令和6年7月1日現在)

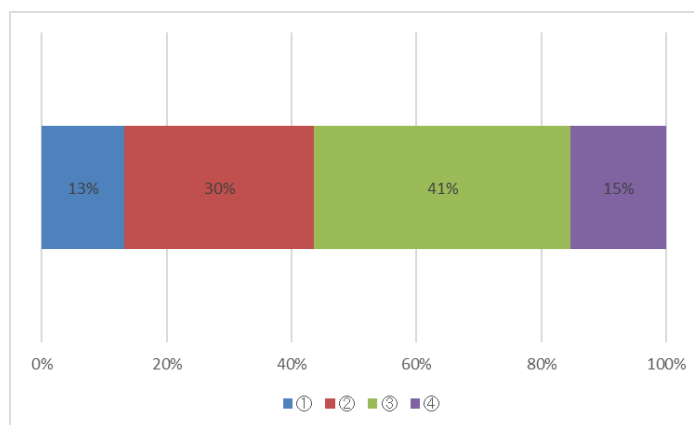
サービス内容の一例: ドリンク1杯無料、料金5%割引、粗品贈呈

① 知っている	144
② 知らない	280



問 12 「消防団応援の店」で団員が受けられるサービス内容について、魅力を感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。

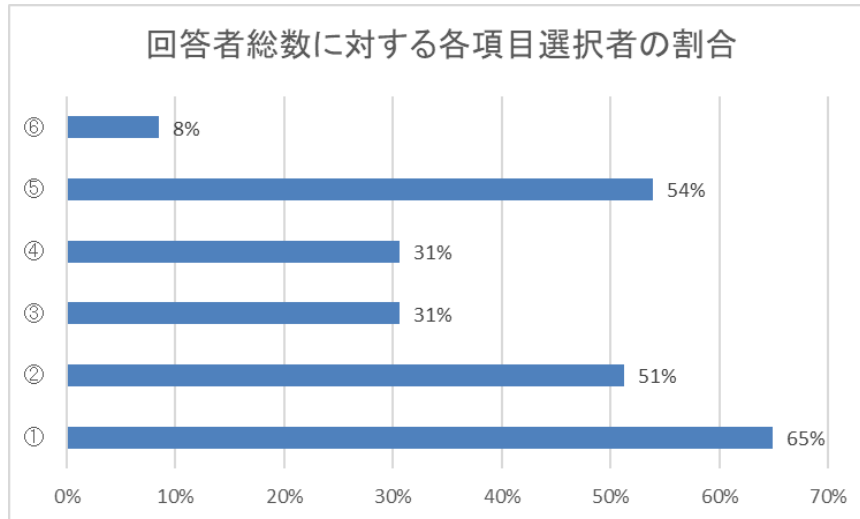
① 非常に感じる	56
② やや感じる	129
③ あまり感じない	174
④ 全く感じない	65



問 13 「消防団応援の店」を多くの人に知って頂くために、効果的と考えられるものを全て選んでください。

① 店頭に掲示するステッカーを目立つものにする。	276	(65%)
② 店内の掲示で特典サービスの内容を紹介する。	218	(51%)
③ 各店舗の自社ホームページで、消防団応援の店に登録している	130	(31%)

ことと、特典サービスの内容を紹介する。		
④ 店舗検索サイト内のページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。	130	(31%)
⑤ 地域情報誌やSNSで告知する。	229	(54%)
⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）	36	(8%)



※「⑥その他」の回答

- ・団員証を定期的に更新するとともに、応援の店一覧表により周知し、使用頻度を高める。
- ・消防団以外の多くの一般客にこそ認知してもらわなければならない。
- ・広告動画を店内で流す。
- ・メディアを使って、広く広報する。
- ・別にPRする必要はない。
- ・前に山海漬でやったような感じで、メディアに取り上げてもらう。
- ・必要性がわからない。そもそも地域が求めるなら、割引や特典ではなく報酬をもっと支払うべき。
- ・消防団員自体は公務員で活動に対して報酬をもらっていると聞いているので、そういう優遇で団員を増やすのは賛成できない。
- ・行政側からもっと周知すべきではないか。
- ・登録している店舗のリストや、特典サービスについてまとめたもの新聞のチラシなどと一緒に配る。
- ・問4の飲み会が多いというイメージ（いいイメージではない）につながるのでは皮肉な事業だと思う
- ・チラシ配布。
- ・Google マップに反映させる。
- ・消防団だけ最良するのはいかなるものか。消防団だけではなく地域の安心、安全を守る活動をしている団体は数多あります。そのような活動している団体にも配慮すべ

きではないか。

- ・サービス内容をもっと魅力のあるものにする。
- ・消防団員を増やす目的で、店舗及び事業者の皆様から特典や割引等のサービスを提供していただくということ自体が少々の外しているような気がします。
- ・協力している店舗に負担をかけるべきではない。
- ・飲食店の場合、お店のメニュー表に消防団割引価格やサービスメニューを表示する。
- ・対象店舗と特典サービスを閲覧できるサイト(簡易的なもので可)を作成、公開する。

問 14 県では、消防団員としてやりがいを持ってもらうために、県による表彰や消防団応援の店の登録拡大に取り組んでいますが、他に効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

1	詳しい消防団員への制度があるかわからないが、消防団員自身や組織から、規約や運用で負担低減など改革の提案を受けて改善になる提案に対して表彰制度を設けたらいかがでしょうか？
2	団員の皆さんは日々使命感をもって業務に従事しています。報酬や手当の拡充のほか、表彰制度をもう少し拡充することで、やりがいが一段と増すのではないかと考えます。
3	「消防団員サポーター」のような、一つ前の段階があれば参加したいです。
4	消防団員の役割を現在の様に危険作業に携わるものから、日常の啓発・広報活動の存在にしていきたい。
5	特典サービスとはでなく、皆やってみようというような事を広報してほしい。やってる方々の中には、名誉と思ってやって、表彰とかはやめてほしい。やりがいを前面に出して欲しい。
6	表彰式を子供や孫が在籍する学校で実施できるように協力を仰ぎ、消防団の活動と尊さを子供たちにアピールする。
7	真っ当な報酬
8	ジム等の年会費割引
9	わからない
10	消防団の存在は知っていても具体的な活動内容を知らない人が多いのでは…？地域の防災訓練などに参加して活動をPRしていくといいと思う。
11	手当の増額
12	応援の店特典がJAFの特典と似たような感じなので、もっと手厚くしてあげても。
13	団員への報酬・手当等の改定(増額)
14	若い世代の活躍の様子を広報紙に掲載する
15	ボランティア報酬の増
16	活動自体があまり浸透していないのが現実かと思います。 若い方をはじめ消防団自体の実態があまり解ってないと思われる。 1, 自治会等でPR活動を行う。

	<p>2, 自主防災組織、消防署、市防災課等の連携で活動する。</p> <p>3, 社会人になった時、転入した時などには、募集案内と、直接声掛けを実施する。</p>
17	消防団員の仕事は過酷だがとても責任があり市民にとっては有り難いもの 地域で色々なお役目があるが、消防団員であれば免除出来る役とかがあれば良いと 思う
18	日頃の活動に対する評価が意欲につながると思っていますので、表彰とか成果に対して ではなく、存在に対する評価があればと思います。 定期的な広報による団員の紹介 など。
19	消防団というと「ボランティア」みたいなイメージがあるので、そういう者をきち んと知らせる活動や SNS での告知や周知が欲しい。
20	報償費の増額
21	防災士、防災管理士、消防設備士、救急救命士、准看護師、ドローン操縦等の資格 がもらえる。報酬アップ
22	多くの役割を負わせない
23	TV やラジオ等での周知はどうでしょうか。
24	ともすると、やりがい搾取になってしまうので、あまりその方向で考えないほうが いいかと考えます。やりがいに加え、金銭的な報酬や飲み会を減らすなど、実利的な メリットを高めていくことを検討する方向はいかがでしょうか。その方が現役世代 には理解が得られやすいと考えます。
25	学校・企業のバックアップと広報（若人向け）
26	団員への特典や補助（研修交流）応援の店への補助
27	そもそも、消防団のイメージが昔のままの人も多いのではないかと思います。今の消防 団の活動内容をもっと発信したり、アピールすることは大切だと思う。
28	諸手当の説明、周知
29	火災など出動時、工作中といった場合が多いと思うので、勤務先にも特典をあげる ことがあっても良いと思う。
30	高額な報酬が効果的だと思います。
31	広報などで広める
32	品物、特典（物で寄せてる様で私的には違和感）功績があった時、出勤作業発生し た時でも十分に思える。個人的には経費削減、必要時に大切に費用を動かすが好みで す。
33	広報誌などでリレーで消防団員を紹介し、経験ややりがいを伝えてもらう。消防団 シリーズを組む。 また各地で活動の写真展などを行う。
34	手当を増やす。
35	地域の他の役員や委員と連携し、地域全体に活動の認識を広める
36	やりがい・・・？本当に好きで入団した方なら、あまり”ごほうび”的なものを希 望している方は少ないと思う。そういうのでやりがいを持たせる、という考えには疑 問。
37	活動内容に合わせて報酬やポイントが支払われる

38	出勤回数が多い方には食事券をプレゼントする。
39	応援の店という取り組みを今回初めて知りました。消防団の担い手が不足とはあちこちで読んだことがある。自分は年齢的にも体力的にも迷惑をかけるだけなので無理だと思う。しかし何らかの形で支えたり応援したりする側としての参加はできると思う。そのようなサポーターを募るのもいいかと思います。
40	出勤手当を上げるべきかと
41	表彰されても陰の立役者は表彰されにくい。やりがいでだけでは貢献できる人は少ないと思う。消防団員という仕組み自体を考えたほうが良い。
42	永年勤続表彰はもちろんです。新団員のプロフィールや、新団員を紹介して入団した際には、特典(商品券や金一封)を進呈するなど。
43	給料、手当がしっかりあれば検討したい。
44	活動に対応する其れ相応の対価(金銭に限らず)。
45	婚活 etc イベント?!
46	報酬が支給されていると思いますが、本人へ直接、出た日に日払いにして、やりがい感をもってもらおう。
47	一関市消防団では「消防団だより」を発行しており、これにより活動を知ることができる。
48	表彰、手当
49	消防官になることを希望する学生が多い割には、そういう学生たちも消防団への入団には消極的という不思議な現状がある。学生層に入団してもらえるような工夫があると良いと思う。
50	若い人が無理なく活動していることを広く知らせるようにすれば増員につながると思います。
51	会社員、自営業者 かかわらず、活動に対しての適切な報酬
52	団員としてやりがいを持ってもらうために、消防団応援の店、登録拡大が効果あるとは思えない。しかし特典サービスが目的ではないが、家族等の理解協力により活動できるので、例えば皆勤者(精勤には近場の温泉入浴券、長期間活動者には旅行券等々大局的に優遇?出来ないのでしょうか。
53	手当の増額
54	活動参加の強要や飲み会、飲酒運転などネガティブなイメージの払拭が必要と思います。
55	手当の金額をもっと増額し、かつ、団による個人への手当の積立てや団活動費(団の飲み会の費用に回されていると聞く)への強制的な負担強要を無くすべき。
56	活動に応じて報酬があればいいと思います。
57	地域の協力体制やコミュニケーション能力を高めるための具体的な指針やきめ細かな活動支援の充実が「カギ」となると思う。
58	私自身身近に消防団員がいない為、詳しい事は分からない部分が多い。消防団の活動について地域住民に周知して、活動内容を知る事で住民として感謝の気持ちを持つようになりたい。団員がやりがいを持って活動するためには、入団による対価の他に、団員として誇りを持てるようになると良いと思う。

59	報酬等の引き上げ。活動中のケガなどに対する保証の充実。
60	訓練の公開などを告知して欲しい。
61	地域の人との関わりがあること。
62	最低賃金の支払い。
63	報酬を増やす。
64	子供たちとのふれあいイベントを実施（小・中・高）内容は変える。
65	どのような活動をしているのか、私は知らなかったなので、まずは活動の内容を知らせる活動が必要だと思います。
66	テレビで消防団員の役割や活動をニュースの中で取り上げると見る機会が増えると思う。
67	広報活動を積極に行う。
68	つい最近までは、無報酬で活動していたように思います。小学生の頃、町内会費を集める仕事をお手伝いしたことがあったのですが、「夜警費」という名目で、ほんとに微々たる費用しか支給されていなかったように思います。現在のように、市町村での予算化はされていなかったように思います。この制度は廃止すべきではありません。
69	報酬が出るはずなのできちんと登録した人個人に渡るようにする。 活動日、活動内容、団員の権限の範囲など災害を想定して具体的に提示する。団員としてすることしなくていいことを明確にする。広報などで広く知らせることで地域の消防団員への理解が進むと思う。
70	出動や訓練手当の増額。
71	わんこきょうだい、ガンライザーなど、キャラクターたちが消防団員に扮した動画をYouTubeにアップする。活動内容などをアピール。
72	やりがい等ではなく、報酬が一番。
73	やはり、表彰プラスお金。お店の善意にも補助があると良いと思う。
74	報酬の増加。定期検診などを無料で受けられる。
75	報酬増やす、
76	お給料とは別に、上記のような飲み代ではなく、ご家族の協力、ご理解、支えがあったの活動だと思うので、家族等で活用できる商品券などを支給する。
77	わかりません。
78	活動に見合った賃金の発生。
79	防災士、ドローン免許等、災害対応に必要と思われる資格取得費用を公費で負担する。
80	団員が表彰を受けた段階で、団員が所属する会社（雇用主）に対して活動協力のお礼状を発送する。
81	活動を消防団員まかせにしない。報酬をあげる。
82	知事との懇談会。
83	勤務先の理解醸成（従業員が消防団になることによる勤務先へのメリット）

84	消防団員を対象とした表彰や、「消防団応援の店」登録拡大。
85	有償ボランティアにする。
86	実践的な消火活動訓練の導入と操法競技会の廃止。
87	若者が入団したいと思えるようなサービスであったり、実際に活動してる姿をもっと多くの機会を設けるべきだと思う。
88	あれこれやらせることのないシンプルかつ限定的な活動。
89	若者が活躍するイメージをつける。
90	平日に消防団員として活動する場合は特別休暇又は職専免とする。
91	有事に遭遇した場合、団員としてケガ人に応急処置が出来るようなキットの配布、それを率先して使えるような説明と訓練を実施し、いざという時に活躍出来る自覚と自信を持ってもらう。さらには指導者を育成して、その者にはワッペンを交付するなどして、率先して指導に当たってもらう。可能であれば、大災害時に対応が期待される者として、専用のジャンパーなど配布する。住民の憧れになる格好いいウェアも必要でないかと思います。
92	所属する企業の団活動に対する理解の向上。
93	消防団員のインタビューをして、どんなメリット、やりがいがあるかを紹介する等
94	表彰された団員が多くの県民に周知されるような機会があれば良い。
95	誰でも参加したくなる環境、魅力的な報酬、負担の減少。特に消防団の大会は、必要以上の訓練の義務を与え、一部の使命感を持った人は喜びを感じると思うが、その他大勢には負担でしかない、と感じる。
96	パソコンやタブレット、衛生電話を無償供与する。(災害危険個所や気象情報を把握し、非常時の通信などを確保するため。)
97	例えば、団員(や家族)にもっとメリットとなるような仕掛けをすべきではないか。公的施設で開催する民間イベントへの優先参加権等の付与など。
98	税金控除。
99	やりがいを聞いて、それに答えてあげればよいのではないですか。取組が効果的かどうかは、相手側の思いが分からないとただの自己満足になります。
100	待遇を公務員等に準じるものとし、金銭的な支援を行う。
101	やりがいを感じたエピソード等を団員から募集し、ホームページや SNS 等に掲載する。
102	消防団の役割の見直し。
103	一定期間の勤務をした人には地域などから勤務に当たる時間分の給与が出される。
104	一般の皆さんが消防団員に対して感謝を伝える手段があるといいと思います。
105	消防団員が所属する企業、会社へのバックアップや恩賞。出初式や消防演習といった消防団のイベントを地域のお祭りのようなイベントにして、家族や色んな方々に注目してもらうようなものにする。
106	楽しんでできる何かがあればいいと思う (例：バイクが好き→赤バイ隊とか)
107	報酬増額。
108	ライフワークバランスの向上。

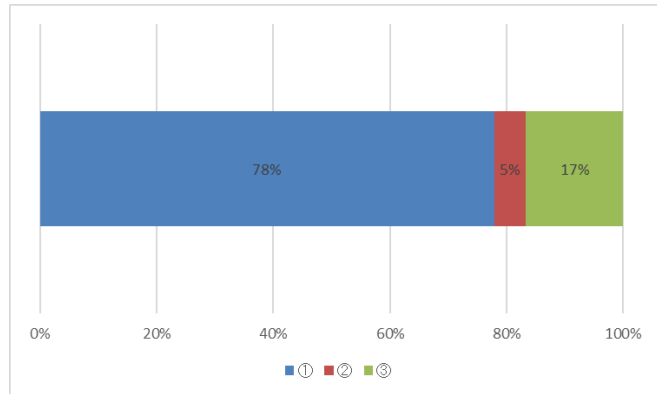
109	操法競技会の廃止。
110	毎週末の集まりなど、緊急時以外、不要な活動は極力へらす。
111	不要な取組を無くすこと。忙しい私達世代には対応しきれないように見えます。
112	表彰は必要ないので、演習や操法などを減らし、地元の役立てる活動に注力したほうがよい。
113	消防団年金制度を作る。
114	装備品の充実。
115	消防団員はそれなりにやりがいを持っていると思うので、どのようなことにやりがいを感じているか聞き取るなどして、それらを増幅できるような取組がよいと思います。
116	報酬を大幅に増やす、もしくは参加すると減税する。
117	表彰や「消防団応援の店」登録拡大でやりがいを感じるのは、高齢層だけではないでしょうか。若い世代はやはり、手当（お金）の拡充ではないでしょうか。
118	休日にも参加してるので手当を増やす。
119	活動は無理なく、出られるときに活動できる柔軟性のある組織体制を作ること。
120	やりがいだけでなくお金も必要だと思う。また、適切なローテーションの維持が必要だと思う。
121	Q4や8に書いたが、地域の古参の古臭い考え、新人（よそ者）いじめ、せっかくやった企画をひっくり返す等はなくしてもらいたい。動きもしないで命令するだけの年寄りじゃなく、片手間でもできる範囲でも気持ちのある人が気持ちよく活動できる下地が欲しい。昔、県の消防防災課だった頃の偉いさんと話したことがあるが、職場（特に公務）の人が消防団に入るに当たっての色々なことが、実はまだ、消防団に浸透していないし、実際の活動には出られないかもという部分に理解も得られていないことを聞いている。今はもう大丈夫なのか。
122	学生への体験入団。
123	手当の充実と、近年顕著な国を挙げての男性の育児休業のような積極的な取組と仕事場の理解の徹底。

問 15 市町村によっては、機能別団員、機能別分団の制度や、DXやドローンの最新技術を導入していますが、これについてどう考えますか。当てはまるものを1つ選んでください。

消防団では、特定の活動（火災予防・広報活動や大規模災害での出動など）のみに参加する消防団員（機能別団員）や、市町村等で定めている特定の役割、活動を実施する分団（機能別分団）の制度があります。

また、DX（デジタル）技術の活用（例：消防団向けアプリを活用した被害状況の情報共有、出動指令、活動報告）に向けた取組や、ドローンの活用（火災時の状況確認や災害時の救助者捜索）が進められています。

① 今後、導入を進めていくことが望ましいと思う。	331
② 積極的に導入していく必要性は少ないと思う。	23
③ 分からない	71



問16 問15のほか、消防団員の負担軽減につながるような取組があれば、御記入ください。

(自由記載)

1	問14で上げたような新たな技術を利用して情報共有することで消防団員の負担軽減につながることを消防隊員より、提案いただく。例えばAIを利用した被害予測などを気象庁などと連携する提案など
2	若年層の入団がなく高齢の団員が多い地域もあると聞きます。国が主導して、DX技術やドローンの活用促進することで負担が軽減するものと考えます。また、消防団員の最も基礎となるポンプ操法の技術練磨は重要ですが、その操法競技会の在り方についても見直す時期にあるのではないかと考えます。
3	消防団員の社会的負担をDX(デジタル)技術の活用(例:消防団向けアプリを活用した被害状況の情報共有、出動指令、活動報告)に向けた取組に向けるべきで、危険を伴う活動は、民間でもそれに応じた組織があるのだから、また日常生活の犠牲を強いる活動はしない方向でなければ、一般人を消防団員として紹介することはできない。
4	若い人達が団員になるように広報して下さい。
5	すみません、思い付きません。
6	特に思い付きません。
7	出勤に対する職場の理解、出勤した時は有給扱い
8	防災についての啓発活動
9	消防士との連携 消防団員の仕事を具体的に見える化する。
10	防災士、防災指導員、防災課、連携を深めていく。
11	夜中の消火や救助作業の翌日の仕事を休める制度を国全体で進める
12	消防団の毎年おこなわれる訓練協議会は負担が大きいのでは。出る方、応援の方の負担の割に実際効果は?
13	他地域でのグッドケースなどの取り組みに関しては、私には分からないので、県庁で調べていただけると助かります。
14	仕事と学業の両立(活動を認める事、公認欠席に)
15	消防団員の方々が負担と感じている事が解らない。

16	大演習や操法大会などの時間短縮、または内容の改善。訓練は大事だし、演習や大会自体はあってもいいとは思いますが、遠方から参加する分団や分団員、またその家族の負担が大きいと感じる。団員が減少しているからこそ、内容を見直した方が良いと思う。
17	普段から練習をしていないと、いつ災害が起きるか分からないので定期的訓練が必要で、軽減することが難しいと思う。
18	前述されている消防団の活動内容が多すぎるので、業務分担を行い消防団の中でも部署ごとで活動することが望ましいのではないのでしょうか。
19	自分の住んでる場所なので皆がその知識を持てばより安全性高く連携できる 直していく形でハンデの無い方は純番にこなして行く 回って行く。
20	地域行事の警備活動をなくす。(専門団体に託す)
21	有効な機器の活用は今後とも工夫してすすめる。有事の時の応援団員制度を作り、人員不足を補う
22	消防団に入れば、大なり小なり、負担があるのはあたりまえと思う。そこを考えた取り組みは、どこでも大きな問題だと思うので、一言では表せない。
23	手当の見直しの記事は読みました。税金からの補助を増やすべきだと思います。
24	消防団のスタッフを増加させるため、消防団の制服など、服をスタイリッシュにする。ハッピー姿はやや時代遅れかもしれない。
25	活動に際して、本業に従事している会社等所属への就業義務免除要請。
26	敷居を低くして、人を取り込む方向だといいいのでは？
27	消防職員の大幅採用 (資格付与)
28	誤報時の撤退連絡
29	各消防団員に情報をすぐ知る事ができるような、グッズを配布するかスマホ等ですぐに情報共有できる方法を考える。
30	活動時間の上限を設ける等、過度の時間的拘束にならないようなシステムの構築。
31	メリットがたくさんあれば団員さんも増えると思う増えれば行けない時でも代わりの方々がいる。
32	火災現場等の出動などの際、企業(会社)の理解
33	資格取得のための補助制度
34	業務として訓練された行政組織の消防署員が主体となるべきと思います。消防団の法被?やラップが役に立つとは思えません。
35	訓練の内容が、大会のための練習的なものになっていて、実際の消防活動で役に立たないものになっていると聞く。団員の負担を軽減するために、まず実践的な訓練を実施すべきとマンネリ的な活動を見直すことが必要。
36	地域で自由に活動に参加できる仕組み、及び活動できる人員の確保が重要であり、

	例えば地域に常在している職人や学生等若者(婦人を含む)を中心とした協力体制の維持と取り組める時間帯等支援が必要。
37	消防団員の家族にも家族手当のようなものを支給することで、団員の心の負担が少しは軽くなるのでは…
38	消防操法大会参加のための訓練が大変そうに思います。さらに代表になれば連日練習日となり団員の負担が増します。大会内容の見直しも必要ではないでしょうか。
39	難しいですね。過ぎればいざという時に、人員確保が困難になるかもしれません。
40	有職者であれば会社の理解協力が不可欠であるので、公共団体等が積極的に働きかける必要がある
41	稼働日の日当を手厚くする
42	最新情報技術を導入しての各団員の負担を軽減する仕組みの構築が必要であると考えます。
43	もしもの時、団員へのホローアップの体制を明確に提示する。
44	地域において年齢に左右されずに消防活動に参加できる機会があると思う。例として自治会組織の中で婦人として予防策等活動参加の機会を設けることも、担い手育成に繋がると考えております。
45	住民に対する消防訓練、応急手当等の指導や火災予防活動等は、一般市民が代行でよろしいと思います。
46	団員の増員、役割の分担化。
47	消防操法大会を廃止すること。
48	災害発生時において、基礎自治体公務員の団員は火災発生時と異なり公務を優先せざるを得ない状況を通達や勝動マニュアル等を通じて周知を図る。
49	特定の活動参加、特定の役割、活動を実施する分団の設置、災害時に備えたアプリ、ドローンの活用。
50	災害時等における住民意識。
51	消防職員が消防団を兼務する。
52	デジタルがいいと思う。
53	組織の縮小(分団の削減と配置見直し)。
54	消防団員の年齢層が高くなってきているので、積極的に若者を入団させるための取り組みを行うべきだと考えます。例えば20代から30代までの消防団員は養育費や生活費などの補助をつけるなど…
55	災害活動のみに特化した活動。操法大会はいらない。
56	飲み会の時間制限、違反時の通報制度の確立。
57	操法大会で上位を狙うための過度な訓練は本人にも家族にも負担なのでやめて、もう少し実戦的な訓練にして欲しいです。

58	企業の理解、協力。
59	平日に消防団員として活動する場合は職専免とする。
60	消防演習、出初式、ポンプ操法などの規模縮小。
61	活動をサポートする様な最新機器、設備の導入。
62	中高生、大学生は、義務参加とする。子供会みたいに。
63	実務に向いていない操法大会の訓練の廃止。
64	仕事と家庭を持つ人に合わせた訓練時間の設定、何でもかんでも消防団ではなく、地域住民との役割分担。
65	活動を消火活動の補助に限定し、他の負担は自治体が担う。
66	高齢化により年々厳しくなることから、常備消防化（国・都道府県・市町村・出資法人等との採用時から兼務発令前提とした団員確保など）。
67	いわゆる力仕事の業務を廃止し、災害予防や災害時では情報収集や自主避難補助、火災時でも情報機器により自主避難補助に徹する。
68	消防活動をしたら職場で休暇取得できるようにする。
69	「市町村の行事＝消防団の活動」という考え方を改めることだと思います。あくまでも、災害の対応に特化した団体であるべきだと思います。
70	勤務先や地域の消防団活動に対する理解醸成を高める。
71	田舎ではいまだに「消防団員は基本ボランティア」という考え方が根付いているので、そうではないことを特に年配の方々にご理解いただく取組が必要。
72	消防団に頼ることなく、県民ひとりひとりの防災意識が高まれば負担が減ると思います。
73	出初式や消防演習などの規模縮小や、子どもたちの部活動等の大会開催日などを考慮した訓練、行事の実施。
74	操法大会の廃止。ほとんどこれが原因で誰も入団したくないと思っています。
75	出初式・初午・操法大会、これらにかかる事前練習、防災訓練・火災防御訓練、夜警、など、平時のやるが多すぎる。
76	操法競技会を無くして年に1回全体集めて火の消し方講座を署員がやる。
77	出初め式やめた方が良いと思う。やる意味が分からない。寒い中辛いという声しか聞かない。あと大会。見栄えはするかもだけど、勝ち進むことによって仕事終わりの練習が続いて、ただただ辛そう。
78	地方の若者流出防止。
79	団員の役割を細分化するなどして団員負担の大小にメリハリを付け、一般人にとってハードルの低い役割の団員を増やすなどして負担軽減を図ってはいかがでしょうか。

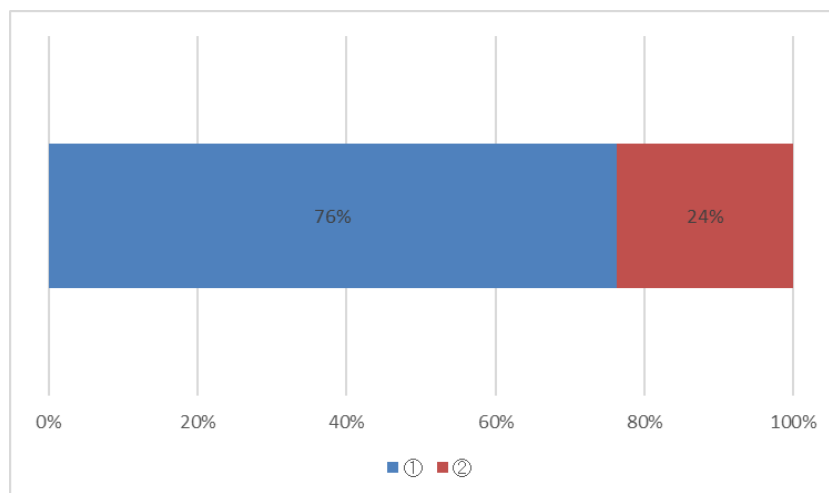
80	消防署の職員を増やして万が一の有事の際の対応は専門的な職員がやるべき。
81	会社員が団の上の役職者にならない仕組みか幹部会議の在り方が変わればいいですね。主人もそろそろ入団から20年になろうとしています。この役職問題がネックになってきていて退団を考えはじめています。雇われの会社員が、平日の幹部会議への出席は無理なので。
82	火災発生状況を確認できるホームページやアプリの開発。
83	企業に協力して頂き優遇制度がある組織をつくって頂く。
84	大震災の時、消防署や警察、自衛隊に協力した時に、下仕事を回されて過酷だったと聞いた。病院で言う、看護師が准看護師に雑用丸投げ、それを介護職に丸投げという構図に似ていると思った。それぞれの役割、立場を尊重しないと辛いと思う。
85	定年制。
86	装備品の充実。

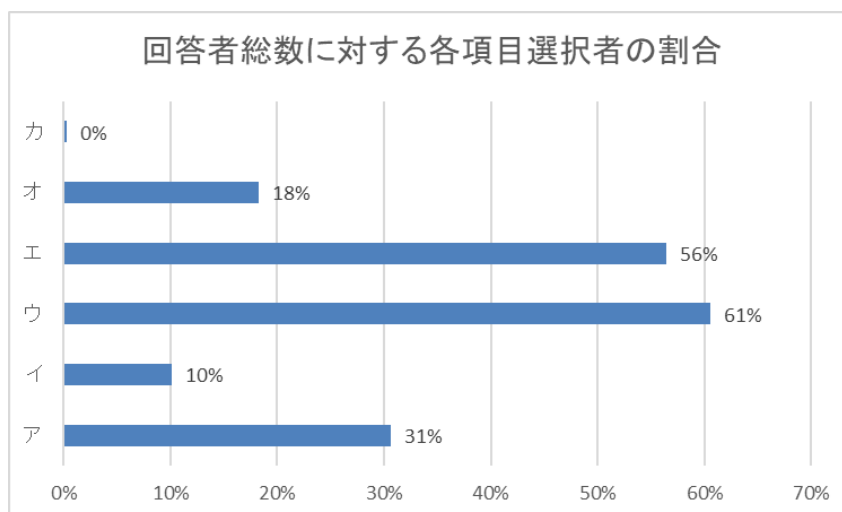
問17 あなたは、県や市町村の消防団員募集の広報を見たことがありますか。

① 見たことがある	317
ア テレビ・ラジオ	97
イ SNS (X、TikTok、インスタグラムなど)	32
ウ 広報誌	192
エ ポスター・リーフレット・のぼり	179
オ イベント等での広報	58
カ その他	1
② 見たことがない	99

※「カ その他」の回答

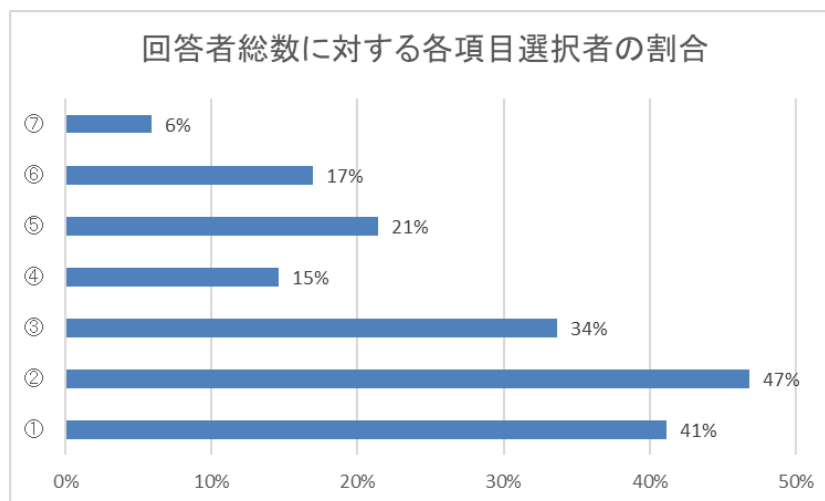
- ・ない





問 18 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報媒体が有効だと思いますか。
次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

① テレビ・ラジオ	175	(41%)
② SNS (X、TikTok、インスタグラムなど)	199	(47%)
③ 広報誌	143	(34%)
④ ポスター・リーフレット・のぼり	62	(15%)
⑤ イベント等での広報	91	(21%)
⑥ タレントやキャラクターを活用した広報	72	(17%)
⑦ その他	25	(6%)



※「⑦その他」の回答

- ・週刊少年ジャンプで消防団マンガ
- ・現在の団員からお誘いする。人から人へ。
- ・団員の都合を最大限に取り入れ、啓発活動は最小限のシフトを組んでやった方がいい（年配、経済は抜きに）。
- ・社会人になったとき、転入したときなどには、募集案内と直接声掛けを実施する。
- ・高校生へのリーフレット配布
- ・インスタグラムやティックトックなどのSNSの広告運用（もっと、そもそもの問題だ

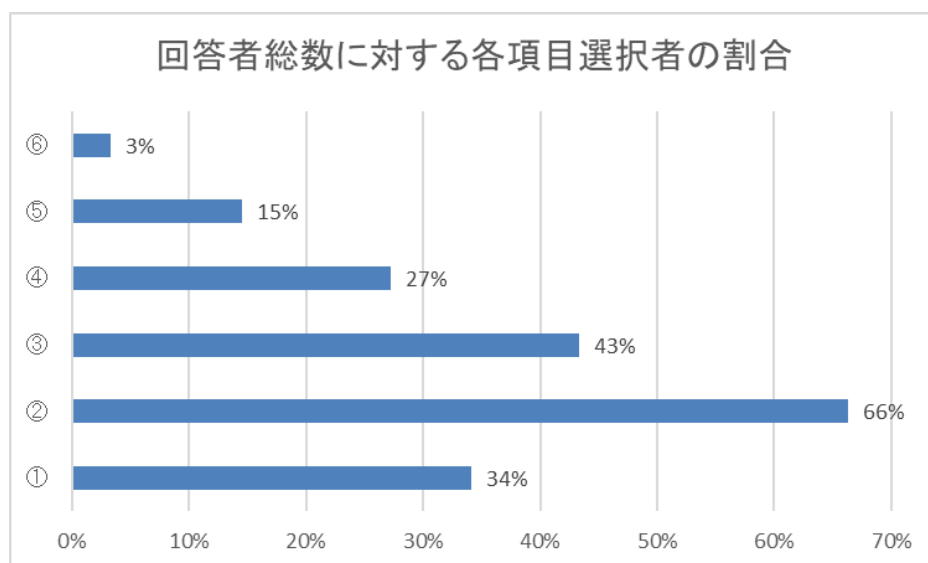
と感じるが)。

- ・直接、勧誘活動を行う。
- ・職場等での啓発（広報）活動
- ・義務化して、各自が出来ることをする。
- ・活動内容が明確になる公のイベント。
- ・広報の中身より、団員が辞めたくないような組織にしないといけないと思います。
- ・大学生、専門学生、高校生を対象とした体験入団。
- ・わからない。どの媒体でも、結局はイメージの問題。義務、負担、使命感、大変、上下関係といったイメージを多くの媒体でばらまいているようにしか感じない。
- ・「コードブルー」など医師を主役にしたドラマはあるが、消防団員を主役にしたドラマはあまりみないので、そういうドラマを制作してもらおう。
- ・そもそも興味がないと見たいと思わないため、CM や職場に広報活動をしに行くなどやり方を考えた方がいいと思う。
- ・過疎地では消防団の存在を知らない人はいない。消防団のあり方を変えないと、新規に入団しよいいと思わないのでは。
- ・出動手当の大幅増額（危険業務に見合った手当になるように）

問 19 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報内容が有効だと思いますか。

次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

① 消防団の役割	145	(34%)
② 報酬・手当や活動内容	282	(66%)
③ 消防団へ入団するメリット	184	(43%)
④ 現役団員の声（やりがい、使命感など）	116	(27%)
⑤ 学生や女性団員の活動紹介	62	(15%)
⑥ その他	14	(3%)

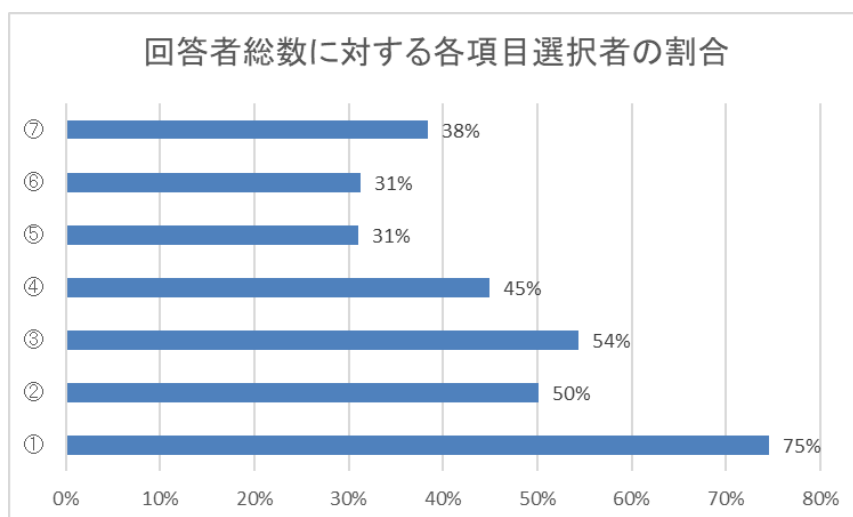


※「⑥その他」の回答

- ・お世話になった方からの感謝の言葉。
- ・活動の際の本業減収等への補填。
- ・ネガティブなイメージ（飲み会など）を変える。
- ・消防団が必要とされている理由。
- ・問 18 に同じ：「コードブルー」など医師を主役にしたドラマはあるが、消防団員を主役にしたドラマはあまりみないので、そういうドラマを制作してもらおう。
- ・問 14 のとおり：消防団員が増えている分団、地域の取り組みを周知する。）
- ・実際の活動状況
- ・ポンプ操法をやめる
- ・過疎地では消防団の存在を知らない人はいない。消防団のあり方を変えないと、新規に入団しようと思わないのでは。）
- ・飲み会をなくす（誰もが飲み会を喜ぶわけではない）
- ・わからない。公務員もそうだが、今は個々人の使命感だけで成り立っている部分もある。それがなければやっつけ仕事になる。本当に難しい。

問 20 全国的に消防団員の減少傾向が続いていますが、入団者が増加するような魅力ある消防団にするためには、どのような対策が有効だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

① 報酬・手当の増額など処遇を改善する。	317	(75%)
② 活動内容や訓練回数を減らし、負担を軽くする。	213	(50%)
③ 事業所に消防団活動への理解を求める等、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする。	231	(54%)
④ 消防団員を雇用する事業所等に優遇措置を行う。	191	(45%)
⑤ 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める。	132	(31%)
⑥ 消防団員が、新しい技術（DX、ドローン）を災害対応等で活用できるようにする。	133	(31%)
⑦ 機能別団員や機能別分団など、団員のニーズに応じた活動形態を整備していく。	163	(38%)



問 21 その他、消防団員の増加のために効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

1	特になし
2	消防団の業務内容を十分浸透させるには、地域の総合防災訓練や防火査察などで広報活動を展開し、消防団員の皆さんの報酬や手当の処遇改善と活動負担軽減が急務であると考えます。また、ある県では外国人の消防団員を募り活動しているところもあると聞きますが、外国人団員の場合、消防団活動に必要な緊急車両の優先通行など、公権力の行使に携わることができないため活動の一部が制限されてしまうケースがあるようです。国ではガイドラインですみ分けているようですが、グローバルな社会となっている今、外国人にも公権力を行使できるよう法改正が必要ではないかと考えます。(脱線しますが、これは公務員全体にも言えることです。)
3	報酬、手当を上げる。安い。
4	社会的ボランティアとして極力危険作業等につかない様にするべきである。 一般人に危険手当・危険保険のついた活動は必要では無いと思います。
5	やりがいがあるんだ等を広報などで頻繁に打ち出しては
6	知人、友人と気軽に参加できる雰囲気作り。
7	インスタを始める
8	防災組織が組まれている地域、会社、学校でも学年に合わせて、救助方法、応急処置、AEDの取扱いについて学ぶ機会を作り、消防団員の活動と共通する部分を知ってもらう。
9	消防団主催のイベントなどを開催し、興味のある方に来てもらい、知ってもらう。
10	勧誘に行っても親が出てきて断らないこと。本人とお話しすること。
11	消防団への入団するメリットを広報する
12	アルバイト制 1回活動する毎に金銭支払う
13	消防団・消防団員・消防団活動などの見える化をして、全体像を理解してもらうことから始めたいもの
14	婦人消防協力隊と消防団、又は他地域の組織の方々との交流会やセミナー等を実

	施する。
15	功には禄を…のように、労力を割いてくれた事に対する評価、報酬がきちんとなされている事が大事なのではないかと思います。
16	活躍しやすい環境の整備（出勤回数の調整など）報酬の定期的な見直し
17	<ul style="list-style-type: none"> ・役所に勤める正規の公務員が、全員消防団になることを義務づける。 ・消防団員の出勤報酬は消防署職員の給与の時給割にした額を出す。 ・公務員共済年金に入れるようにする。 ・報酬が年金の積み立て金になる。 ・勤務中に消防団活動をした場合、その分資金を自治体が補償するとか
18	地域の祭りなどで中高生のボランティアが活動しています。このように中高生に働きかけて地域の活性化、地域防災の意識を高め、団員を増やしていければ・・・
19	全員（特別な事情がある人は除く）がある一定期間役割をになう。その他に希望してくれる人に対してはリーダーとしての待遇を与え長い期間セミプロのようになってもらう
20	「身近な消防団」をアピール。例えば○小学生に対する消防活動の展示、屯所の紹介及び屯所での交流、気軽に立ち寄れる雰囲気作り○ジュニア消防団の育成
21	団員としての取り組み、活動の報告の場。地域イベント等で若い世代へのアピールの場。子供たちの憧れるような制服姿でのアピール。
22	消防自動車を運転するために必要な準中型免許を取得するのに助成金を出している地域もありますが、まだ岩手県全体では普及していないこと、助成金がでるとはいえ、やはり金銭的に負担が大きいことも改善するべきかと思えます。
23	全く新しい組織にする。上下、新旧なしで、住民皆平等にする。
24	友達同士の勧誘活動が効果的と思う。
25	転勤等で居住する独身者にとっては地域とのつながりが希薄と思われるので、そのような人たちが参加しやすい環境づくりが必要なのではないかと思います。
26	メリットを伝える
27	子供と一緒に親子、ファミリー、隊員チーム形成する、そこで会合に家族型に入ると子供の前もあるし飲んだからといってハメははずさない→子供の目もあるのでトラブル抑止力が高く→悪いイメージ評判が減る→健全なイメージが高まる
28	役割の啓発活動と処遇改善。
29	任務の内容は外せないものばかりなので、現状分析の上、合理化スリム化が可能なものを見つけていく
30	消防団が何をしているのか・・・、正確に知っている人は少ないと思うので、取り組み内容（どんなふうに活動してるか、またその内容 etc）を体験できる機会があれば分かりやすいのかなあ…と思います。
31	若い人の参加を可能にするような取り組みがあるといい。若い人の集まる場所

	(大学とか)での広報活動や、小中高等学校でのデモンストレーションなど。
32	消防団活動への有給休暇など待遇面と時間の優遇がないと会社員では休日活動が主になるしかない
33	消防団のスタッフの得意を生かした専門的なものに特化したものに、スタッフを区別する。例えば体力がある人、災害危機管理のことを考える人など、職種を分けるイメージ。
34	消防団員への優遇策。
35	ラジオ番組や新聞で対談 etc. 身近に分かるよのコーナーを作ってやっていく。
36	幼少の頃から、消防学習できる取組みあればよい。絵画コンクール。小さなことでも消防団イメージした漫画・キャラクターでイベント開催する。
37	今はボランティア的な面が強く出ているので、休日返上分を休めるようにするなど、働く人の立場に立った支援をしてほしい。
38	若い人等への周知、あるいは入団が必要であるから、若い人たちへの働きかけが必要。一関市では、室根にある専門学校で特定の入団制度で入団している例がある。
39	活動内容を広く知らせ、そのような場で活躍しているのかなど学校の教育内容やイベントで皆に知らせる。
40	役割分担をはっきりすると、参加しやすくなると思います。
41	やはり、報酬とチームワークが良ければ楽しくみんな集まり、人の事でも助けたい気持ちになるのでは？！
42	Wワークと同じ捉え方で魅力的なごほうびがあるとやりがいを感じると思う、例えば映画、テーマパークチケットを特典に付けるとか
43	少子化や市街地への人口流入などにより、若者人口が特に在の地域では激減しており、広報活動だけでは団員の確保が難しくなっている。明治時代、大正時代から変わらぬハッピーや帽子の着用など時代おくれのスタイルは廃止し、出初式や意味のわからない消防演習なども団員の負担になっていると思うので無くしてしまう方がよいと思う。
44	地域での人員把握と確保、協力体制をしっかりと行ったうえで、コミュニケーションを図っていく。
45	職場加入する。
46	従業員数に応じて事業所から団員を数名出してもらい、活動の際には可能な限り便宜を測ってもらう。訓練や出動のための時間分は、自治体から助成金として事業所に支払う事で、欠勤時間も給料を支払うなど。
47	地域住民は、案外、消防団活動のことを知らないような気がします。消防団は家事の消火をすることだけが仕事ではありません。いかに消防団の活動が大事で、地域に貢献しているのかを知ってもらうことが大事ではないかと思います。1日消防団員とか、お試し消防団的なことをしてみる。

48	ある年齢に達した方（例えば 30 才とか）に「入団おすすめ」の文書を差し上げる。活動に応じた手当の増額。
49	若い人でも入りやすい組織づくり（地域により異なる）地域コミュニティづくりのステーションとしての位置づけを PR してほしい
50	縛られない活動
51	少子化が進むので、新規入団者の減少に対応するには退団団員の活用や機能別団員・分団の認知広報かなと思います。
52	緊急時に出勤できる方であれば、またいつでも出勤できる方でなければならない。
53	人口が減っているのだから消防団員が減るのも道理だと思う。年齢層が上がるのも道理だと思う。なので、活動を今まで通りで維持しようとせずできる範囲にしても良いのではないか。今できる範囲を明確にして地域の人に知らせていく。批判はできるかもしれないが(内部からも)そうすることでやる人がでてくると思う。地域の人も自分が個人でしなくてはいけないことがわかんと思う。
54	学校等を通しての学生や親世代との交流・体験。団員よりも軽い活動内容で地区や職場から任期付で任命する。
55	報酬を上げること。議会中に居眠りしている高給取り議員にあげる報酬は、カットしてでも消防団員さんへのアップした方が良いと思います。
56	団員の友人が言っていたが、税金の優遇措置なんかがあれば良いとの事でした。
57	事業所と提携して消防団活動を業務の一貫とする。出動手当は補助金で補填する。
58	コミュニケーションを取る機会を増やす。
59	消防団員を対象とした免税・減税制度。
60	年一回最優秀消防団員の表彰を各市町村で行う。
61	礼式や堅い儀式を押し付けずに緩和された雰囲気を作ること。
62	平日に消防団員として活動する場合は特別休暇又は職専免とする。
63	テレビ番組で消防団が扱われたドラマが、以外と奥さま方が観ていたので、きっかけとして大きな影響があったと思います。切り口を変えて同様にメディアを使うのが有効かと思います。
64	行事をなくす。
65	各企業に入団を働きかけ、貢献した企業を表彰したり、各種行事の冊子やインターネットに企業名を掲載する。
66	実際に活動している人を広報で取材。小学生の親は、必ず入団。
67	学校や地域行事などで消防団の活動を知ってもらう。職場単位での情報提供。
68	クラウドファンディングを活用したDX導入（ドローンなど）。また平時はそれ

	らを活用した業務受託を可とするとか。
69	●人以上の企業、事業場で消防団を結成し、地域消防活動をすることで地域貢献として企業を評価し、対象者には適切な報酬を与える。
70	「消防団員」の名前を変える。英語3文字など。
71	例えば月5日程度6人を1グループとして常備化(訓練又は自宅待機など)し、市町村等や協定締結企業から従事。民間は税制優遇か賃金補填等の措置を行い、公務員は採用の際に兼務枠で公募。
72	無理だと思う。
73	高校生や中学生などの学生たちにも学習イベントや出前事業で知ってもらうのも良いと思います。
74	男性、女性、どの年代、様々な職業の方に対し、同じ取組で効果が上がるとは考えられないので、一辺倒な考えではなく、その対象に合った取組が必要だと考えます。
75	処遇改善。
76	特に高齢の団員の意識改革。(団長や幹部クラスが「俺が若いころは…」と古いやり方に固執して、改革・改善の阻害要因になっている。)
77	消防団員を雇用する事業所等へ優遇措置を強化、県、市町村職員については団員加入の推進(地域貢献活動者とし人事評価)。
78	子どものうちから活動内容などがわかるような取組をして、身近な存在であることを理解してもらう。
79	飲食店等の優遇 宿泊施設の優遇。
80	自治会などの地域コミュニティや、若い年代(高校、大学)に向けてのアピール。
81	市町村職員を消防団員と兼務させる。
82	報酬の増額 行事や飲み会の削減。
83	操法大会の廃止。
84	転勤先でも活動に参加できるようにする(馴染みのない土地でも参加でき、転勤先でも参加できる体制を整える)
85	消防団の組織は、以前と違って上下関係が厳しくないことをもっとPRすべきである。
86	参加すればするほど減税される制度の導入、公務員を団員とする。
87	免許の取得。
88	拘束時間を減らす。手当を増やす。
89	古い体質はなかなかなくなるしないし、岩手は(田舎はどこでも)古参、重鎮の意見が最優先の世界。そういうのを排除して、会社組織のようにシステムチックになればよい。そのためにも消防学校や消防署の積極的な指導を期待したい。

90	活動、責任に見合った報酬の支払い（やりがいのみに頼らない）
91	消防団員の1日（要請があった ver.・訓練 ver.）の掲載、秋祭りの山車参加など楽しい面を見せていく。

問 22 消防団について御意見があれば、御記入ください。（自由記載）

1	特になし
2	市民の防災のために日々活動なさっていることに感謝申し上げます
3	時節柄、著しく大気の状況が不安定な時期で県をはじめ市町村の防災主管課はもとより消防団の皆さんは災害の警戒や対策にまさに身を粉にして従事されていること、本当に頭が下がります。私自身、消防団入団を勧められたことがあり、その際「飲み会」がほとんどだと聞かされました。「飲み会」は団員間の交流を深める大切なツールです。しかし、大切なのは消防団の業務内容を十分浸透させること。次に、消防団員の増加や負担軽減を図るには、国が主導して消防団員の処遇改善と時代の流れに即した業務にDXやドローンの導入を検討する必要があると考えます。また、現行の表彰制度をもっと拡充させることで団員のやりがいが増すと思います。
4	行事を少なく、例：年に1回を2年に1回にする
5	地域に貢献する団体として、これからは作業域を変えるべきです。消防署員と消防団員の区別をつけるべきです。
6	災害の時は、頭が下がります。ありがたいと伝えたい。
7	日中は町外へ行ってしまふことが多いので出動が出来ないかな。夜間は毎晩晩酌をしてしまうので、出動出来ないかな。と考えてしまうと、幽霊団員になって嫌がられるかな、という考えが先行します。皆さんがどうしているのかがわかると垣根が低くなるかと思ひます。
8	鍛えたほうがいい
9	消防団と聞くと、消防士や自衛隊と同様に火災、災害の危険な作業に携り、命がけで危険にもさらされるイメージが強い仕事で不安です。ドローンや重機、ロボットの活用で作業が少しでも安全に進められる対策がとられる様願っています。
10	今回のアンケート、すごくむずかしいと感じました。身近に存在しているものと思っていた組織の事がよくわからなかったなあと思ひました。消防団自体減っていつて、認知している人も少ないのではないのではと思ひています。改めて、団員の方々の働きにありがとうございますと言ひたいです。
11	地域のために活動してくれてありがとうございます。
12	既存消防団員との情報交換の場を設けてもっとPRすればよいと思ひます。大変さ・生きがいなどの情報共有があれば思ひます。
13	どんな活動をしているのかわからない。震災で避難誘導をし、亡くなつた方がい

	ることはニュースで聞いていて、大変な任務だというイメージしかない。危険な任務ばかりではないイメージ作りも必要に思う。
14	地域のために活躍している団員を応援
15	頭が下がります。
16	地域の安全確保等に感謝しています
17	DX 化に合わせた現在の体制に合った消防団組織にしていく、スマホで情報共有飲み会なし
18	日々の諸活動感謝しております。地域の皆さん会員のか消防団員として活動できれば良いのですが、その方向けもあると思います
19	消防団と言うとどうしても厳しい訓練と規律に縛られ暗いイメージがありそうなので、明るい、楽しいイメージ作りが良いかと思います。ハードルをもっと下げて自由に参加できる組織してみてもどうでしょうか。組織に参加すれば徐々に意識も変わる人も出てくると思います。初めから、期待してハードルを上げて難しい部分があるかと思います。明るい、楽しい中にも自分の大切な人や地域を守るといったし使命感もあるといったことをPRする。
20	消防団の役目が大切なのは分かるが、責任を全うしようとするあまり、東日本大震災でも多くの犠牲者が出たと聞きます。同じ尊い命なので、安全が確保された中での活動は必須だと思います。
21	いつも感謝しております。なかなか出来ない事です。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の自体が割に合わないと感じている。感じた。 ・消防団体制を見直したほうが良い。 ・311 の時、消防団員の命は軽いものと感じた。
23	退職してから婦人消防協力隊の一員として何年か競技会の応援とか、火災や訓練時の炊き出しとかに参加したことがあり、その時初めて消防団員の活動を知ることができた。若い人たちの働き方や仕事内容などの変化に対応し、競技大会など直接関係ない活動を省いて、地域の誰もが自分のこととして参加できるように改善していくことが必要かと。
24	大事な役割なことではあるが、それゆえに個々の休みがない事が入団者が少ないかなと思ってしまいます。
25	そもそも消防団の仕組み自体が時代に即していないと感じます。岩手県庁として過疎地域、高齢化先進地域代表として、国を巻き込んだ法律、制度運用の議論を始めるべきかと考えます。(もしかしたら、担当者の方もすでにそうお考えかもしれませんが)
26	○消防団は地域防衛の基幹 ○地域住民の支援の充実
27	問 16 にある負担軽減については現役の方々がどのような事を考え望んでいるのかを知りたい。※やはり増員あれば個々の負担が軽減につながる。

28	都市部から離れた地域では消防団の活動はとても重要だと感じています。団員の高齢化が進んでいる中でも、災害発生時など対応してくれて、頭の下がる思いです。消防団、団員のみなさまの待遇がより良いものになりますようお願いしています。
29	やりたくても足踏みしている方もいると思うので、誰でも出来ることを広報などで広めていくことが必要だと思います。
30	自然災害等が多い昨今では、重要な団体であることは間違いがないので、この組織を維持していくことが大切と思います。
31	おじさんが多く、やはり飲み会も多く、女性隊員などセクハラ、トラブルなどの(人間関係)など話も本当かウソかはわかりませんが少なく無く聞こえてくるので(飲み会時だと思われませんが)加入してる馴染のある方以外はちょっと心配に思います。
32	今回のアンケートでは、生活に定着している消防団の存在と役割について改めて考える機会を頂きました。少子高齢化が進む中で消防団の任務の負担減は必須と思います。災害は必ず起こり得るもので、安全に暮らすための知恵や情報を様々な形で発信してほしいです。それが消防団の負担減にもつながるものと思います。
33	平時、有事の際の活動には、いつも頭が下がります
34	かつて1年間に1度も活動しなかったのに報酬を貰ったという声を聞きました。本当であれば問題だと思います。
35	消防団=古いやり方、老人の集まり(仲間うちの活動)、上下関係など、若い人にとって、または、他から越してきた人にとって、あまり参加したくない場所といった感じがします。もっとオープンに、今の生活ニーズに合った、参加ができるなら、あまり固く考えず、参加できると思うのですが・・・。
36	いつも感謝しています。
37	税金で飲み会をしているイメージ
38	人口減少にある社会状態においては、団員の確保はますます難しくなるのは必至と思われる。したがって次の事を検討する必要がある。 ・活動内容のスリム化 ・機械化の導入で人手の負担を軽減する。 ・活動の内容により民間業者に委託する。など
39	普段(日常)の活動に非常に感謝しています。害獣対策にも対応できる資格等も付与してもらいたいと思います。
40	いつも大変なのだろうと思っています。お疲れ様です。市内の火事以外にも活動、感謝しています。気楽に参加してみたいです。
41	消防団員になられてる方は、いくつも地域で役を引き受け活動するなど、大変だなと思っています。特に消火活動以外に震災時の活動とても責任もってやっている姿(TVニュースとかで)に感謝です。
42	人口減少傾向なので、消防職員として優遇されればなり手も増えるのではないかと

43	消防では各種講習会や救命講習をしており、以前参加したこともあり、又機会があれば参加して技術などを身につけたい。
44	広報活動が低すぎ、存在をよく知る人は少ない。東日本大震災等、多くの災害で活躍し、命を落とした人も数多くいる。もっと皆にどんな場所で活躍しているか知らせることが必要。又、ボランティアではなく、報酬もあるとの事だが、少ないと思う。消防団ではなく、各個人への口座への振り込みを通して、明朗会計とすべきと思う。改善がなければならないと思う。命をかけてやる事もあるので、人の善意に頼っているところがあり、自身の安全を確保できる安心がなければなる人は少ないと思う。
45	消防団になる人は「自身のプライベートの時間を使ってでも、周りのためになることがしたい」と思う人か、「活動することで自分にとって利益になるものを得たい(金銭に限らず)」と思う人かのどちらかだと思ふ。前者も後者も、おそらく消防団以外の活動を既に行っており時間がない、という状況に陥ってそうなので、やはり忙しくなる前の若いうちに、消防団という選択肢をしっかりと浸透させ、早いうちに入団してもらえようような取り組みをした方が良いのではないかと思う。
46	火災、水害、地震等、様々な災害が多発する今、改めて消防団の重要性を感じています。
47	消防団の方々自分の命と引き換えになるくらい使命感の強い人もいれば、やじ馬や興味本位とピンキリのような気がします。あまり良いイメージはありません。
48	団員の減少などの報道を目にします。たいへんな活動ですが、活動を続けていただきたいと思ひます。
49	日頃からの消防活動には感謝申し上げます。危険なことにも遭遇することと思ひます、地域の安全安心を守るためにこれからも宜しくお願い致します
50	幼い頃、消防の番屋が近くにあり、交替で地域の大人たちが常駐していた。電話で火災連絡があれば、サイレンが鳴り、鉄瓶職人の方々を中心に時には夜に大工の棟梁であった父が若い弟子たちに号令をかえて飛び出していく姿を見て、カッコいいと思ったものである。今思えば、地域の人たちが常に協力して自分たちの命を守ろうと必死だったことが分かる。
51	小・中学生に、消防団員から、直接、話を聞く機会をもうける。子供たちを巻き込んだPRイベントを行う。
52	地域がピンチの時に守ってくれる存在として、もっと活動を知りたいと思ひました。頑張ってください
53	日頃から地域の安全と財産を守ってくれている活動に感謝しております。また、この頃が多発する地震や災害に備え、消防団の役割は益々重要性が増します。こうした状況からも新しい若い消防団員の育成強化に期待します。団員は無理でも、団員を支えるサポーター的存在がいれば団員の負担軽減になるのでは。

54	私の住んでいる地区はまだ青年会もあり、消防団員になっている人もいます。六、七年前の大雨の時も夜回りをしてくれていました。助かりました。心強かったです。
55	消防団がいなくてもまわる、消防署の活動を望みます
56	団の消防車を運転する方が（誰でもいいと言うことにはないですが、決まった方しか運転しなければならないですが、出動する人がそのときに何人集まってくれるかが問題です。集合は各々仕事関係でまちまちと思いますが、その為、すぐ出動という訳ではないでしょう。ある程度何人くるのか待ってから出動するのですか。
57	いつも地域の為にありがとうございます。
58	少子高齢化で協力したくても協力できないケースがあると察する人員数を増やすことより少数で対応できる創意工夫と人力開発が必要と思われる。
59	火災や災害時には、一番先に出動しなければならなくて、大変だと思います。活動において怪我等しないように、注意しながら頑張っている姿に感謝申し上げます。
60	はっぴや長靴で災害の最前線に立っているのだからいつも敬服している。指示指導には従わなくてはと思う。災害時の公務員の方方にも思う。
61	消防団活動に感謝します。昨今の災害多発を思いますと、消防団の存在は欠かせないと感じます。ただ、自分の時間を重視する今の時代、団員確保は難しいとも思います。現在の団員皆さん活動継続、あらたに加わってもらうために、いずれにしても待遇面の改善は必須かと思えます。たいへんかと思えますが、県などから支援をお願いしたいです。
62	具体的な活動、消防団の活動における報酬、手当等、全般的に広報が足りないと思う。なぜ、消防団が必要なのか。消防団としてどのような活動をしているのか。消防団に入団したとして、日常生活にどう影響するか、広報が必要なのに足りないと思う。
63	人口が減少しているので任意での消防団の人員増加は難しいと思う。少ない人数でも活動できるよう使用できる技術はどんどん使っていくべきだと思う。
64	一般人に、過酷、苦痛と思われたい業種になって欲しい少しずつでも。
65	住民が知らないところでも大切な活動をしていると思うので、活動内容をなにかの形で住民に知らせてくれるといいと思います。震災の時は自ら被災しながらも活動してくれた姿には感謝の気持ちでいっぱいです。
66	郊外含めて住民が多かった時代の仕組みは、現代において歪が生じるのは致し方ないこと。少ない団員の負担が増せば更に参加者は少なくなると思います。少人数でも機能する仕組みづくりか、一定規模の地域事業所等が義務的に（業務として）参加させる等の仕組みも必要では。
67	日本独自の制度で地域活性化にも役立つと思う。
68	現時点で入団はハードルがたかい。

69	日々の活動は仕事もあり大変かとは思いますが、これからも活動を続けて欲しいです。また男女問わず活動できるようになって欲しいです
70	第一に団員増加に固執すべきではない。都市部の火災は消防署隊のみで十分対応出来ていると感じるので、過疎地や山間部等、本当に必要な地域に必要な数の車両を配置するため、分団の削減と配置転換など、効率的かつ持続可能な組織づくりを進めていただきたいです。また、活動内容の全面的な見直しと柔軟な組織改変（縮小）を団幹部やOBの声を恐れず、各自治体が進めなければ、根本的な問題解決は見込めません。
71	消防団は地域に必要不可欠なものですが、拘束時間が長かったり、休日の活動など身体が休まらないことがあります。若い人たちは特に休日を重要視しているし、それに見合う報酬がなければ入団しないと思います。
72	行事を減らすことは難しいですか？
73	日頃の活動、感謝しております。
74	消防団の合併を行い、団員の少ない地域をカバーすることが必要だと思います。
75	このアンケートが消防団について知るきっかけとなったので、今後も定期的にアンケートを行ってほしい。
76	加入して、実際に活動をしている方を尊敬します。ありがとうございます。
77	職住近接かつご近所助け合いを前提とした制度設計。企業の都合で職住離れた社会になったため、存続困難。国による相当の優遇措置が不可欠。
78	核家族化し、その地域へのこだわりが減っているのであれば、時代に合った消防団を考えていくほうが良いと思う。イメージは大事。消防団、分団という呼び方 重苦しい印象がありませんか。年代別に消防組織を結成し、ある程度自由な名称にして、スポーツサークル、同好会のように楽しく活動する組織・団体があってもいいと思う。
79	今は消防団という組織の拘束が面倒に感じるのではないか。また、地域内の交流が無いと、町内会活動と同様に消防団には入らないと思われる。団員でなくとも初期消火や通報はできるので、消防団よりゆるい形でご近所が助け合うスタイルを提案し、そこから消防団の必要性を再認識してもらうようなことができるよいかもかもしれない。
80	消防団のメリットは地域に精通していることだと思う。全員にタブレットを配布し、災害情報を把握し線状降水帯発生可能性時、火災発生時などでは自主避難の補助をする。
81	民生委員、自治会等を含め地域の自助助力に頼るのは難しくなっているの、制度を見直す時期に来ているのではないか。前述のような常備化や火災の発生確率の高い企業は協定締結必須とし、団員義務化又は企業内消防団の必置など受益者負担も検討すべきではないか。

82	少子化、人口減少下では現行制度での維持は困難と思います。活動を絞り込むなど負担軽減が必要と考えます。
83	ポンプ操法等の大会や行事がなければ、入団してもいいと思う方はいると思う。
84	いずれ団員の減少は避けられないことを前提に常備消防との住み分けを改めて検討する必要があると思います。
85	団員の皆さんは、ボランティアとして活動しています。大変すばらしいことだと思います。一方、それを理解しない方々がいて、些細な事で揚げ足をとることをします。消防団活動に感謝の思いを持ち、応援していただきたいと思います。
86	生産年齢人口減少の中、団員確保するには、負担軽減と入団促進アピールが重要と思う。人口が増加している住宅地に対しサラリーマン団員でもいいので加入促進のため、広報部隊が個別訪問して促すのも一つの手段。
87	報酬をあげることは魅力のひとつになり得るが、反面、世間の目も厳しくなると考える。そもそも、おらほの地域の自助、共助というボランティア精神のもと成り立ってきたはず。全国的な統計を見ると、消防団員の減少は、昭和後期から始まっており、皮肉にも常備消防の充実がもたらした現象ではないか。常備消防だけではなく、消防団の必要性を今一度社会に訴えてほしい。
88	消防署ありきで行事、訓練等を実施している現状から抜けだし、消防団自らが独立した団体として活動して欲しい。
89	ポンプ操法は負担になるので廃止してほしい。早朝の訓練も。
90	年配の消防団員が多すぎて、それが旧体制的なことばかり言っている。60歳定年にして、年配者が消防団活動にいつまでも絡む事がない様にした方が良い。
91	日々の活動に対し敬意を表します。自分と家族の幸せと健康を優先しながら業務にあたって欲しいです。
92	活動中に落命受傷された方々に頭が下がります。
93	操法競技会が批判されてると分かってるのにやり続ける意味がわかりません。
94	とてもいい団体だと思っている。初期消火を目的としていると思うから、なくてはならない存在。
95	郷土愛護の精神で地域の安全のため、自己犠牲を払っている消防団員は素晴らしい方々であり、地域でもっと優遇されるべきである。
96	消防行政は消防団に頼っている部分が多すぎる。人材不足の現段階では手遅れ感が強いが、消防団の負担軽減と消防職員の増強を両輪で進めなければ質の低下を食い止められず事故などの発生につながり負のスパイラルに入りかねないと思います。
97	とても尊い仕事であるが、人口減少や経済状況の影響で、参加するゆとりのある人は少なくなる一方だと思う。参加をうながすなら、周囲が羨むほどの高待遇にすべきだと思う。

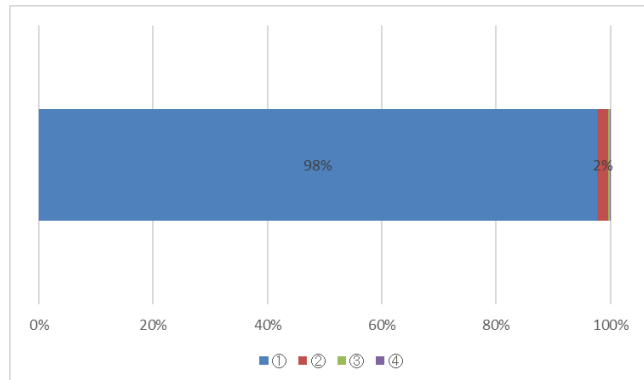
98	名前だけ登録してあって、訓練にも広報活動にも全く参加しないのに、高額な退団退職金を得られる仕組みがあることを知りました。それはおかしいんじゃないかと思います。
99	地域の誰が消防団員かを公表する。
100	過去に夫が団員で、必要性は理解しています。平日の日中でも火事場へ出動するので、企業の理解と協力が不可欠です。拘束時間が長いので子育て家庭ではワンオペになり、女性が疲弊します。操法練習や夜警は恨めしい程でした。手当が出ていても家庭には還元されず、積立てて旅行や飲み代に消えるので奥様方から不満が出るのだと思います。制度を改善し継続されるといいと思っています。
101	消防団員の知り合いも居ないような、全くの新規で具体的な消防団活動を知る機会が少ない。体験入団などを取り入れて、門戸を広げてほしい。
102	消防団を廃止し、常備消防を拡大するのも1つの方法だと思う。
103	これまで書いたとおり。古くて陰湿な面もあって、よそ者はとても無理。

2 現役の消防団員の方（回答者数 570 名）

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

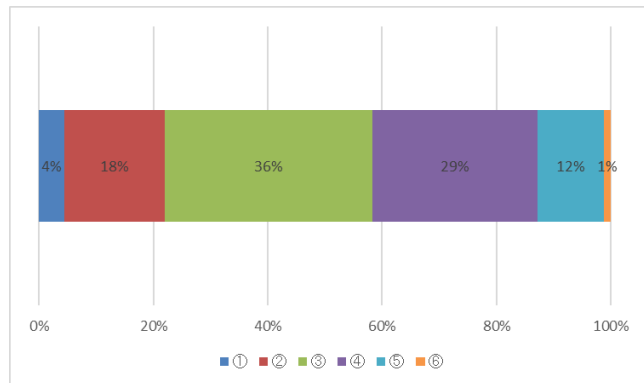
(1) 性別

① 男性	556
② 女性	11
③ その他	1
④ 答えたくない	1



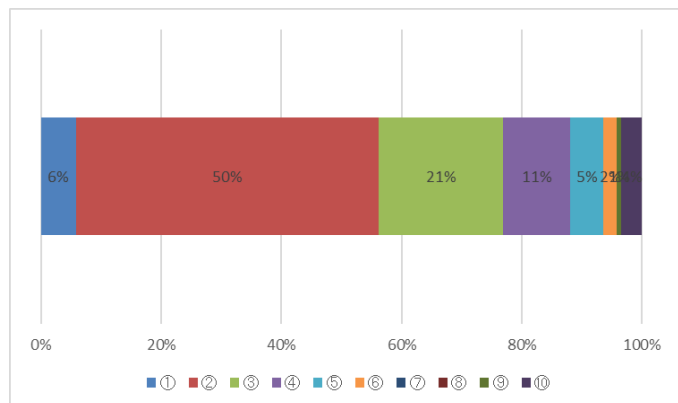
(2) 年齢

① 20 代以下	25
② 30 代	100
③ 40 代	206
④ 50 代	164
⑤ 60 代	66
⑥ 70 代以上	7



(3) 職業

① 会社経営・役員	33
② 会社員	287
③ 公務員	118
④ 団体等職員	64
⑤ 農林水産業	31
⑥ パート・アルバイト	13
⑦ 専業主婦（主夫）	0
⑧ 学生	0
⑨ 無職	4
⑩ その他	20



※「⑩その他」の回答

- ・自営業
- ・委託業務
- ・議員

(4) 居住地

盛岡市	5	滝沢市	0	田野畑村	0
宮古市	25	雫石町	1	普代村	0
大船渡市	42	葛巻町	14	軽米町	0
花巻市	4	岩手町	1	野田村	0
北上市	2	紫波町	4	九戸村	0
久慈市	26	矢巾町	13	洋野町	57
遠野市	44	西和賀町	30	一戸町	0
一関市	102	金ヶ崎町	1	八戸市	2
陸前高田市	68	平泉町	1	仙台市	1
釜石市	3	住田町	3	宮城県大和町	1
二戸市	1	大槌町	39	日本国	1
八幡平市	1	山田町	14	未回答	2
奥州市	54	岩泉町	7		

(5) 出身地

盛岡市	6	奥州市	54	山田町	14
宮古市	27	滝沢市	1	岩泉町	6
大船渡市	40	雫石町	1	田野畑村	1
花巻市	5	葛巻町	14	普代村	0
北上市	5	岩手町	1	軽米町	0
久慈市	27	紫波町	1	野田村	0
遠野市	41	矢巾町	6	九戸村	0
一関市	99	西和賀町	27	洋野町	56
陸前高田市	63	金ヶ崎町	1	一戸町	0
釜石市	4	平泉町	3	県外	18
二戸市	2	住田町	4	日本国	1
八幡平市	2	大槌町	38	未回答	3

※県外の内訳

【青森県】 八戸市 1、平川市 1

【埼玉県】 上尾市 1

【東京都】 調布市 1、東京都 5

【徳島県】 三好市 1

【宮城県】 七ヶ浜町 1

【神奈川県】 川崎市 3、神奈川県 1

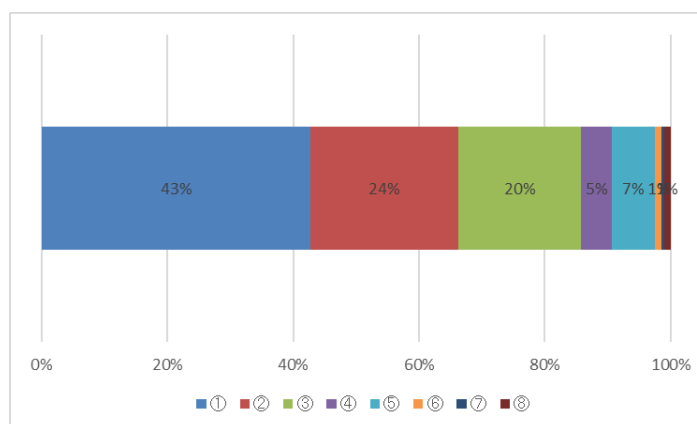
【愛知県】 清須市 1

【大分県】 大分市 1

問2 あなたの階級と在職歴についてお聞かせください。

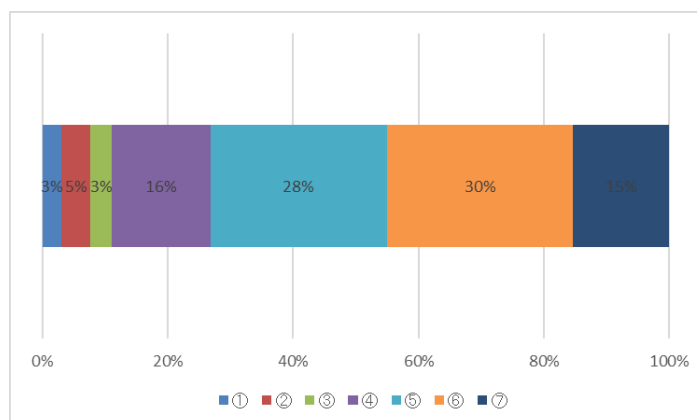
(1) 階級

① 団員	243
② 班長	134
③ 部長	111
④ 副分団長	28
⑤ 分団長	39
⑥ 副団長	6
⑦ 団長	2
⑧ 機能別団員	6



(2) 在職歴

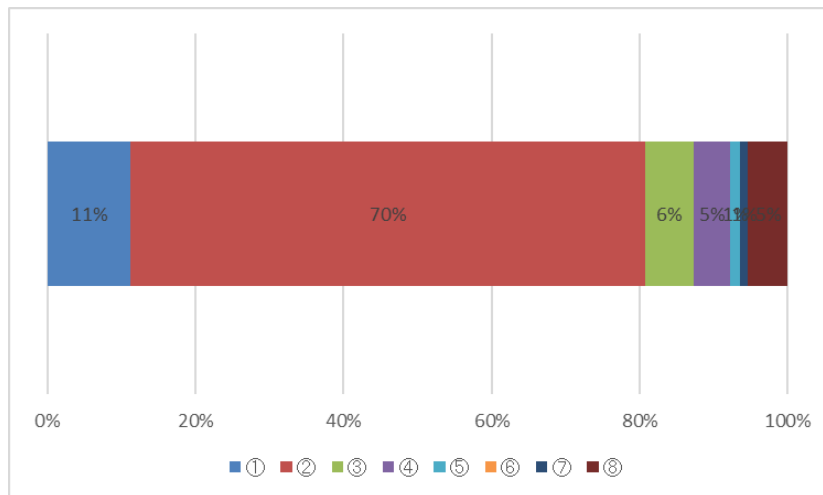
① 1年未満	17
② 1年以上3年未満	26
③ 3年以上5年未満	19
④ 5年以上10年未満	89
⑤ 10年以上20年未満	161
⑥ 20年以上30年未満	171
⑦ 30年以上	87



<消防団について、お伺いします>

問3 あなたが消防団へ入団したきっかけについて、当てはまるものを1つ選んでください。

① 家族や知人から勧誘されたから	61
② 消防団員や元団員から勧誘されたから	376
③ 家族が消防団員だったから	35
④ 地域に貢献したいと思ったから	27
⑤ 地域とのつながりを作りたいかったから	7
⑥ ポスターやチラシを見て消防団に興味を持ったから	0
⑦ ラッパ隊に興味があったから	6
⑧ その他	29

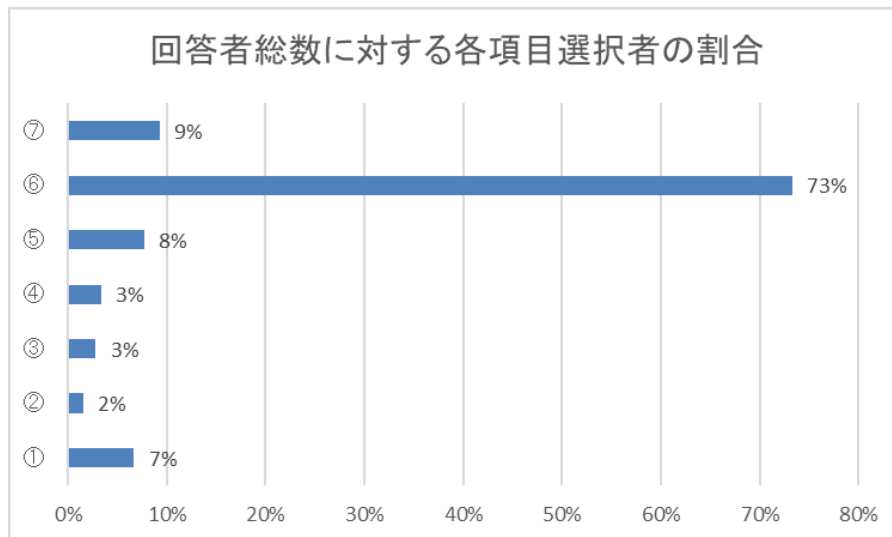


※「⑧その他」の回答

- ・父の退団に伴い知らぬ間に入団させられていました。
- ・入団する気はなかったが、友人でもある団員の方が酒を持ってきて酔っ払ってしまい、半強制的に入団させられた。
- ・勝手に入団書類に記入、提出されて入団した。
- ・職場であっせんがあったから。
- ・消防愛好家である。
- ・職場の繋がりが無理やり入団させられた。
- ・久慈市の新採用職員は、1年間消防団に所属しなければいけなかったため。
- ・団員の力に成りたかったから。
- ・操法競技会に出場したいから。
- ・小さい頃の夢が消防士。震災を経験して少しでも地域に貢献出来ればと思った。
- ・部落の話しあいで。
- ・町役場職員のため、「地域貢献が当たり前」という周りの雰囲気飲まれ、仕方なく。
- ・入団。貢献の仕方はそれぞれであり、できれば退団したい。

問4 あなたが消防団に入団する前に経験した事柄で、入団を後押ししたと考えられるものについて、当てはまるものを全て選んでください。

① 防災訓練への参加又は自主防災組織への所属	38	(7%)
② 幼少年防火クラブ、又は女性防火クラブ（婦人防火クラブ）への所属	9	(2%)
③ 消防車・救急車を要請した経験	16	(3%)
④ 学校教育・社会教育等での消防救急に係る学習	19	(3%)
⑤ 大規模災害（東日本大震災等）で被災した経験	44	(8%)
⑥ 特に当てはまるものはない	418	(73%)
⑦ その他	53	(9%)



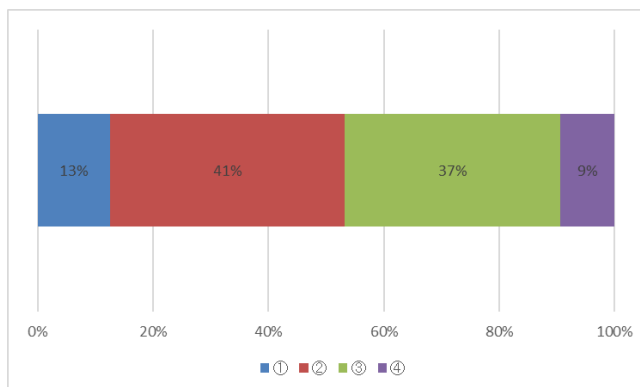
※「⑦その他」の回答

- ・しつこく勧誘された
- ・子どもの頃、夜警で消防団の消防車がまわっているのを覚えていたから。
- ・地域の祭りで知り合った人からの誘いがあったため
- ・学生の頃楽器経験があったから
- ・消防団の火災出動など地域に果たす役割をみて
- ・消防団員の減少に対する危機感
- ・自分ができる範囲で参加した地域活動
- ・消防団に関わる仕事を体験したため。
- ・地元に戻りたから
- ・親が消防団員で消防・水防に励む一方、町内の多様な行事等の原動力、盛り上げに一員として加わっていることが楽しかったし誇らしかった。
- ・元自衛官、警備員(施設と交通誘導)の為
- ・団員の人柄の良さ
- ・協力企業のため
- ・自宅が火災になった
- ・お互い助け合う精神が必要と感じたから
- ・操法競技会を見たから
- ・周囲の大人が当然のように入団する様子またその活動について、幼少のころから見慣れていることから、入団要請があれば受諾すべきものと考えていた。
- ・東日本大震災のとき陸前高田市消防団員の方々が、避難誘導や救助活動をする姿をテレビ等でみて感動した経験から
- ・部落で一つの部をやっていたので順番という訳のわからないやや強制的な勧誘で
- ・元々県外に住んでおり、奥州市に戻ってくる際に、地域とのかかわりがあった方が良く判断したため。

問5 入団前後の消防団に対するイメージについて、当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

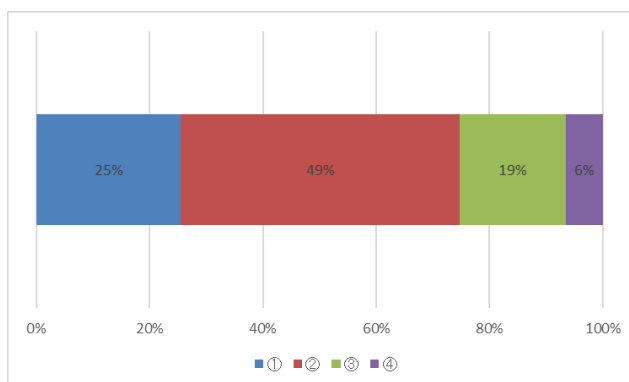
(1) 入団前

① 良い	72
② どちらかといえば良い	231
③ どちらかといえば悪い	213
④ 悪い	54



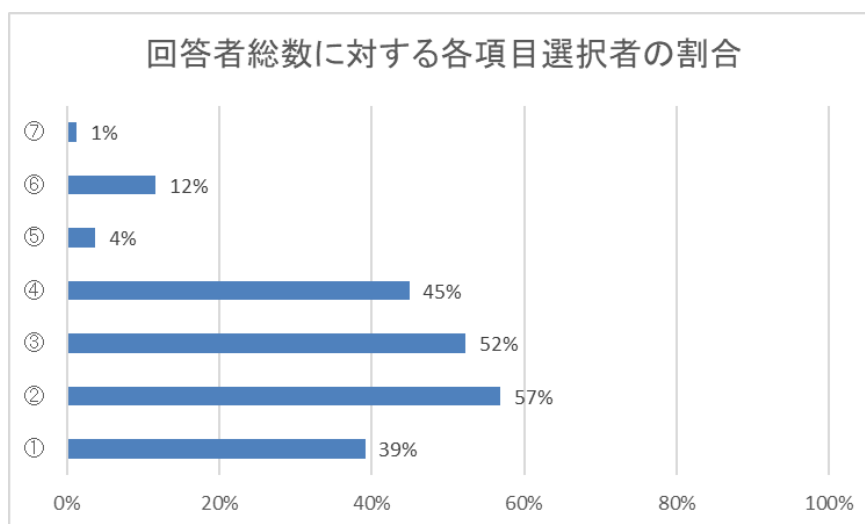
(2) 入団後

① 良い	145
② どちらかといえば良い	281
③ どちらかといえば悪い	107
④ 悪い	37



問6 入団して良かったと感じることについて、当てはまるものを全て選んでください。

① 地域を守っている実感がある	223	(39%)
② 地域内のつながりを感じる	324	(57%)
③ 消防団の活動以外で団員との交流が生まれた	298	(52%)
④ 消防防災の知識や技術が身に付いた	256	(45%)
⑤ 国や県、消防協会から表彰を受けた	21	(4%)
⑥ 特にない	66	(12%)
⑦ その他	7	(1%)

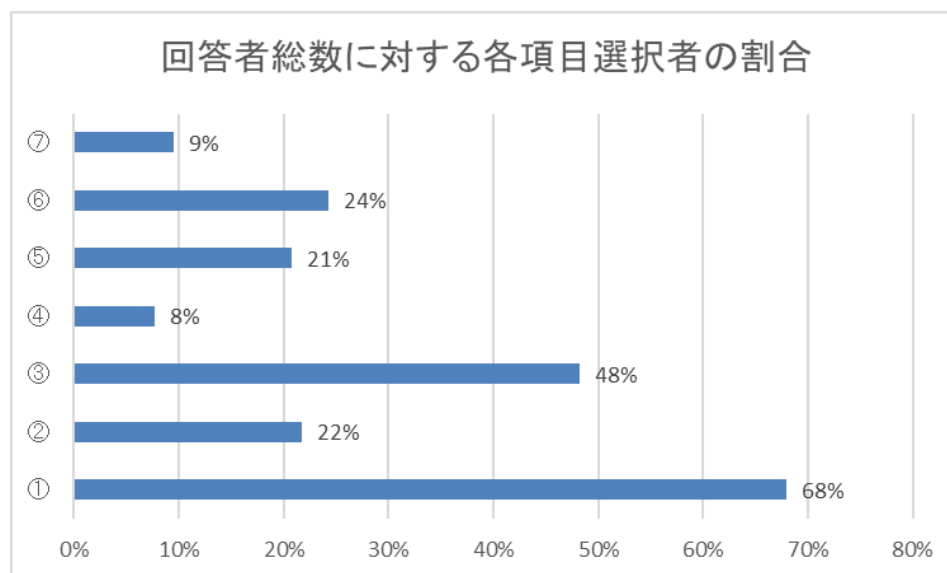


※「⑦その他」の回答

- ・お金がもらえること。
- ・県内の団員との交流がうまれた。
- ・地域を守る難しさを感じる。
- ・地域で様々な職種の人と交流が生まれたこと。
- ・操法がよかった。
- ・子育てに忙しく充実させたい時期でしたが、休みの日が消防で削られてしまい公開している。
- ・唯一、活動手当が忘れた頃に支給されるので、お小遣いのような気持ちでいる。

問7 あなたが消防団に入団してやりがいを感じる活動について、当てはまるものを全て選んでください。

① 消火活動	387	(68%)
② 災害時の避難誘導	124	(22%)
③ 火災予防活動	275	(48%)
④ 住民に対する消防訓練、応急手当等の指導	44	(8%)
⑤ 行方不明者の搜索	118	(21%)
⑥ 地域行事での警備活動	138	(24%)
⑦ その他	54	(9%)



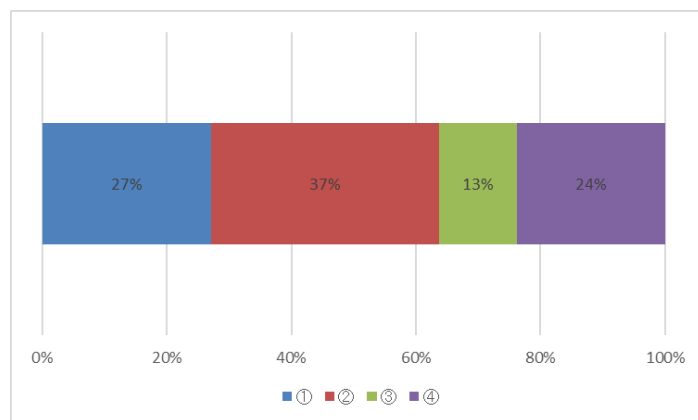
※「⑦その他」の回答

- ・やりがいは感じない。
- ・責任感だけ。
- ・地域住民との親睦。
- ・地元小学校での防災学習の補助。

- ・地域行事での防火啓発活動
- ・他の団員とともに地域で活動できること。
- ・秋祭りでの山車制作、奉納。
- ・年一度の研修旅行。
- ・消防団は地域の若者の力の結集であり、消防・水防に関わらず地域振興・地域力維持の原動力であるから、特に高齢化が顕著な過疎地においてはあらゆる事にその存在と期待が大きい。
- ・活動手当、退職報奨金以外にやりがい、モチベーションは無い。

問8 あなたは何歳頃まで消防団員を続けたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 50歳まで	154
② 60歳まで	208
③ 70歳まで	71
④ その他	135



※「④その他」の回答

- ・もう辞めてもよい。
- ・今すぐにでも辞めたい。
- ・決めていない。
- ・勤続30年くらいを目途にしたい。
- ・適切な活動人員が満たされ順次交代ができるならすぐにでも代わりたい。
- ・必要とされるまで。
- ・任期が終了次第。
- ・健康であることと、新たな団員を加入させ、将来も継続的に活動できる体制となるまで。
- ・引導を渡されるまで。地域の役職を多種兼務している自分に対し、部・分団の皆が消防団役職を免除（団員のままに）してくれている事が本当にありがたく思う。

<消防団員のやりがいを高める観点の取組について、お伺いします>

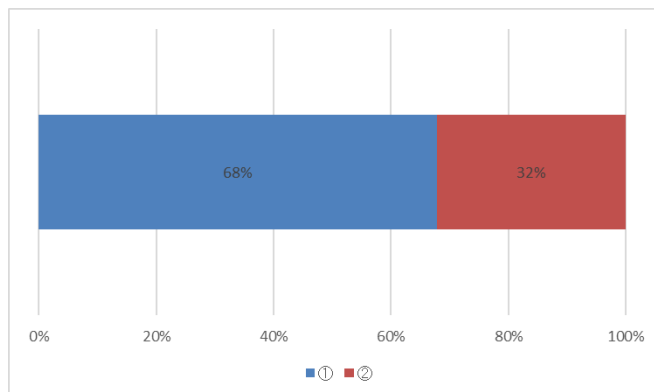
問9 あなたは県や市町村の「消防団応援の店」制度を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

「消防団応援の店」制度とは・・・

地域の安全・安心を守るため活動している岩手県内の消防団員の皆様に対し、趣旨に御賛同いただき消防団応援の店として登録していただいた店舗及び事業者の皆様から特典や割引等のサービスを提供していただくことにより、消防団を応援していく制度です。県や一部の市町村で実施しています。

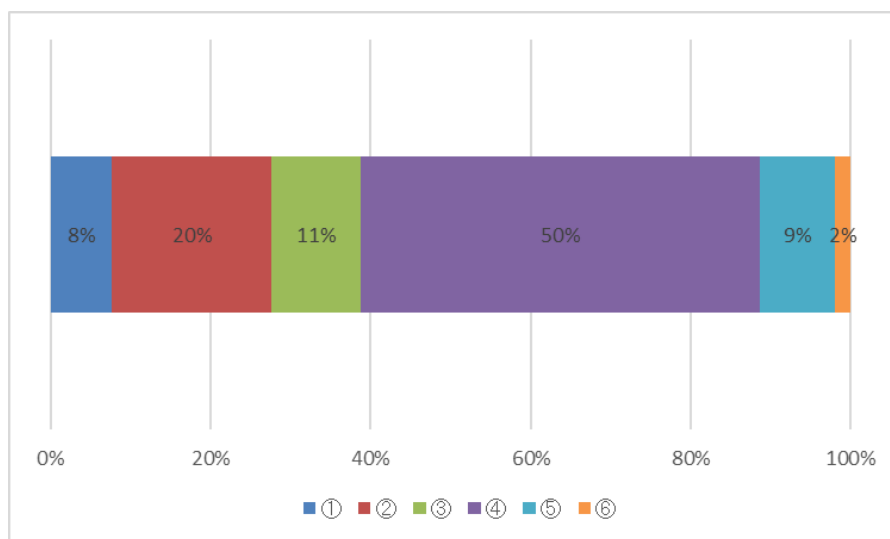
- ※ 県の制度における登録店舗数 : 415 店舗 (令和6年7月1日現在)
- サービス内容の一例: ドリンク1杯無料、料金5%割引、粗品贈呈

① 知っている	389
② 知らない	181



問10 問9で「①知っている」を選んだ方にお聞きします。「消防団応援の店」制度を知ったきっかけについて、当てはまるものを1つ選んでください。

① 県や市町村のホームページを見て知った	31
② 市町村の担当課から周知された	80
③ 同僚団員から聞いた	45
④ 消防団員カードを見て知った	200
⑤ 店舗等のステッカーを見て知った	38
⑥ その他	8

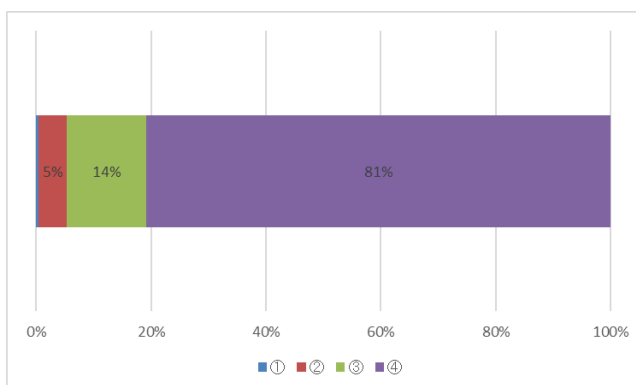


※「⑥その他」の回答

- ・既に消防団員であり、新たに制度導入することを知っていたため。
- ・仕事をしている上で知った。
- ・なんとなく。
- ・制度ができる時屯所に団員カードとチラシが届いて知った。
- ・消防団での周知。

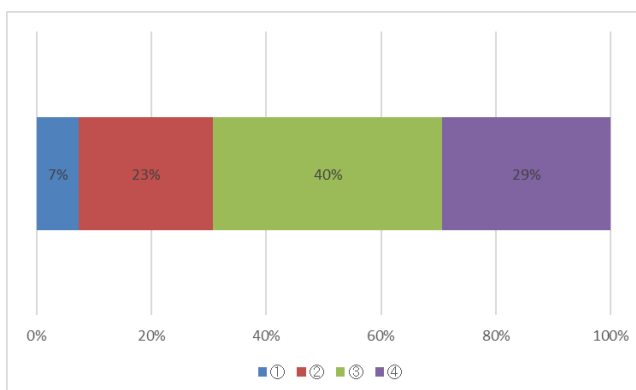
問 11 「消防団応援の店」の利用頻度について、当てはまるものを1つ選んでください。

① ほぼ毎日利用する	2
② 月に数回利用する	25
③ 年に数回利用する	70
④ 利用したことがない	410



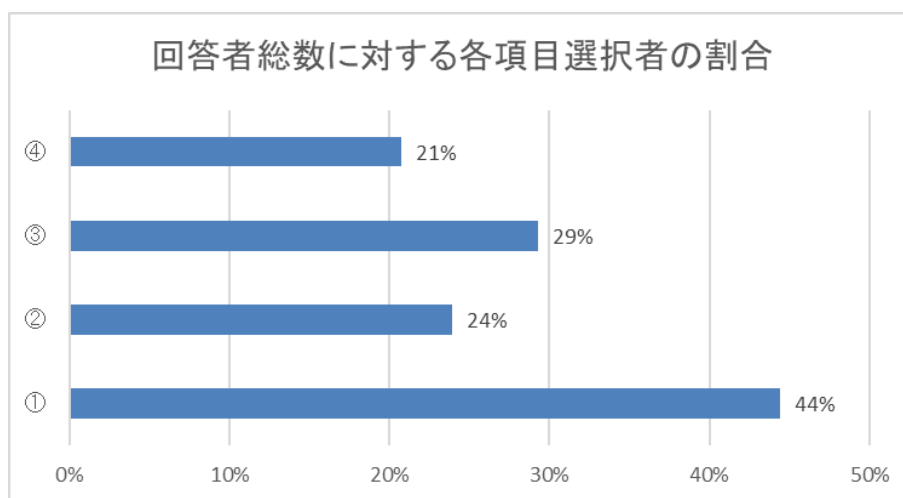
問 12 「消防団応援の店」にメリットを感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 非常に感じる	41
② やや感じる	130
③ あまり感じない	222
④ 全く感じない	163



問 13 問 11 で「④利用したことがない」を選んだ方にお聞きます。利用しない理由について、当てはまるものを全て選んでください。

① 近くに応援の店がない	182	(44%)
② 興味のある業種の店がない	98	(24%)
③ サービス内容に魅力を感じない	120	(29%)
④ その他	85	(21%)



※「④その他」の回答

- ・面倒くさい。
- ・応援の店があることは知っていたが、わざわざ探してまで行くくらいのお得があるとは思えない。そして、お店がすぐに思いつかない。
- ・調べてまで利用しようと思わない。
- ・利用の仕方がわからない。
- ・特典目当てで活動しているわけではない。
- ・行くきっかけがない。
- ・他の割引サービスの方がお得だから。他サービスとの「併用」、公共施設の割引等も出来れば消防団に入るメリットの一助にもなるかもしれないですね。
- ・この制度を知らない。
- ・カードの提示が面倒。
- ・カードの存在を知らない。
- ・協力店をしらないし、興味もない。
- ・ちょっとしたサービスだけでなく、もっと大々的なサービスが受けられる様にした方が良い。

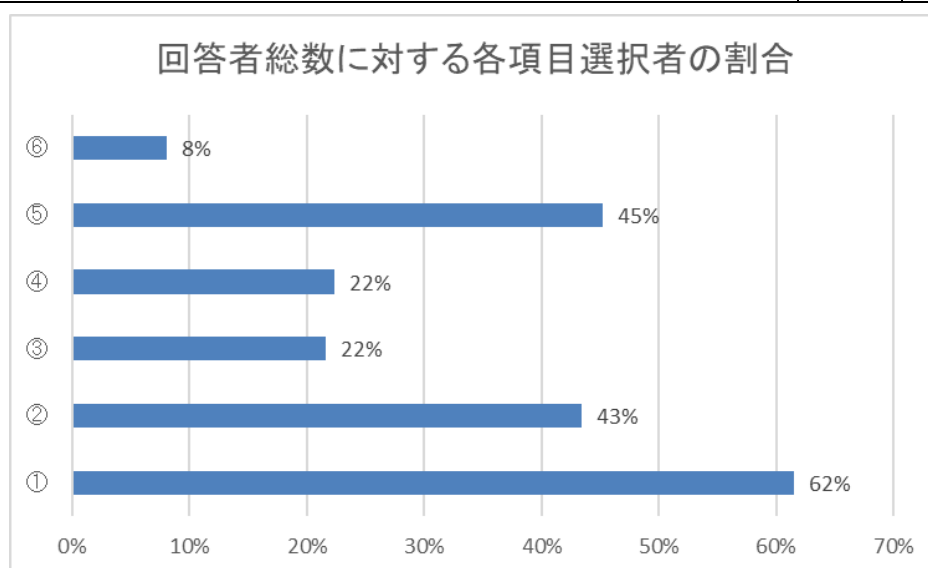
問 14 「消防団応援の店」について、今後、こんなサービスがあれば良いと思う業種や事業所について、要望があれば御記入ください。(自由記載)

1	消防団活動で使う備品の割引などが受けられるといいと思う。ホームセンターや作業衣を取扱う店など。
2	そもそも必要ない。
3	ドラッグストア（ウェルシア、薬王堂など）があれば助かります。ガソリンスタンド（宇佐美）もあれば良いです。
4	割引率を上げる。
5	食事無料
6	金融機関金利上乘せ
7	消費税免除
8	生鮮食品を扱うスーパーと、ドラッグストア
9	ガソリンスタンド
10	ファミレスなどの子連れで利用しやすい飲食店
11	温泉
12	お花のお返しで使うアメニティ（タオル等）
13	家族に恩恵があるもの、たとえばガソリンの追加値引き等
14	宅配業者
15	公共施設、公共料金の割引

16	スーパー、薬王堂、ツルハドラック、
17	むしろ無くても良いと思う。
18	花屋
19	特にありませんが事業所の負担にならないことを願います
20	飲み屋
21	コンビニ
22	新幹線、フェリー等の割引です
23	何故、こんなに消防団応援の店を推すのかが理解出来ない
24	具体的な事柄はありませんが、消防団員であるメリットが実感出来る物があれば良い。
25	大規模小売店
26	コンビニ、サウナ、ワークマン
27	それを充実させたから団員数確保に直結しないし、カネやメリットで釣る姿勢はいかかなものか、根本が違うと思う。その取り組みに賛同いただいている店舗・企業様には頭が下がりますが、そもそも消防団員は報酬や見返りを求めているし、団員である事の特典を表立って実施するのは逆の事、裏返しまで深慮している事業とは思えず稚拙でガッカリ。
28	自分の会社で優遇されたら良いと思う
29	消防機器販売会社（互光商事、岩野商会、松栄商事、ダイトク、佐々木ボデー、宮澤商店、文林商会、古川ポンプ、一関防災、パトリオ、ヒロボー等）
30	タイヤ販売店
31	旅行代理店 衣料品店
32	いわて生協で利用していますが他のスーパーでも利用できるようなればいいと思う
33	所得税などの減免
34	県庁が応援しろ
35	病院、観光
36	アマゾン
37	マッサージ
38	カードをスマホで提示出来るように消防団アプリがあれば良いかと
39	理髪店
40	住宅リフォームや太陽光発電（防災や減災目的）
41	悩み相談
42	どの店で良く使われているか知りたい
43	子供玩具
44	使っていないから、なくてよい。

問 15 「消防団応援の店」を多くの人に知って頂くために、効果的と考えられるものを全て選んでください。

① 店頭に掲示するステッカーを目立つものにする。	344	(62%)
② 店内の掲示で特典サービスの内容を紹介する。	243	(43%)
③ 各店舗の自社ホームページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。	121	(22%)
④ 店舗検索サイト内のページで、消防団応援の店に登録していることと、特典サービスの内容を紹介する。	125	(22%)
⑤ 地域情報誌やSNSで告知する。	253	(45%)
⑥ その他（具体的に回答用紙に記入してください）	45	(8%)



※「⑥その他」の回答

- ・岩手県のホームページでは、現在一覧が表示されない。改善してほしい。
- ・使うつもりはない。
- ・団員カードは使いづらく無くしやすい。アプリなどで管理出来ればいいと思う。
- ・団員に周知。
- ・サービスの拡充。
- ・飲食店組合などを通して広めてみてはどうか。
- ・行政のホームページで目立つよう掲載し、魅力あるサービス内容の向上(割引き率増加など)を県や市町村で事業者を支援する。
- ・告知というより、店舗頼みの協賛ではなく、応援して頂くお店に対して、しっかり補助や助成をするべき。
- ・それが違う。団員に対しての無料とか特典サービスのような、うわべだけ「行政も取り組んでいます的」なものじゃない。雇用者が従業員の緊急出動=欠勤に寛大、あるいは推進なり、消防団活動を積極的にサポートする企業をPRし、行政として支援する・CMするとか、そっちでしょ。現場・実情と乖離した問いに失望。

- ・誰もが検索出来るホームページを作り、そのホームページの告知を消防団員に定期的に発信する。
- ・こんな制度はやめた方がよい（消防団員確保のための施策であるなら、全く効果がない）。
- ・毎号市の広報で知らせたり、コンビニでポスターなどで周知する。
- ・ペイペイなどへのポイントバック。
- ・使用率のランキング。その年の流行りのお店紹介。新規加盟店の紹介。
- ・割引の率を上げると自然に周知が進む

問 16 県では、消防団員としてやりがいを持ってもらうために、県による表彰や消防団応援の店の登録拡大に取り組んでいますが、他に効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

1	SNS や地元テレビ局で大々的に扱う。
2	「県による表彰や消防団応援の店の登録拡大」とあるが、あまり知られていない。団員を増やす為には、顕彰の機会を増やし、消防団応援の店などにも特典を与え、広く広報する必要があるのではないだろうか。
3	表彰対象が悪い。個人表彰は老害のもとである。長くやることが評価されることなのか？どの様に地域の為に工夫、活動したのかを分団や部ごとに活動実績表彰するべきである。無火災表彰もいらない。予防消防を熱心に活動していても、火災はそもそも不運により発生する場合が多い。時間を評価せずに活動内容を評価するべきである。現状の組織では無理であろうが。消防団を応援していただける事はありがたいが、店での優遇よりも職場での理解を促す活動の方が行政としての本質であり、安易なもので取り組んでいます感を出しているだけである。応援の店もいらない。やり甲斐が薄くて団員が減少していると考えているならば、浅はかである。
4	税制面で減免又は免除する様な形をとれば、賛同する企業が増えるのではないかと考えます。
5	報酬の大幅増。
6	階級をなくす。
7	証書や大会はモチベーションには感じない。
8	私用車の燃料費の特別割引サービス。
9	団員の負担となるような「各部から必ず1名ずつ参加」等の半強制的な取り組みを減らし、それぞれの部が抱える事情等に配慮できる体制づくり。
10	消防団でやるべきことをはっきりさせる。
11	地域との交流。
12	表彰や各行事に意味を感じない。個人の時間、家族との時間が減るので、地

	域の防災に焦点を当てる活動にして欲しい。
13	身近な消防団であることを理解してもらうために、子ども達が来て楽しめる夏祭りを企画して、親御さんも含めて消防活動の理解と入団にもつなげたい。
14	消防系の資格取得が容易にできる支援プログラムを使って、それらの資格を何種類合わせてもつ事で、もう一ランク上の資格付与をして、将来的にその資格を持つとこんな仕事ができる等、消防活動に何か目標を持たせていくとか。チャレンジを後押しする施策が欲しい。
15	税金を安くする。
16	消防団活動に理解がある企業の拡充。
17	消防団活動について家族の協力が必要なので特典を何かして欲しい、災害時の家族の安全が確保出来る様にして下さい。
18	団員アプリ。
19	消防＝強制、酒飲みのイメージが強いので払拭が一番。
20	性別に関係なく入団機会を増やす。
21	火災や災害場所に積極的に出て活動して見る。
22	座学を伴った実践的な訓練や火災予防の知識など「消防団に入ったからこそ得られた知識・技能」が身につく機会を創出してほしいです。(県の業務ではないかもしれませんが)
23	災害時、企業が即帰宅を許してくれる。
24	厚生労働省の介護・子育ての制度を消防団活動にも拡充すべき。国に訴えるべき。
25	行事を減らす。
26	活動手当とは別に住民税をゼロにする。消防団に入ろうと考えている人は極めて少ない。辞めていく人はいるが入る人がいない。現団員1人あたりの負担は増える一方である。それ位差別化しないと団員は増えないしやっつけられない。
27	「やりがい」とは「信頼」「挑戦」「成長」「誇り」が達成できること、つまり団活動を通じて自己実現できることだと考えています。消防団の活動＝火消、酒飲みと思う地域住民（特に年配者）は依然と多く、防災講話等の場で正しい認識を持つように訴えています。団加入に本人の意向を遮って背中を押してくれない御家族もいます。逆に報酬目的で入団して活動しない人もでており、その場合の処遇にも困っています。報酬は処遇改善であり、団員獲得時にはあくまでも本人のやる気で選んでいます。
28	操法大会に向けた練習にだけ力を入れるのではなく、団員全員がスキルを習得できるような団運営。
29	県内消防団員の交流イベントの開催。消防団員限定で参加できるイベントの開催。出動報酬の大幅増。

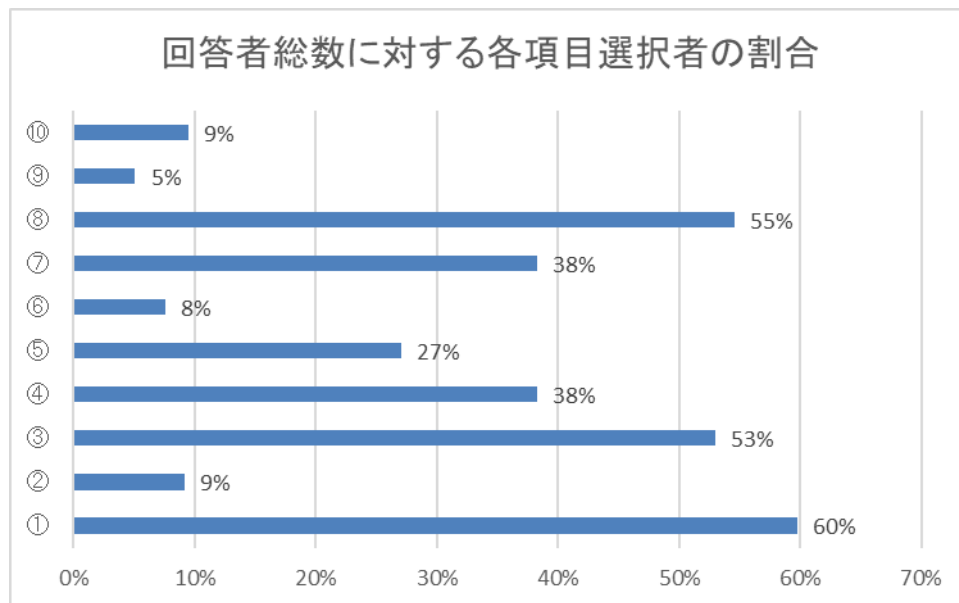
30	<p>県では、消防団員を対象とした表彰や、「消防団応援の店」登録拡大に取り組んでいます。＝違う。表彰状やワッペンやらバッジは即ゴミなので不要。店舗での団員割引やらも不要。そちらの予算のすべてを、消防団活動を積極的に推進する雇用者に手当てして、団員個人には出勤の手当を手厚くするのが必要よ。まじで。</p>
31	<p>今の旧軍隊的訓練指導は、今の時代にそぐわない。個人事業者、自営業者が少なくなって来た今の時代団員の殆どが会社員なのでパワハラ的上下関係にうんざりしている。</p>
32	<p>定年制の導入。</p>
33	<p>あまり表彰とかは今の方は興味がないようだ。余暇というか例えばゴルフ場やスキー場などの施設で割引や優先などがあれば良いかも。</p>
34	<p>やりがい云々といっても、結局はボランティアの範囲内。国や県が消防団の重要性をもっと説明しなきゃスタートラインにも立てない。</p>
35	<p>消防団員が取り組んでいる訓練や日々の防災活動について、紹介していただきたい。</p>
36	<p>行事については、その内容とスケジュールを全団員にお知らせし、決まった時間の中でやるべきことをやる。せっかく行ってるのに、やることない時間が長いほど、やる意味を見失うし、やることやって充実したと思えば、それがやりがいにつながると思う。</p>
37	<p>地域の安全安心がメリットで、表彰や特典を望んでいない。</p>
38	<p>団服のデザインをオシャレなものに変える。</p>
39	<p>現場での活動にはやりがいを感じます。災害や家事がないのはいいことですが出勤の機会を増やしてほしい。</p>
40	<p>税の優遇や、共済のさらなる充実、休暇制度の確立、活動で休むことが社会的に、少なくとも岩手県では公的に認められているなどが魅力だと感じる。</p>
41	<p>世代によって違うと思いますが、賞状や勲章が欲しくて活動しているわけではありません。応援の店制度はありがたく利用させてもらっていますが、土日返上して活動して家族サービス出来ない罪ほろぼし的なものだと思っています。</p>
42	<p>時代の流れかもしれないが今の、特に若い世代は消防団活動そのものに対するデメリットを多く感じているので、「形だけのやりがい」を持ってもらう取り組みをいくら行なっても逆効果だと思う。若い世代が特に感じているデメリットとしては、昔ながらの消防団活動や式典等の拘束時間の長さ、時間的なデメリットが上げられる。なにかそのデメリットを打ち消せるほどの提案を打ち出すか、行事等（操法競技会）の縮小を行なっていくこと。消防団活動で一定の成績を収めた者に対する特別報酬等の優遇措置。</p>

43	表彰は全く意味がない、操法競技会の廃止、ラッパ隊、纏組もかなり負担が大きい、式典が長いしいらない。
44	消防フェス等の開催で子供の頃からの意識付け。
45	今は「やりがい」ではなく「必要性」の時代です。なぜ消防団員になることが必要なことなのかを、理解してもらうことが大事だと考えます。

<消防団員の負担を軽減する観点の取組について、お伺いします>

問 17 消防団へ入団していることで負担になっていることや困っていることについて、当
てはまるものを全て選んでください。

① 訓練や行事が多い	341	(60%)
② 飲み会が多い	52	(9%)
③ 休日がなくなる	302	(53%)
④ 家族に負担をかけている	218	(38%)
⑤ 本業に支障がある	154	(27%)
⑥ 団員の上下関係	43	(8%)
⑦ 報酬・手当が少ない	218	(38%)
⑧ 人手が足りず、辞めたくても辞められない	311	(55%)
⑨ 特になし	29	(5%)
⑩ その他	54	(9%)



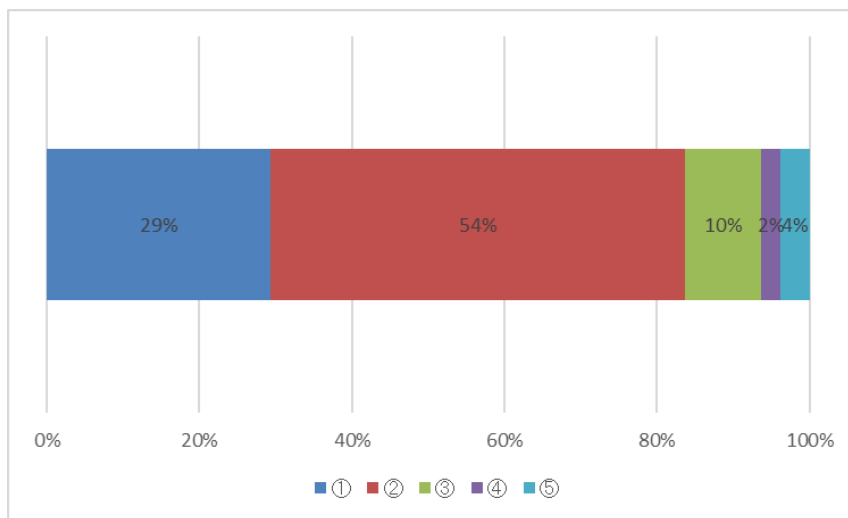
※「⑩その他」の回答

- ・地域のイベントの警備は消防活動ではない。
- ・パワハラや温床、報酬が回収される
- ・操法競技会絡みが飛び抜けて負担。廃止すべき。

- ・消防以外のことで招集されることがある
- ・同月に複数回大規模訓練があった。(春季訓練、水防訓練) 団員より家族から参加するにあたり嫌味を言われた、農業、家事、家族とのレク等あるので、スケジュールには配慮して欲しいとの声があがった。
- ・操法大会とそれに向けた訓練が非常に負担であり、また身につく技術が「大会のため(実火災時に必要とされない)の技術」が大半であり、時間を無駄にしていると強く感じる。
- ・訓練は必要。団幹部の意識改革と、部としての活動を出来る限りするため、動員日程の圧縮。
- ・精神的負担。自分が参加しない事で周りの負担が増え迷惑が掛かると感じる。
- ・新年の消防団の行進で一般道路を通行する際に、一般車両の通行を止める誘導係にドライバーから罵声を浴びせられる。通行止めなど誘導対応は、警察でなければ一般ドライバーの制御と理解は得られないので、道路の誘導は消防団員の対応はやめるべき。このようなことは、消防団幹部に話しても改善されないで全体で見直しを決定すべき。また、消防車がマニュアル車となっており、A T免許の団員が運転できないので困る。消防団の幹部はA T免許への理解が無いので、新規の車両は全てA T車とするよう県全体に通知し導入決定することが大事だと感じる。
- ・訓練・行事は当前です。飲み会出欠は自分で決められる。休日の訓練・行事は当前。家族への負担は各々の家庭環境により多様。本業に支障無く消防団活動が出来るのは公務員だけで民間人 100%支障があるのに何故こんなヤボ質問をするのか？消防団は軍隊を礎としてから上級下級・年功序列あるのは当然で、それが現代社会の上下関係と矛盾しているとは思わない。その上で若者を尊重し教育する環境が消防団にあるからなお良い。
- ・大演習など長時間の場合、立っていると腰痛は膝の痛みが酷いので時間を短縮する他、体育館等の室内を利用し椅子に着席する等、天候や気温、団員の体調に配慮してほしい。
- ・いつも活動できる人が同じで負担になる、幽霊団員とまではいわないが年に一回程度しか活動できない人もいる、そういう人も貴重な戦力。
- ・消防操法競技会を廃止して欲しい。日常的に消防団活動に参加出来る人数が限られている上、毎年のように練習中の怪我人が続出し、仕事に支障が出ている。年々団員の数が減っていてまともに練習が出来る状態ではない。
- ・報酬制度が変わったことで、団員がますます活動に出てこなくなった。出なくても報酬が貰えるからだ。よって、コミュニケーションが取れなくなった。
- ・操法の選手になれば、練習をしなければならないので、家族との仲が悪くなる。
- ・「やりたくてやっている」と思われるのが腹立たしい。行政が存続を訴えるなら、まずは公務員が団員になることを義務とすべき。火事場や災害時の対応だけが団員の職務ではない。

問 18 消防団員として活動する上で、職場の理解は得られていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 理解を得ており、積極的に応援されている	167
② 特に積極的ではないが、理解は得ている	309
③ どちらかという理解がない	57
④ 反対されている	14
⑤ その他	22



※「⑤その他」の回答

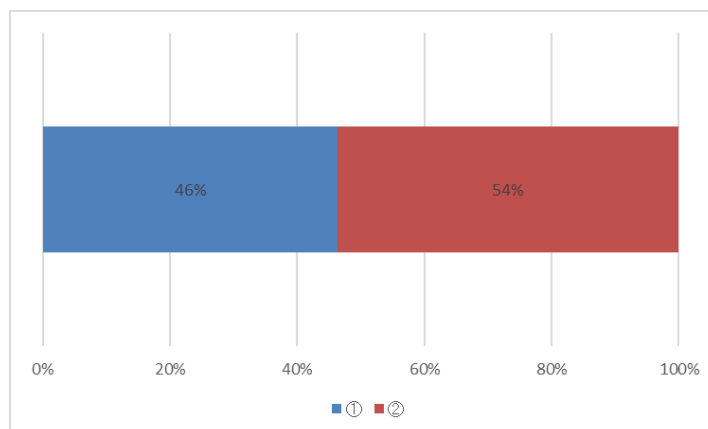
- ・自営業のため、自分で判断。
- ・自営のため、特に影響はない。(ちなみに、これまで勤めていた職場においては理解を得ていた。)
- ・職場に消防団員であることを伝えていない。
- ・経営側ですが、火災等の時は出動してもらってました。
- ・自営業なのでイザという時アテにされているプレッシャーもあるけど、知識・コツ・立ち回り方など後輩にどんどん教えていきたい。
- ・職場に迷惑をかけない程度に活動している。
- ・理解はされているが、報酬搾取や操法訓練など、哀れみの目で見られている。
- ・仕事的内容的に、急に出動となると相手方に迷惑となる場合があるので反対までには至らないもののいい返事は聞かれないこともありました。
- ・職場での消防団への理解がどこまでされているか分からない。
- ・自営業(漁業)を自分が主体となり家族で仕事をしていますが、そのため会社員より時間の都合が付けれると思われるが、消防団活動で自分が仕事を休んでも、その仕事を補うことができないので仕事が遅れどんどん負担となる。
- ・そもそも職場内部には関心がない。
- ・現在難病を患ったため無職ですが、在職中は理解を得ていました。とは言え良い顔

はされませんが。

- ・ 仕事中は仕事を優先している。

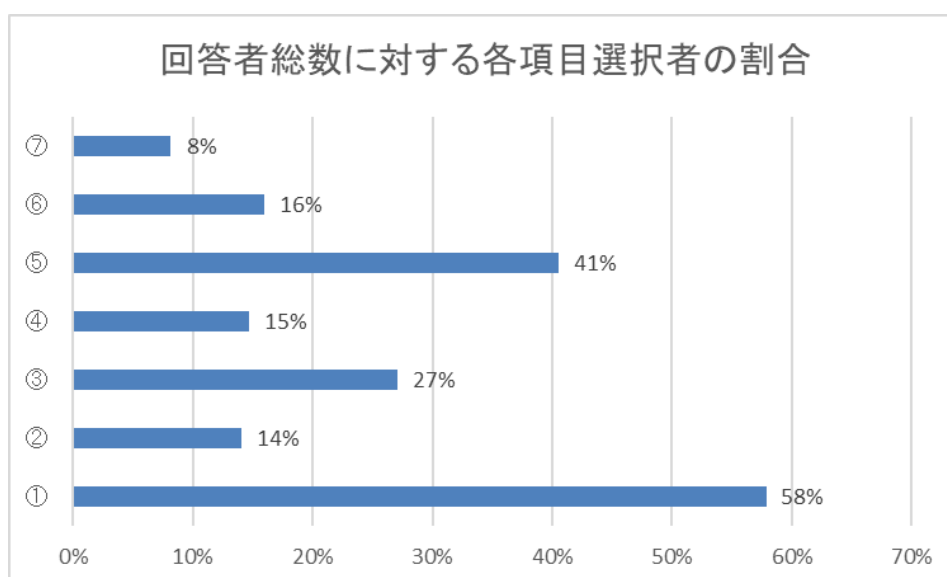
問 19 平日昼間に出勤がかかった場合、あなたは出勤できますか。当てはまるものを1つ選んでください。

① 出勤できる	264
② 出勤できない	306



問 20 問 19 で「②出勤できない」を選んだ方にお伺いします。出勤できない理由について、当てはまるものを全て選んでください。

① 仕事が忙しく出勤できる余裕がないため	177	(58%)
② 会社や上司の了承を得られないため	43	(14%)
③ 出勤時間が欠勤または早退扱いになってしまうため	83	(27%)
④ 営業など外出中で連絡がつきにくい	45	(15%)
⑤ 勤務先が遠距離のため	124	(41%)
⑥ 災害時に勤務先に出勤しなければならないため	49	(16%)
⑦ その他	25	(8%)



※「⑦その他」の回答

- ・時と場合による。「出勤できる、出来ない」の間は乱暴である。
- ・社内で携帯等を持ち歩けないため気付けない。
- ・時と場合による。
- ・不規則勤務でシフト制で、人員ギリギリで仕事をしているため抜けられない。
- ・仕事は優先である。
- ・休みの日が不規則の為、緊急作業で呼ばれる為。
- ・その時の勤務内容によって出勤可能、不可能はあります。また、勤務地から現場に駆けつけるにしても多少距離が離れている為、駆けつけるのが遅くなってしまいます。
- ・職場の管理職をしているため。
- ・災害時は避難所対応が優先されるため。
- ・運輸業はその時の判断や仕事内容にもよるので休みや休憩中、暇なら出勤出来る。
- ・市町村職員のため、火災は出勤可能だが、地震など自然災害は公務優先となるため出勤出来ない。

問 21 国や市町村においては、消防団活動に協力している事業所を顕彰する消防団協力事業所表示制度を導入されており、県ではこれらの企業に入札資格審査における加点措置を実施しています。

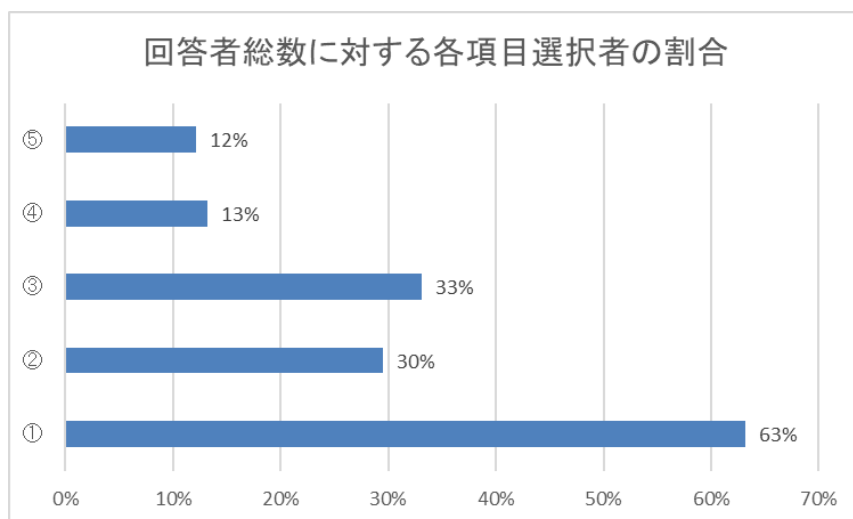
このような消防団に協力する企業に対して、講じられることが望ましい施策が何かあれば御記入ください。(自由記載)

1	そもそもそんなことを知らない。
2	入札に参加しない企業の方が多いのではないかと。減税や団員数に応じた助成金の方が協力企業は増加するのではないかと。
3	税制上の優遇があれば良いと考えます。
4	消防団協力事業所でありながら出勤になっても有給扱いや欠勤扱いになるため改善を申し入れているが変化が見られないので県や市町村行政からの指導等を行って欲しい。
5	消防団員が配置予定技術者の場合、更なる加点措置。
6	全ての事業所に対象となるものでなければ、効果はない。諸税の割引など。
7	どこの職場も限られた人数でやっていると思う。協力するとはいうが、実際は厳しい。
8	出勤時の人員減による損失の補填。
9	消防団員在籍企業への補助または複数団員在籍の場合の優良認定みたいなものがあれば企業にとってもマイナスではないと思う。
10	会社に消防暑や市町村から出勤に関する理解などを文章を通じて積極的にお願いしたい。

11	何らかの形で減税など直接的なインセンティブが必要だと思う。
12	災害時は即向かわせれるような超法規的措置を。
13	事業者というより、地域全体の理解。
14	県資金の貸付利率割引や据置期間の延長、法人住民税の割引控除。
15	顕彰や表彰を否定しないが、行政が一方向的に与えましたで終了では意味が無い。県の事業入札だけの加点ではなくもっと細かい部分での「地域防災協力企業」として県や市町村があらゆる面で優遇・積極的PRなど、信頼のおける協力企業として公表すればよい。カネが掛からず今すぐにでもできる簡単な事。団員の割引など意味ないカネの使いかたは即時やめましょう。一般庶民には分からない、何かの力が確実に存在している感じがとても気持ち悪いし、鬱陶しい。
16	入札に参加出る会社しか利害関係が無い消防団協力事業所表示制度に加入の進め方があまい。
17	それは良い事だと思う。ただ私のように団体職員だと余り関係ない。何か消防団員のいる会社にメリットがあれば嬉しい。
18	素晴らしい制度だと思います。もっとPRしてください。
19	団員にも還元される施策を考えてほしい。
20	ほぼ知られていない気がします。団員数の人数の把握や、人数によっては優遇をさらに拡大してもいいのでは？
21	感謝状と金一封贈呈。
22	消防団の活動に協力的な会社企業といっても、団員の勧誘などを行っているわけではないでしょうし、はっきり言えば仕事の途中で抜けられるのは困るでしょう。しかし消防団に入りたい人は確実にいます。年に一度で良いので、消防団員募集を呼び掛けてほしいものです。

問 22 消防団員の負担を軽減しつつ活動を充実させるため、今後新たに活用することが望ましい取組等について、あてはまるものを2つまで選んでください。

① 消防団アプリなどDXの導入（災害発生時の情報共有、出動指令、活動報告の迅速化）	359
② ドローンの導入（災害時の避難誘導、被害状況の把握等で活用）	169
③ 消火・救助用資機材の導入	190
④ 新たに活用すべきものはない	75
⑤ その他（具体的に回答用紙に記入してください）	70



※「⑤その他」の回答

- ・ 定年制（辞めたいときに辞めやすくしてほしい。）
- ・ 操法、出初式等イベントの廃止。
- ・ 消防無線がデジタル化されたため、災害発生時の現状把握が困難となった（特に出動停止となる誤報等の把握）。各団員への受令機配備を要望します。）
- ・ 出動団員が少なく、買い物にもいけず消防活動中の飲食に困ることがあるので、そのフォローする道具があれば。
- ・ そもそも一部の活動内容が現代の内容にアンマッチかと思います。
- ・ 活動費アップ。
- ・ 県で岩手県全ての消防水利を網羅するアプリの作成を強く希望する。
- ・ 活動に適した服や靴の支給。
- ・ 分団再編成。
- ・ ポンプ車両への火災防ぎょナビの搭載など。
- ・ 行方不明者の搜索は、川や山を歩くが普段からそのような場所を歩く環境が無く普通の長靴しか持っていない。搜索の道具と活動の際の飲食代も自腹になるので、活動にかかった費用を支給することが望ましい。
- ・ 消防団協力事業所へ消防車両を預け各事業所から出動してもらう。
- ・ 報酬手当の増額、住民税等の減免、公的消防団員年金等の創設。
- ・ 例えば操法競技用の機材をレンタル制度にする。（参加者全員が同じ土俵で競わせたい）
- ・ 活動充実自体が負担増と思います。
- ・ 実践的な教育訓練や安全装備の導入更新。火災や災害時に消防職員と同じ活動をするのに訓練や安全装備が足りないと思います。
- ・ 仕事としてちゃんとした給料をもらっている署員を増やすか署員に準ずる手当ての拡充。
- ・ 纏組、ラッパ隊の廃止。
- ・ 台風など、未だに災害が起きている現状を、町や消防署に見て聞いてもらいたい。
- ・ もはやボランティアでは成り立たない組織ではないだろうか。自治会の役職のひと

つとして組み入れる。

- ・ 屯所の環境整備(上下水道・空調設備・キッチン回り)の充実化。
- ・ 操法の大会を行うよりも、負担軽減される機器の取り扱い等の指導会を行ったり、消防団として使用する器具全般の指導会、操法の指導会程度にして、誰でも器具を扱えるようにしたほうがいいのではないのでしょうか？
- ・ 最低限、本人の意思を尊重し、入団と退団が自由に出きるようなシステムを構築すべきであると思います。特に退団する際の幹部の圧力がパワハラと思われる。
- ・ どのように活躍できるのかの見える化。「これなら自分でもできる」と思える活動が分からないと、自分は役に立たないと感じる。
- ・ 基本動作などは動画視聴等で代替えし、訓練時間を減らす。
- ・ 操法大会、消防演習、火防行事、夜警など慣例にしたがった行事が多すぎるため、抜本的に行事の見直しをすること。特に、消防演習などリハーサルが何度もあることはやめるべき。リハーサルはいらない。誰のための行事なのか。役所のための行事ではない。

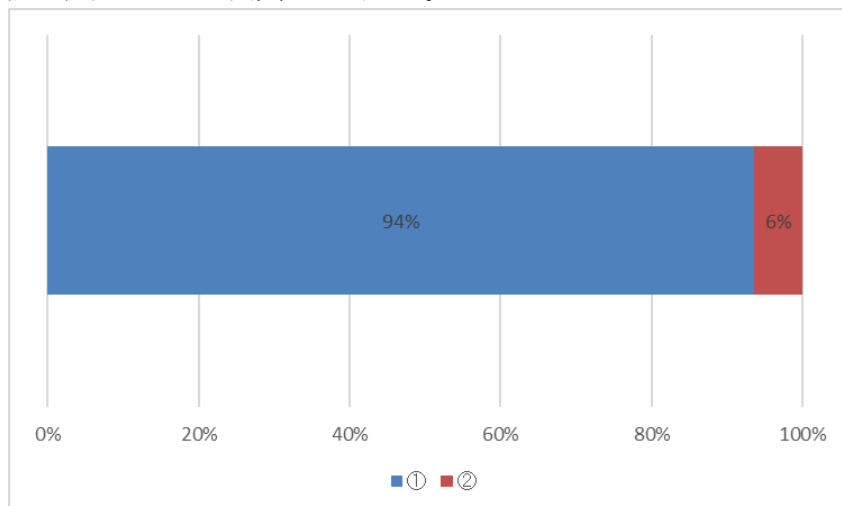
＜消防団員の確保に向けた今後の取組について、お伺いします＞

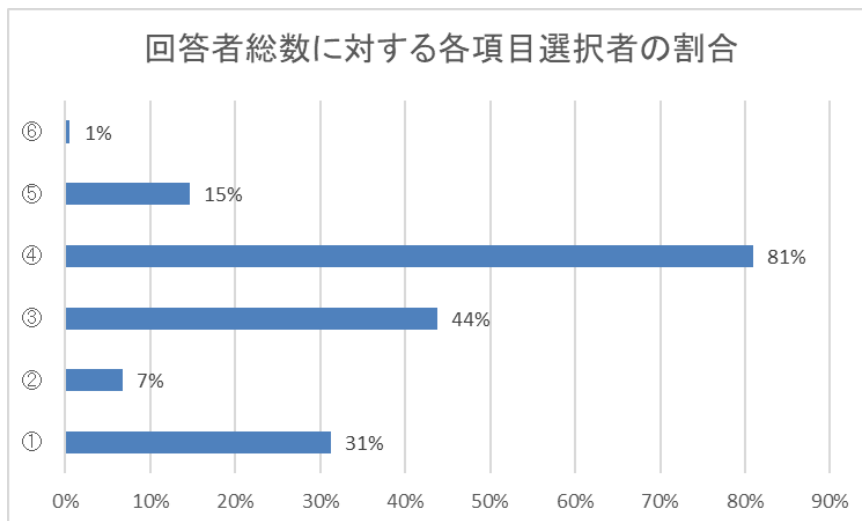
問 23 あなたは、県や市町村の消防団員募集の広報を見たことがありますか。

① 見たことがある		534
	ア テレビ・ラジオ	167
	イ SNS (X、TikTok、インスタグラムなど)	36
	ウ 広報誌	234
	エ ポスター・リーフレット・のぼり	432
	オ イベント等での広報	78
	カ その他	3
② 見たことがない		36

※「カ その他」の回答

- ・ ショップのポスター
- ・ 行政区長の呼びかけ
- ・ 機械が役割を担えば団員は必要ない。

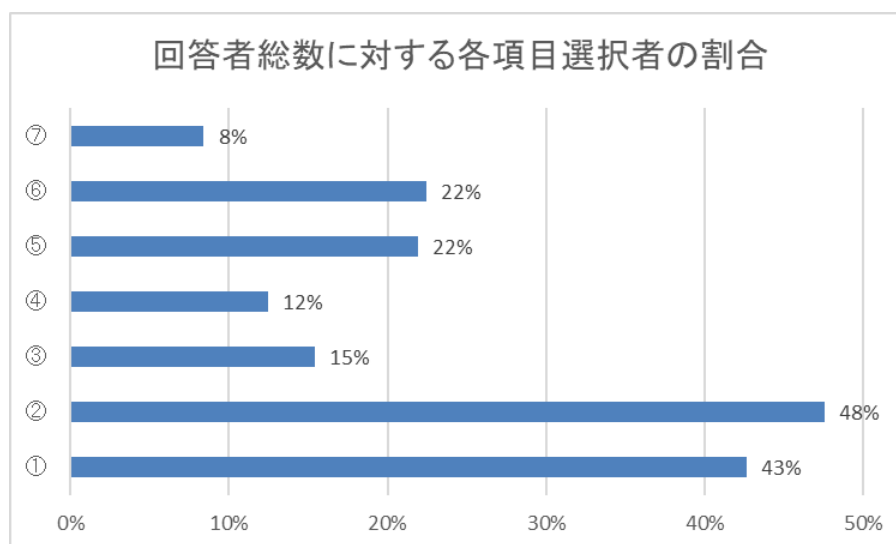




問 24 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報媒体が有効だと思いますか。

次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

① テレビ・ラジオ	243
② SNS (X、TikTok、インスタグラムなど)	271
③ 広報誌	88
④ ポスター・リーフレット・のぼり	71
⑤ イベント等での広報	125
⑥ タレントやキャラクターを活用した広報	128
⑦その他	48



※「⑦その他」の回答

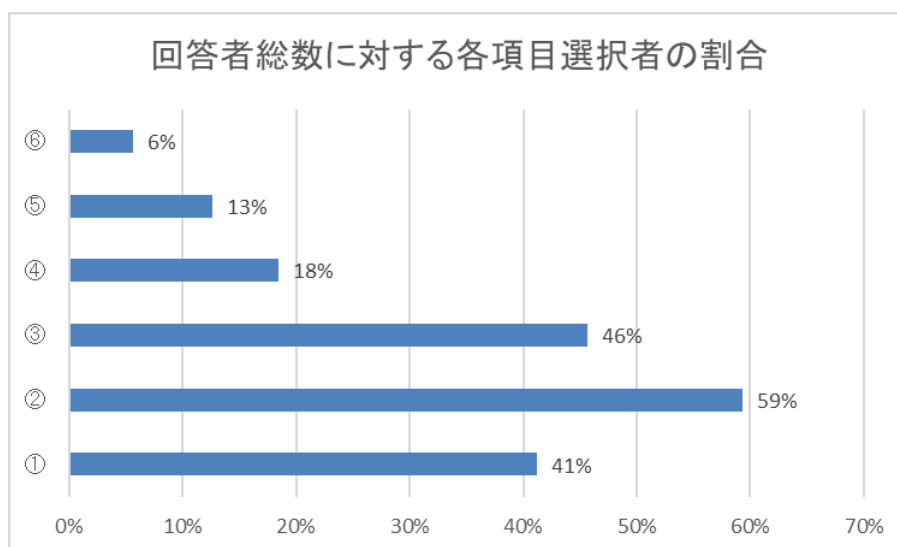
- ・地域の中での口コミ
- ・広報よりも組織改革
- ・何もかも時代遅れ。
- ・行政からの赤紙のようなもの。

- ・ 広報が無くてもやる人はやると思うので特に無くてもいいと思います。
- ・ 広報よりもイメージの改善を図る方が優先だと思われる。
- ・ 以前放送した「ハヤブサ消防団」のようなドラマ。
- ・ 色々なかたちで広報しているが、効果がないように見える。消防団に入団しない理由は別にあるのでは。※若い人が少ない（人口減少）など。
- ・ 広報と実態が伴わない（言葉は悪いが騙している）ので広報しても無駄だと感じる。
- ・ 区長など地域の人が団員募集の呼びかけを行う。
- ・ どんな媒体で広報しても、ほとんどは直接足を運ぶことが必要不可欠
- ・ 部隊訓練や大会などの中止しかないと思う。どう考えてもそれしかないだろ。
- ・ 待遇改善、負荷軽減など地道なことしかないのではないか。
- ・ 今現在の状況を考えれば、特に有効と思われるものはほぼないのではないか。広報だけで入団するのであれば既に入団しており、この質問には意味がない。広報がなくなることは困るが、有効、無効という効果評価自体は問題ではなく、継続することに意味がある。
- ・ 媒体の勧誘はこれまでの実績で検証できるはずで、効果は薄い。結局は人伝えで勧誘することが大切である。

問 25 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような広報内容が有効だと思いますか。

次の中から当てはまるものを2つまで選んでください。

① 消防団の役割	235
② 報酬・手当や活動内容	338
③ 消防団へ入団するメリット	260
④ 現役団員の声（やりがい、使命感など）	105
⑤ 学生や女性団員の活動紹介	72
⑥ その他	32

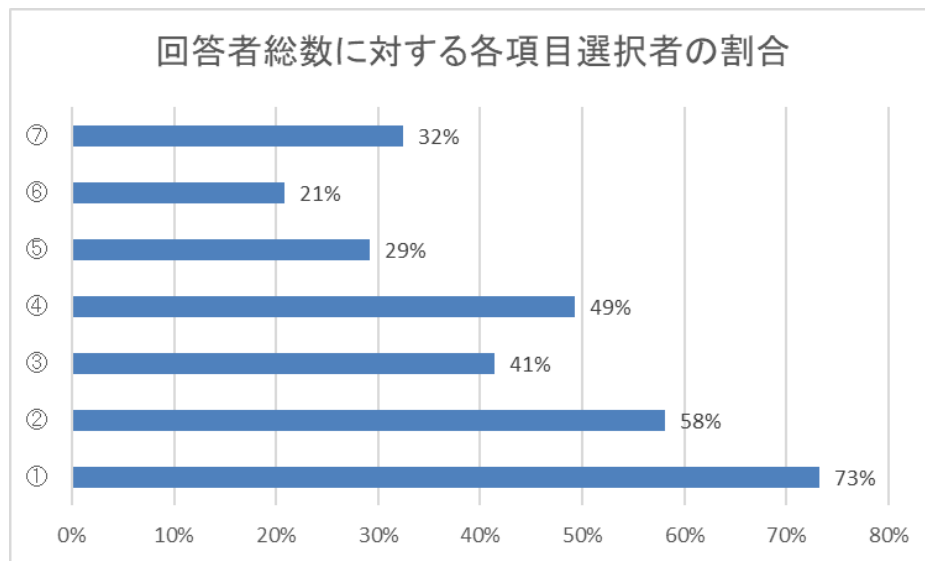


※「⑥その他」の回答

- ・操法大会への参加や練習への参加を強制しないこと。
- ・保険が酷すぎるのでまともな保険にして欲しい。
- ・現状の消防団では実態が伴わない(言葉は悪いが騙している)ため広報して入団者が増えてもすぐに退団する人がほとんどであるため、広報よりも先に処遇改善など現在の団員が充実した活動ができるようにするのが最優先であると思う。
- ・消防団に対する地域の声(期待や感謝)を紹介することにより、「やりがい」が高まると思われる。
- ・いくら広報しても、今の時代団員は増えないと思う。
- ・消防団の実情を知って貰うには良いが、入団促進としての広報は有効でない。内容のもんだいで無い。当事者意識は持てない。
- ・無駄な拘束時間や、休日返上で行事などこれからは時間的な無駄を省いていくという姿勢のアピールが必要。
- ・なぜ消防団が必要なのか?なぜ入団の勧誘をするのか?を理解してもらえない。そして、現役団員に任せきりにするのではなく、町内会や市職員も勧誘にあたらなければならない。消防団って市の団体ですよね?
- ・消防団がなぜ必要なのかと、無い場合のデメリット。
- ・「これだけやればいい」という、わかりやすい活動内容紹介。活動が多いと誰も参加しない。
- ・習得できる技能。

問 26 全国的に消防団員の減少傾向が続いていますが、入団者が増加するような魅力ある消防団にするためには、どのような対策が有効だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。

① 報酬・手当の増額など処遇を改善する。	417	(73%)
② 活動内容や訓練回数を減らし、負担を軽くする。	331	(58%)
③ 事業所に消防団活動への理解を求める等、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする。	236	(41%)
④ 消防団員を雇用する事業所等に優遇措置を行う。	281	(49%)
⑤ 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める。	166	(29%)
⑥ 消防団員が、新しい技術(DX、ドローン)を災害対応等で活用できるようにする。	119	(21%)
⑦ 機能別団員や機能別分団など、団員のニーズに応じた活動形態を整備していく。	185	(32%)



問 27 その他、消防団員の増加のために効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

1	活動内容が不透明なので SNS を使い、常に何をしているか発信する。
2	消防活動の訓練は吝かではないが、ポンプ操法などの大会は不必要。あくまでもボランティア活動の一環として、簡素化を図り、自主性に任せるべきである。
3	現役団員であるが、現状の活動内容スケジュールでは持続可能性が無い。過去も現代も奥州市はボトムアップの組織運営が皆無の状態、新規団員の勧誘もままならない。OB の機能別団員は老害になる場合がみられる。操法大会が特に団員の負担でしか無く、操作や伝達等講習会は理解できるが、大会にする必要性が無いのではないか。舞台訓練（行進等）は軍隊訓練であり、有事の現場では必要としない。地域に存在する意義は納得する物である為、持続可能な組織となる為にも改革が必須である。
4	自治会や行政区で消防団員加入に積極的に働きかけを行い、消防団の重要性を住民の皆さんに理解して頂く事が大事かと考えます。
5	消防団に入ると介護士、ドローンなどの資格が取れる。大型免許が取れるなどの旨味の資格
6	これだけ操法大会への批判的な意見があるにも関わらず、このアンケートに一切触れられていないことに疑問を感じる。上の立場の方々は、操法の必要性や練習の必要性を話し、どうしても練習時間や練習日が多くなっていく。家族に迷惑をかけていても、上の方々には理解されない。遅くまで練習して、家に帰って、家族に責められる。遅い時間に家事や育児をしなければいけない。昔とは家庭環境が違うのに理解してもらえない。そんな消防団活動では参加したいと思えない。勧誘しようと思えない。操法に参加するのであれば、一切強制はせずできる団員でやる
7	勤務時間中は、勤務地で活動できるような仕組み。消火活動に付随したものを以

	外の活動をやめる。
8	階級を無くす
9	加入義務化
10	取組みというか、ネガティブな印象を払拭する必要がある。特に消防操法大会の練習については、一般の方々の目にもついでに「あれ大変そうだよ」とよく言われる。また、それに対して団員も「大変だ」と言いふらすからますますイメージダウンする。「消防団＝操法」というイメージを何か別のことで上書きしたい。
11	出勤中に出勤がかかった場合に企業側に出される報酬
12	家族、特に奥様方の理解が第一です。なので奥さま方が旦那の背中を押す施策が必要です。例えば軽自動車材の免除、ガソリン単価の追加で値引き等。
13	試行入団制度を取り入れる。
14	機能別とあるが、イメージとして将来的に「専門」や「担当」を決める事は、時に『負担を助長』させるような事にならないかが心配。
15	昔のイメージが強い為負のイメージ払拭が最優先と思います。(酒飲み、拘束時間の長さ、年長者からの小言など)
16	屯所の利活用ほか、コミュニティとの関係強化。
17	役所関係の職員はなるべく入団してもらおうやうにしていきたい。
18	今の若者は格好から入るので着たいと憧れるようなカッコいい活動服。
19	幼少期から消防団と関わる機会をつくり、大人になった時に自然と入りたいと思えるような活動をする。20代の即戦力はほしいが、先を見据えた活動をしなければならないと思う。
20	個人への報酬や手当とは別に、団各部へのお金が必要不可欠である。
21	少子高齢化、過疎地、若者の地域活動離れ等、問題山積である当地では、有効な方策は無いに等しいのが現状です。任期制を導入し、半強制的に入団させるなど思い切った施策が必要。
22	消防団が地域になくてはならない組織であり、リスペクトされる存在であることをまずは地域の若者に認識させることが必要であり、若者に積極的にアピールできる機会を設けること、そして身近に感じてもらうとともに、団及び団員がその期待に応えるような組織、資質であることが必要。
23	公務員の義務加入等、ある程度強制力がないともう人は増えないと思う。
24	纏・梯子でピーアール。
25	地域の防火施設などを利用した消防訓練などの実施。
26	自営業者は特に生活に困らないよう処遇を改善してほしい。
27	報酬は出勤者のみに支払い、都合上出勤出来ない人(式典などには出席しないが災害時には協力する人等)は幽霊団員とは判断せず在籍を可能にする等。

28	ポスター見たくらいで入団する人は皆無だと思えます。子供への体験入団とかイベント時のPR、消防車に触れてもらい将来の団員確保につながると思う。
29	消防団活動を活性化させるために若返りが必要。平均年齢50歳を越えた分団に若い人が魅力を持つわけが無い。定年制を導入し若い人をリーダーにする必要がある。消滅する分団が有るかも知れないが、そのような分団はいずれ高齢化で活動できなくなる。
30	報酬が増えれば自分のやる気、家族の理解も得られる人が増えると思う。
31	昔のイメージが強いので、今そういう事がないことをアピールして欲しい。
32	「消防団員」というネーミングを変える。昔の消防団員のイメージが悪い。飲み会のために夜廻りしているおじさんの集まりというイメージしかわからない。
33	田舎に安定的に住んでもらえる政策の充実しかないと思う。人口が少ないことが問題なので、その地で安心して安定した暮らしができるような政策すべてが有効。
34	未来の消防団員である子どもたちへの啓発活動。大人になったら、男女問わず地域のために活動するという意識醸成が必要ではないか。
35	人口が減ってるんだから増加するわけがない。
35	行政が消防団内部の事情を理解し、思いを寄せない限り、効果が薄く、看板だけの取組になる。手当増額してもうれしくない。人は集まらない。資機材を充実することに何の魅力も感じない。お金の無駄遣い。本職の消防署にそのお金をあげてください。
37	地域の誰もが団員になれ、自分が得意な事や出来る事を活動してもらおう。

問 28 消防団について御意見があれば、御記入ください。(自由記載)

1	頻繁な飲み会や、田舎のヤクザみたいな悪いイメージが付いていたりするので、それを払拭する情報発信が必要。そもそも一般が消防士と消防団員の区別も付いていないのも大きな問題であり、そういった誤解をなくすためにも消防団がどんなものなのか積極的にメディアをつかって発信する必要があると思う。あと、イベント後の飲み会がいらぬ。
2	私は50才過ぎてから、再々に渡る勧誘により渋々入団を決意した口だが、過去のイメージとして、消防団は飲み会が多いイメージが付き纏い入団を拒んでいた経緯がある。おそらく、そんな考えのある若者も多いかと思われるので、そのイメージを払拭できるような広報活動も必要ではないだろうか。
3	一般企業勤務、自営業などは有事の際出動するが、公務員団員は勤務中出動しない。そのうえで職場への理解促進を促すのは行政である矛盾を感じる。機能別団員、機能別団とDXやドローンの活用は別々の検討事項であり、一色単に問う事は乱雑過ぎるのではないか。一斉訓練に参加出来ない場合や、いつでも確認出

	来るよう機器の基本的な取り扱いの説明や有事での注まとめた動画は有れば良い。そのうえで操法大会、演習の廃止や変革が必要。
4	同じ地域に住む様々な職業を持つ人たちが、消防団という名のもとに集まっていて、他地域から移り住んだ私にとっては、消防団員でいることは、つながりを持つきっかけになったと思っている。確かに、休みの時に出勤するときもあるので、家族には負担を掛けているが、地域を守るために活動しているということは、理解してもらっていると思う。人口が減少している中、消防団での活動に意義を感じて団員として活動している方、入団してくれる方を大事にしていればと思う。
5	今の世代は上意下達の軍隊的なものは好まない。好き好んで父親より年上のおじさんから説教されたいとは思わない。上位の者はパワハラ認識がない。
6	操法大会は無くしてもよいのではないか。練習、大会により家族との時間をさいているため
7	とっかかりが何にせよ入ってみれば、それなりに活動に繋がると思います。
8	統制や規律が必要な団体ではあると思うが、軍隊のような活動は若い人には抵抗がある。大隊や小隊などの訓練・行進はやめるべきではないか。実際、式典や訓練にしか使わないものは必要ないと思う。現場で使えるものにしていくべきではないか。
9	地域にとって必要な存在であることがあまりにも認知されていない。特に岩手県内では昔ながらの「酒飲み」の集団「操法の練習がきつそう」「家族も協力させられる」「一度入ったら抜けられない」というイメージが強すぎる。もう少し入団しやすく、また参加しやすい体制を作っていくべき。
10	経験や訓練をしていない者が機能別団員となっても、名前や数字(団員数)だけで実効性がないので、安易に機能別〇〇を設けることは望ましくない。
11	消防団の必要性は感じてるが、イベントが多すぎるので、減らすべき。
12	操法の練習がはじまると、新団員の大半は幽霊団員となり数年後に退団する。操法に固執する老団員の存在が非常に迷惑。もう手遅れだと思いますが、改善しないと新団員加入は難しいかと。
13	小さな地域でいろいろ行事もある中、消防団の訓練が続くと心身共に負担が多い。また、家族にも迷惑をかけている。報酬も貰っているが、イマイチ明細も不明である。休日に活動に参加し、怒られ、更に報酬も少ないのであれば誰でもやる気が無くなるのが自然だと思う。今後は、訓練や大会を少なくして、報酬も大幅に引き上げ、楽しそうな消防団になってくれれば若い方も自然と入団してくれるのではないかと思います。
14	消防団員が入らない以前に、地元で働く職場が無いので、若い人が居ない。自分もだが、職場が離れているため、日中の有事に対応出来ないため、団員として

	<p>の職務を遂行出来ないので、申し訳なく思う。また、入団しても、ほとんど活動していない団員にも報酬が払われ、表彰される事にも違和感があるし、それに対して反発する団員も居る。自分の地域も団員は減る一方なので、団員確保を考えるより、部の統合を考えて行くことが現実的だと思います。</p>
15	<p>ポンプ操法は廃止でよい。火災現場で全く役に立たないと思うし朝練、夜練とやらされる。出初式も消防演習も現代では必要ないと思います。こういうのをいまだにやってるから団員が増えずに減っていったと思います。また報酬も結局は部の飲み会などで使わさる。</p>
16	<p>屯所の改善。</p>
17	<p>自身の消防団内でもパワハラ(大勢の前で叱責し、それに対して意見すると、その後無視をしたり、担当業務を一切させない、自分の悪口を他の分団に言い孤立させそうとする)※相手方はベテランの幹部団員)があり、悩んでいる。消防活動はとてもやりがいを感じているが、人間関係で退団を考えており、コンプライアンスに関する講習会などを全団員を対象に実施してほしい！</p>
18	<p>現在、かなりの団員(及びその家族)が負担を感じながら、しかし郷土を守るために多くの犠牲を払って活動しています。私自身、前述しましたが操法大会が時間と労力の無駄だと感じています。全国的には廃止している所も増えてきました。現場の団員の声に真摯に向き合い、改善を行うことが行政に求められていると思います。これ以上、団員が減り、消防団に入っても大した技術・知識が身につかない、時間の無駄だと思うことが増えれば団員は減り続けます。新入団員が「思っていた活動と違う」ことを理由に辞めています。改善へ向けたテコ入れを期待します。</p>
19	<p>壊れた機材等の早急な対応、古い物を渡されていざと言う時に役にたちません。</p>
20	<p>団員の声や意見を聞いて欲しい。聞いても反映されていない。</p>
21	<p>大震災以後、防災士、あるいはマイスター養成など、跋扈する時代に感じるが、そちらに予算を割くくらいなら、消防団員確保に注力すべきである。</p>
22	<p>県民に消防団の存在を知ってもらいたい。そんな機会が岩手県としてあればいいと思います。</p>
23	<p>消防団は悪いイメージが先行していると感じる。決してそうではないが、訓練や行事でプライベート時間が失われる、飲み会が多い、上下関係が厳しそうなど。また、活動が面倒臭い、やらなくても別に困らないなど他人事のように思っている人も多く居る。団員を増やすためには、団員に対して目に見える優遇措置が必要と考える。負のイメージを払拭できる大きなメリットを見せる必要があると考える。</p>
24	<p>地域防災の要である消防団を魅力的且つ若者の入団を促進するために旧態依</p>

	然とした考え方や組織の在り方など抜本的に見直す事が必要かと思えます。
25	団員個人に報酬が直接行く様になって、分団運営が厳しくなりました。町長、議員の言ってる事は立派ですが全然消防活動に非協力です。団員の皆さんは仕事が終わって消防活動に協力してくれますが、分団に財源が少ない為食品、飲料等の買い出しが大変です。何処かの分団員による活動費使い込みで分団にお金が入らなくなって非常に活動が大変です。団員の皆さんに申し訳がありません。
26	入団促進のためには、若者が消防団に入団して活動したいという意欲を持ってもらうことが必要であり、そのためには入団することが人生のプラスになり、誇りになると思える取組を考えていく必要があると考えています。地域の防災活動に参加しても若者はほとんどいません。報酬や身分上のメリットばかりでなく、若者を地域活動に誘うことがまずは必要と思っています。
27	消防団の幹部は、若い人はAT免許が多いことで消防車のAT導入が必要なこと、女性が消防団に入れる現在、協力隊は解散する必要性を理解していないと、団員の意見が消防団の組織に反映されない現状となっているため、このようなアンケート調査は定期的に行うことが有用だと思う。
28	消防団員でない職員が、いくら加入促進対策を訴えたとしても、全く説得力がない。
29	消防団は地域防災の要であり、行政の手や目が届かないところに作用する、かつ、有事の際は行政頼みでなく地域の共助自助の中心的役割を持ちます。大行政による一律的な育成より、地域による育みを行政が煽って支援する形の方がうまくいくかも知れないと考えます。
30	報酬手当以外に各分団に活動費を支給していただきたい。未だに団員らの自腹による被服、機材、消耗品等の購入が日常的に行われている市町村が多い様で、活動による負担の他に金銭負担まで発生しては成り手はありません。是非、県予算で市町村に消防団活動費を手当して下さい。
31	私は父を見て来たせいで消防団活動も好きだし飲み会も好きだが、今の若い方は面倒臭いと思うので号令をかける時は別として、全員平等にフラットに付き合っています。又、まだ日給月給とかで土曜も休めないような方があるときに団員研修を平日に行うのはどうかと思います。せめて土日をお願いします。
32	操法競技の採点の公表。
33	単に団員を増やすというのは、大雑把過ぎると思います。人口も減少しているので、それなりに団員の減少もある事は自然な現象でもあります。また、その様な状況の中で人数だけを求めると、団員の質の低下が懸念されます。地域性はあると思いますが、昔のイメージのままアップデートされてない点も多いです。ネットも発達してますし、最新の消防団運営のモデル分団などを設定し情報共有して、分団ハラスメントなども無く、番屋での受動喫煙も無いような、時代に即

	した消防団に少しでも近づけて行って欲しいです。
34	操法は訓練としては必要と思うが、大会にする必要はないと思う。況してや、個人に点数をつけて公表するなどあり得ない。こんな習慣があるから団員不足になるのでは？
35	本業・家庭生活に支障しかない現場を改善しないと未来は無い。正直、今消防団に所属している身としては、税金の無駄遣いにしかなくておらず、それに加担しているのが辛いので、すぐにでも辞めたいと思っているが、辞めた後に村八分にされるのが嫌なので辞めれずにいる。いっそのこと、イメージ払拭のため、消防団という名前を変えた方が良いのでは。
36	どうやって消防団に入ってもらおうか？や、魅力ある消防団にするためには？といったことは二の次、三の次の話である。なぜ消防団が必要なのか？を市も市民も理解しなければならない。本人もしくは家族が、俺は、、、とか、うちの子は、、、といった話をよく聞くが、消防団が無くなったらどうなるかということを知っていない。助かる命も助かりませんよ？時代に合ってるとか合っていないとかいう問題ではなく、消防団が必要である以上、やらなければならない。もちろん、心も体も健康な人である必要はあるが。市と消防団本部は本気で考えてください。
37	班長をやっているが一年を通じて活動を考えて指揮を取っているが、団員との報酬額が500円しか変わらないのは絶対におかしい。何年も活動できていないのに報酬が出ているのも納得できない。年数だけ重ねての退職金も少額だ。しっかりと活動報告書に目を通していけば、如何に無駄なお金を払っているかがわかる。
38	団員が農家さんよりも会社員の方が多くなって来ていて、自由が利かない団員が増えている気がする。その中で休日や早朝、終業後に時間をさいて消防団の活動すること、昔とは少しずつ変わっていることがあるので、今回のアンケートのように、細かい期間で現場団員の意見を聞いてほしいです。行事の簡略化、報酬の増加、操法大会よりも器具の取り扱いを、新たな消防器具の活用、技術で団員減少をカバーする。
39	操法大会中止しかないと。ストレスでしかない。新しく入ってくる団員がいない為何年経っても辞められない上に仕事にも支障が出る。別に大会にしなくても訓練で十分なのではないか。いつまで軍隊制度を引きずる気なのか。
40	私は結婚後、消防団を続けて行く事が困難になりました。妻の仕事が土日中心の為、子供が一人で留守番出来る年齢になるまで行事に参加できません。班長の立場でこの様な状態です。他の団員に対して申し訳ない気持ちでいっぱいです。消防団とはあくまで男尊女卑のシステムの上に成り立つ組織だと感じています。これから日本が今以上に男女平等を謳っていくならば、間違いなく消防団は

	消滅していく事と思います。抜本的な大改革を望みます。
41	入団は簡単だけでも、退団するとなると幹部から脅迫まがい(パワハラ)の行動が横行していると思われま。本来、退団は本人の意志が尊重されるべきであり、公益通報の受け入れ体制も含めた対偶措置が機能されるべきであると思ひます。
42	現状の消防団の組織、活動内容では、新入団員の確保はとても厳しいです。実際年々所属団員の平均年齢は上がり続けています。このままでは団員の高齢化が進み、活動したくともできない消防団組織となりかねないですし、そうなりかけています。防災力の低下をさせないためにも、消防団組織のあり方、活動内容を抜本的に見直されていくことを望みます。
43	消防団でなく防災団であるとの理解を住民と共有する。
44	消防というと火災対応のイメージですが、近年は災害対応が中心なのかなと思ひます。被災地には、ボランティアを志願する方がたくさん集まります。「消防」や「消防訓練」などのような、体力に自信がないとできないようなイメージではなく、幅広く助け合うボランティアのようなイメージだと、女性も若者も仕事をリタイアされている方も参加しやすいのではないかと感じます。
45	部への補助金の拡充と使用用途の拡大をお願いします。補助金が余った場合のプール制度など補助金を使い易くしてほしい。
46	有事の際、ただただ見守るだけではなく、自ら消火活動や救助活動ができる、とても魅力的な制度なので、そこを強く報じてほしい。
47	旧態依然の価値観を変える。共稼ぎのサラリーマンが増え、世の中全体で男性の育児参加が叫ばれている中、女性が家庭を守り男性が際限なく訓練に明け暮れるような消防団に入団しようと思わない。家族の理解を得られる訳がない。
48	地域とのつながりを持てるようなイベントを積極的に行っていかなければならないと感じる。
49	今の時代にあった消防団にしていかないと、ますます団員が減るかと思う。この際、消防団という名称も変えてはいいのでは。また、第一中隊や第二小隊等いかにも軍隊のような呼称も今の時代には合わない。 略帽も要らないし、礼服も年に一度着るか着ないかなら要らないし、出初式では寒く我慢大会のようです。これでは新しい団員は入ってきません。せつかく防寒着の支給が奥州市で完了するので、出初式は活動服にキャップ、防寒着でいいのでは？昔にとらわれず変えるべきところを変えて団員の負担を軽減し、新しい団員が入りやすい環境を作って頂きたい。
50	消防車が古い。30年目でエアコンが付いていない。夏の訓練、火災時消火活動などは暑くてかなり大変です。夏の雨の日室内の窓が曇り視界が悪くなり危ない。

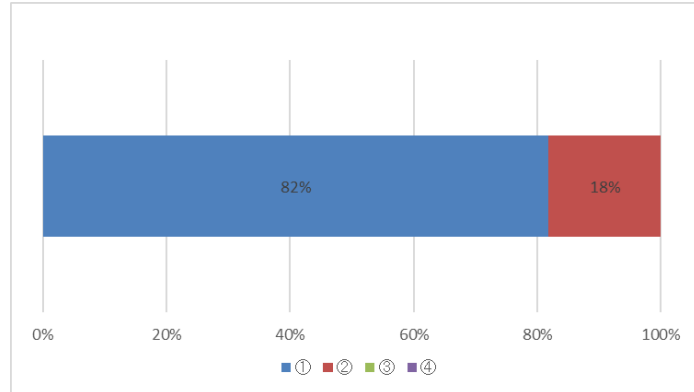
51	<p>主催者が違うだけの同じ様な行事が続く事が多く、毎週消防ばかりはやっ られない。他の色々な団体の活動も活発になっているので、日程が重なる。も っと考えないと、参加できる者がいなくなる。</p>
52	<p>消防団は、地域を守る部分に特化すればよく、制服の支給も出初式も操法大会 も、地域の消防活動には基本不要と思う。地域には貢献したくても、いろん な活動に出る暇はないという人は多いはず。見回りや消火活動、地域の防火 水槽の点検等、本当に必要な業務の見直しをして負担を減らすことが重 要。</p>
53	<p>昔からのイメージ（訓練や防火活動で休日がなくなる、飲み会が多いなど） が強く、今の若い人には印象が悪く感じます。一関は防火衣なども昔な がらのシルバータイプで、他の市町村の紺色などの現代風と比べるとダ サイような感じがします。</p>

3 過去に消防団員だった方（回答者数 33 名）

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

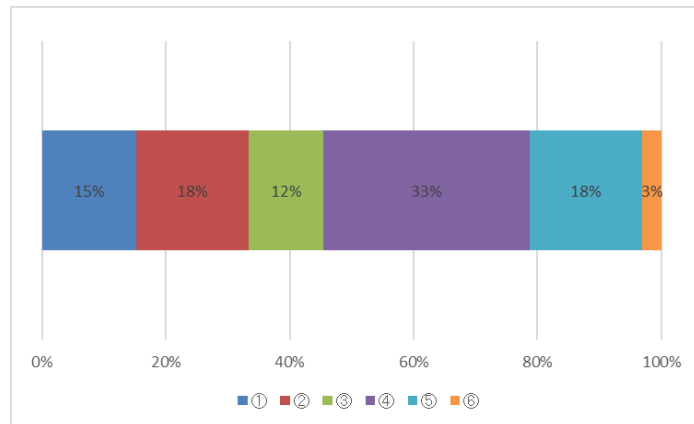
(1) 性別

① 男性	27
② 女性	6
③ その他	0
④ 答えたくない	0



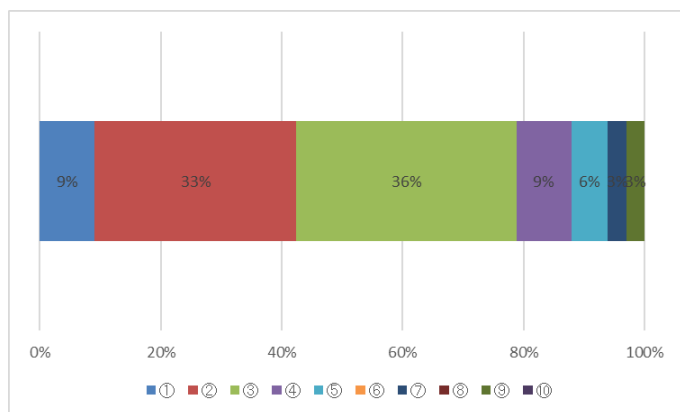
(2) 年齢

① 20代以下	5
② 30代	6
③ 40代	4
④ 50代	11
⑤ 60代	6
⑥ 70代以上	1



(3) 職業

① 会社経営・役員	3
② 会社員	11
③ 公務員	12
④ 団体等職員	3
⑤ 農林水産業	2
⑥ パート・アルバイト	0
⑦ 専業主婦（主夫）	1
⑧ 学生	0
⑨ 無職	1
⑩ その他	0



(4) 居住地

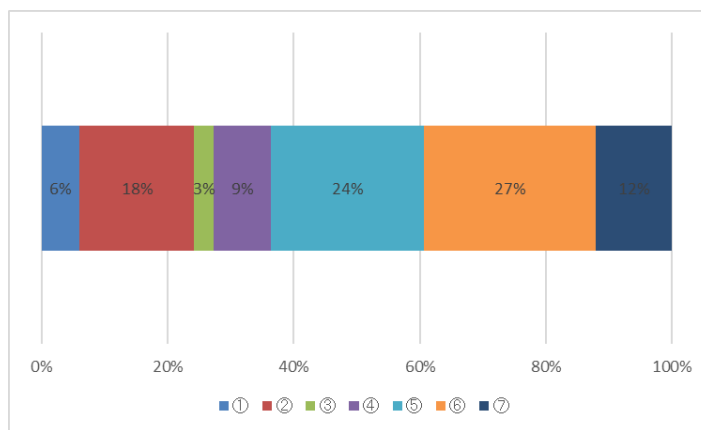
盛岡市	1	八幡平市	2	大槌町	1
大船渡市	1	滝沢市	1	岩泉町	1
花巻市	3	葛巻町	3	田野畑村	1
久慈市	2	紫波町	1	岩手郡	1
一関市	2	矢巾町	9	紫波郡	1
陸前高田市	1	西和賀町	2		

(5) 出身地

盛岡市	1	陸前高田市	1	大槌町	1
宮古市	1	八幡平市	1	岩泉町	1
大船渡市	1	葛巻町	3	一戸町	1
花巻市	2	矢巾町	7	岩見沢市	1
久慈市	2	西和賀町	1	鶴岡市	1
一関市	2				

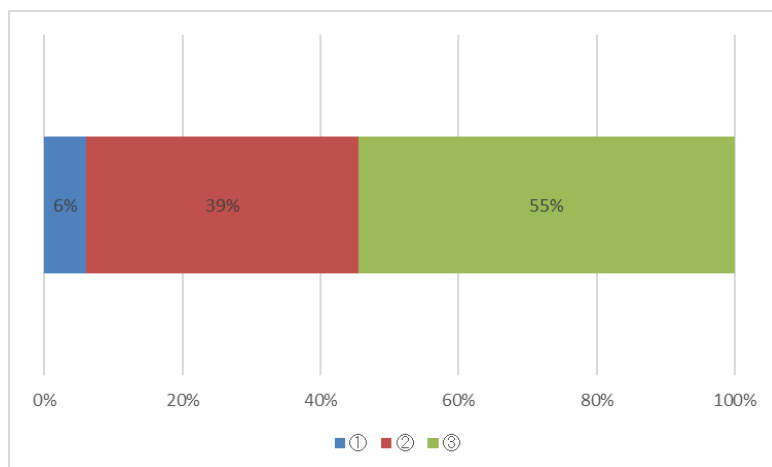
問2 あなたが消防団に入団していた期間について、当てはまるものを1つ選んでください。

① 1年未満	2
② 1年以上3年未満	6
③ 3年以上5年未満	1
④ 5年以上10年未満	3
⑤ 10年以上20年未満	8
⑥ 20年以上30年未満	9
⑦ 30年以上	4



問3 消防団を退団した理由について、最も当てはまるものを1つ選んでください。

① 活動への意欲・やりがいを感じなくなった	2
② 活動に伴う負担が大きくなった	13
③ その他	18



※「③その他」の回答

- ・定年に到達したため。
- ・転居、就職のため。
- ・家業の継承。
- ・体調不良のため。
- ・市の担当課長、部長であったが定年で終了した。
- ・幹部となり任期満了になったため。
- ・若手が育ちそろそろと思って退団。
- ・次の世代へ繋ぐため。
- ・子育てにより活動できなくなった。

問4 問3の理由について、具体的に回答用紙に記載してください。

①活動への意欲・やりがいを感じなくなった
体力的な衰え、訓練、捜索等への参加が厳しくなってきた。
コロナ時期で、活動があまりなく続けたいと思わなかったため。
②活動に伴う負担が大きくなった
父親が病気となり、会社の代表になったためそちらが忙しくなり、消防活動への参加が出来づらくなったため。
東日本大震災復興のため仕事が多忙になり両立できなかった。
部長職までやったので、退団した。
消火活動や訓練以外の行事が多すぎて私生活に支障が出た。
本業との両立が難しくなった。
仕事も管理職になり忙しくなったので。
仕事、地域活動の重複、階級の責任精神的負担。
操法競技会の上位大会進出に伴う活動時間が増えたことにより、家庭に時間が確保できなくなったため。
ラッパが結局吹けなかった。
③その他
幹事会議分団長会議に出席し、更に火災等の場合も立会っていましたが定年で

終了しました。
長年いることで班長、部長等の役職になる可能性があり、責任が出てくることで、野球指導等ができなくなることで退団しました。
部長（地域管轄）となり任期4年で満了になったため。
海外に駐在。
消防職員になったため。
転勤。
家業継承。
盛岡市職員の際、新採用職員研修の一環として半ば強制的に入団した。自分の場合は、1年目は意欲を持って取り組んでいたが、2年目以降、残業や休日出勤が多くなり、活動に参加する余裕がなくなり、ほとんど活動できなくなった。その後県職員に転職し、盛岡市から離れたためさらに活動に参加できなくなり、最終的に退団に至った。同時期に入団した動機たちの中には、最初から全く意欲が持てずに参加しない職員も多く、ただ定員を圧迫する結果になったケースも多かったようである。
引っ越しをし、距離が遠くなり当時いた消防団に参加することが難しくなった。
次の世代へ繋ぐため。
新たな家族が増えて、時間的に余裕がなくなったため。
進学先の消防団に入団して活動し、卒業・就職・転居に伴い退団した。

問5 消防団員として長く活動を続けるために必要だと思うことについて、具体的に回答用紙に御記入ください。（自由記載）

1	私世代だと地域貢献のためという思いがあって続けてきましたが、今の若い人たちはどうなのでしょう？
2	消防活動について知識を得て入団が必要、職場の消防活動に対する協力体制が必要。消防活動が強制的活動になり、仕事より重視してしまい大切な仕事に影響することが多々あった。
3	地域の人口が減少しており、若者がいないのが一番困ります。消防後援会をつくって、子供たちの夜回りの支援や婦人協力隊への助成、国への助成を地域で支えています。
4	自分たちの地区を自分たちが守ろうという気持ち。
5	担当管轄の地域のつながり（地域行事に参加する）。
6	行事は必要最低限にして、消防団報酬をしっかりと払えばよい。
7	各団チームワークがよくないといけないと思います。
8	団員同士のコミュニケーションが大事であり、それが活動に生かされる。
9	地域の為、自分自身の人間性向上の為。

10	行事が多く団員への負担が大きい。家族との時間を割いて消防団活動に参加できる世帯は限られる。近年は共働き世帯が多いことから、入団して得られるメリットや魅力を作っていく必要があると思う。
11	退団しても内容によって活動の手伝いを出来るようにする事によって団員の負担を少し軽くする。
12	子育て世代の理解。
13	強制ではない自主的な防災意識の推進。
14	給料をあげること。
15	転勤族が続けやすいような仕組み。報酬（？）等団員のメリットを増やす。
16	休日の水利点検等の活動に参加できるよう、日常の仕事や生活に精神的な余裕が必要だと感じた。自身の場合も、残業や休日出勤が重なって余裕がなくなり、最終的に退団に至ったので、そのように思う。また、一応、制度上の報酬はあるようだったが、ほとんどの場合は団の活動費になるため、ほぼ無報酬であり、そこも意欲の減退につながると感じた。
17	人の気持ちに寄り添う心。
18	長く活動するより、単発でも参加できる方法。家庭状況や職場の変化等あり長く続けることが難しい。
19	長時間の式典や、操法訓練、まとい訓練は団員の負担になっており、若手団員確保の足かせになっている。競技や伝統芸能は、消防団の活動から切り離し、消防団は火災予防広報や災害対応に専念すべきだと思う。
20	操法大会の廃止。

問6 消防団について御意見があれば、御記入ください。（自由記載）

1	たいへんだとは思いますが地域のために頑張っている姿を見ていてありがたいことだと思っています。
2	地域密着、有事の即時対応といった特性が強く地域の防災体制が保たれている。消防団員数の減少が続いており、団員確保が大変である。人数合わせのための入団活動は意味がない。少人数でも活動できる体制を各事業所が消防団、消防活動の理解と応援が必要であり、団員の確保につながると思う。
3	消防団のみなさんには、本当にご苦勞様です。何もなければありがたみはわかりません。火災があったり、自然災害があれば本当に大切さを感じます。平素より訓練をしたり、夜回りしたり、本当にご苦勞様です。自分たちの時代は（60代）人と人のつながりの中で強制的に入団してました。今はそれはないようです。青年会、野球チーム、祭り（山車）青年会＝消防団であって、地域の中に消防団がありました。
4	ポンプ操法大会の有方、参加方法の見直しが必要だと思う

5	行事については実践的な訓練を多くしたほうがいいと思います。消防操法の番員をほぼやったのですが役にたったとはいえませんでした。訓練も見直しをしたほうがいいと思います。
6	行事が多すぎたり、行事の服装の強制などを廃止すべき。(真冬に出初式に出陣し、防寒着や帽子を着用出来ずゴム長靴で歩かされた。)
7	消防団のイメージが悪い。
8	特に地方においては消防団は、必要不可欠であり火災や災害時に対し機能していかなければならないと思います。団員は普段仕事に就いており、休みの日でも活動をしているため報酬の見直しも必要であると思う。
9	なくてはならない組織。団員の待遇改善を望む。
10	町には必要なので、応援したい。
11	各種競技会、大会というものは廃止。1ヶ月では済まない訓練。時には半年以上にも。伝統を重んじるばかり結果として時代錯誤の組織となった。消防団として必要な訓練は何か精査し形ばかりの消防演習ではなく、各地地域住民の安心安全を守る消防組織に改めていただきたい。
12	性別によって、活動内容が大きく違うので、できる活動を増やしてほしい。
13	いつも安心、安全を守っていただきありがとうございます。
14	第一線の活動(危険な活動)が多い、高齢の方が多いイメージがあり、入りづらく思っていた。女性団員は何をしているか、若手もいること等を知る機会があれば前向きに考えられる人も多いかと思う。
15	非常に重要な組織であり、従事を続けている方々に敬意を払っております。しかし、近年はやりがいや誇りだけでは人が集まりづらくなっているのも事実だと思いますので、一定程度の報酬や表彰等の、参加に対するインセンティブが確保できるように取り計らっていくことが、今後の人員増加と存続に重要かと考えます。
16	婦人協力隊にも給料補償してほしい。
17	個人の時間等を削って活動してもらっていることに感謝しています。
18	操法訓練が大きな負担になっているとの指摘が多いが、火災現場で安全に消火活動等をサポートするためには必要な事だと思います。一番の負担は戦前のような規律訓練。この昭和初期から脱却できないような活動は即刻やめるべき。
19	報酬が個人支給になったのは良かった。しかし火災予防広報や水利点検など、災害対応以外の活動では費用弁償が出ない自治体もあり、活動に応じて支給すべきだと思う。

【設問一覧】

①消防団員ではない方

問1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。

問2 あなたは「消防団」という組織をご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

問3 あなたが消防団を知ったきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでください。

問4 あなたは「消防団」に対してどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを全て選んでください。

問5 あなたは消防団の活動をどのように評価されますか。当てはまるものを1つ選んでください。

問6 あなたは、大学生・短大生・専門学校生等や女性でも消防団員になれることを知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

問7 あなたは消防団員になりたいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

問8 問7のように考える理由について、御記入ください。(自由記載)

問9 入団説明会や体験入団ができる機会があれば、参加したいと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

問10 あなたが消防団に望むことについて、当てはまるものを全て選んでください。

問11 あなたは県や市町村の「消防団応援の店」制度を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

問12 「消防団応援の店」で団員が受けられるサービス内容について、魅力を感じますか。当てはまるものを1つ選んでください。

問13 「消防団応援の店」を多くの人に知って頂くために、効果的と考えられるものを全て選んでください。

問14 県では、消防団員としてやりがいを持ってもらうために、県による表彰や消防団応援の店の登録拡大に取り組んでいますが、他に効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。(自由記載)

問15 市町村によっては、機能別団員、機能別分団の制度や、DXやドローンの最新技術を導入していますが、これについてどう考えますか。当てはまるものを1つ選んでください。

問16 問15のほか、消防団員の負担軽減につながるような取組があれば、御記入ください。(自由記載)

問17 あなたは、県や市町村の消防団員募集の広報を見たことがありますか。見たことがあるものを全て選んでください。

問 18 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような <u>広報媒体</u> が有効だと思いますか。次の中から当てはまるものを <u>2つまで</u> 選んでください。
問 19 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような <u>広報内容</u> が有効だと思いますか。次の中から当てはまるものを <u>2つまで</u> 選んでください。
問 20 全国的に消防団員の減少傾向が続いていますが、入団者が増加するような魅力ある消防団にするためには、どのような <u>対策</u> が有効だと思いますか。当てはまるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 21 その他、消防団員の増加のために効果的と思われる取組があれば、御記入ください。 <u>(自由記載)</u>
問 22 消防団について御意見があれば、御記入ください。 <u>(自由記載)</u>
②現役の消防団員の方
問 1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。
問 2 あなたの階級と在職歴についてお聞かせください。
<消防団について、お伺いします>
問 3 あなたが消防団へ入団したきっかけについて、当てはまるものを <u>1つ</u> 選んでください。
問 4 あなたが消防団に入団する前に経験した事柄で、入団を後押ししたと考えられるものについて、当てはまるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 5 入団前後の消防団に対するイメージについて、当てはまるものを <u>それぞれ1つ</u> 選んでください。
問 6 入団して良かったと感じることについて、当てはまるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 7 あなたが消防団に入団してやりがいを感じる活動について、当てはまるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 8 あなたは何歳頃まで消防団員を続けたいと思いますか。当てはまるものを <u>1つ</u> 選んでください。
<消防団員のやりがいを高める観点の取組について、お伺いします>
問 9 あなたは県や市町村の「消防団応援の店」制度を知っていますか。当てはまるものを <u>1つ</u> 選んでください。
問 10 問 9 で「①知っている」を選んだ方にお聞きします。「消防団応援の店」制度を知ったきっかけについて、当てはまるものを <u>1つ</u> 選んでください。
問 11 「消防団応援の店」の利用頻度について、当てはまるものを <u>1つ</u> 選んでください。
問 12 「消防団応援の店」にメリットを感じますか。当てはまるものを <u>1つ</u> 選んでください。

問 13 問 11 で「④利用したことがない」を選んだ方にお聞きします。利用しない理由について、当てはまるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 14 「消防団応援の店」について、今後、こんなサービスがあれば良いと思う業種や事業所について、要望があれば御記入ください。 <u>(自由記載)</u>
問 15 「消防団応援の店」を多くの人に知って頂くために、効果的と考えられるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 16 県では、消防団員としてやりがいを持ってもらうために、県による表彰や消防団応援の店の登録拡大に取り組んでいますが、他に効果的だと思われる取組があれば、御記入ください。 <u>(自由記載)</u>
<消防団員の負担を軽減する観点の取組について、お伺いします>
問 17 消防団へ入団していることで負担になっていることや困っていることについて、当てはまるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 18 消防団員として活動する上で、職場の理解は得られていますか。当てはまるものを <u>1つ</u> 選んでください。
問 19 平日昼間に出勤がかかった場合、あなたは出勤できますか。当てはまるものを <u>1つ</u> 選んでください。
問 20 問 19 で「②出勤できない」を選んだ方にお伺いします。出勤できない理由について、当てはまるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 21 国や市町村においては、消防団活動に協力している事業所を顕彰する消防団協力事業所表示制度を導入されており、県ではこれらの企業に入札資格審査における加点措置を実施しています。 このような消防団に協力する企業に対して、講じられることが望ましい施策が何かあれば御記入ください。 <u>(自由記載)</u>
問 22 消防団員の負担を軽減しつつ活動を充実させるため、今後新たに活用することが望ましい取組等について、あてはまるものを <u>2つまで</u> 選んでください。
<消防団員の確保に向けた今後の取組について、お伺いします>
問 23 あなたは、県や市町村の消防団員募集の広報を見たことがありますか。 見たことがあるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 24 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような <u>広報媒体</u> が有効だと思いますか。次の中から当てはまるものを <u>2つまで</u> 選んでください。
問 25 消防団員の入団を促進するに当たり、どのような <u>広報内容</u> が有効だと思いますか。次の中から当てはまるものを <u>2つまで</u> 選んでください。
問 26 全国的に消防団員の減少傾向が続いていますが、入団者が増加するような魅力ある消防団にするためには、どのような対策が有効だと思いますか。当てはまるものを <u>全て</u> 選んでください。
問 27 その他、消防団員の増加のために効果的だと思われる取組があれば、御記入

<p>ださい。(自由記載)</p>
<p>問 28 消防団について御意見があれば、御記入ください。(自由記載)</p>
<p>③過去に消防団員だった方</p>
<p>問 1 はじめに、あなたの性別、年齢、職業、居住地、出身地についてお聞かせください。</p>
<p>問 2 あなたが消防団に入団していた期間について、当てはまるものを<u>1つ</u>選んでください。</p>
<p>問 3 消防団を退団した理由について、最も当てはまるものを<u>1つ</u>選んでください。</p>
<p>問 4 問 3 の理由について、具体的に回答用紙に記載してください。</p>
<p>問 5 消防団員として長く活動を続けるために必要だと思うことについて、具体的に回答用紙に御記入ください。(自由記載)</p>
<p>問 6 消防団について御意見があれば、御記入ください。(自由記載)</p>